

2022 年度

学生生活調査報告書



Shizuoka University of Welfare

静岡福祉大学

目 次

あいさつ	1
序 章 調査の概要	2
第1章 学業	
1-1 大学での勉強の重要性	3
1-2 授業に対する理解	5
1-3 学修時間	7
1-4 学業についての教員との会話	10
1-5 履修科目の選択方法	12
教務委員会からのコメント	14
第2章 進路・キャリア支援	
2-1 卒業後の進路	17
2-2 取得したい資格	19
2-3 将来設計（進路）への不安	23
2-4 キャリア支援課の活用	27
2-5 キャリア支援課への要望や質問	29
キャリア支援課（キャリア支援担当）からのコメント	30
第3章 学生生活	
3-1 アルバイトの状況	31
3-2 車の免許	37
3-3 同居家族の有無	39
3-4 学生食堂	41
3-5 通学時間	43
3-6 通学手段	45
3-7 大学でのボランティア活動への参加	47
3-8 行事に対する要望や意見	48
3-9 学友会活動への参加	49
3-10 大学生活の充実度	51
3-11 興味・関心	53
3-12 掲示板の使用	56
3-13 Eメールの利用	62
3-14 学生マナーについて	64
3-15 学内外でのトラブル	67
3-16 学生生活への悩み	69
3-17 退学について	75
3-18 オフィスアワーについて	77
3-19 学生サポートセンターについて	79
学生サポートセンターからのコメント	81
第4章 大学	
4-1 本学の理念（建学の精神）の認知	82
4-2 大学生活の満足度	84
4-3 施設や制度、対応等大学への要望や意見	91
学生支援委員会からのコメント	92
総務課からのコメント	93

2022 年度 学生生活調査報告書
「キャンパスの〈質〉とは何か～声・情報・選択～」

静岡福祉大学
学長 増田 樹郎

かつて英国のルグラン, J (Le Grand, Julian) は、当事者の立場にみる課題を 3 つのコンセプトで説明しています。その一つは「声」です。当事者がかかえているニーズは、実証的な調査によって浮き彫りになるとは限らず、むしろ「声」つまりは声を挙げることのできる環境や、声を聴くことのできる関係があればこそ、これを理解できるというのです。二つには「情報」です。自己のニーズが何かということを知るためには、関連する多様な情報なくしては、自らの立ち位置を知ることができないといえます。そして三つには「選択」です。いま何を必要とし、何を為すべきかを選び取る時、当事者はほんとうの力を得ていくのだというのです。声と情報と選択とは、その意味では、自らが自らの人生の主人公であるために必須の条件であるとも言えるでしょう。

今般、2022 年度の『学生生活調査』の報告が公表されました。大学の構成員のひとりである「学生」は、おおよそ大学教育の対象者であり、担い手であり、消費者であり、その意味で紛れもなく当事者であると言えます。顧みて、学生の声は届いているでしょうか。必要な情報は提供されているでしょうか。貴重な大学生活において、つまりは大切な人生の選択に対して教育的な支援は適切に整えられているでしょうか。何より『調査』が語りかけている無数の課題に対して、大学は真正面から取り組んでいると言えるのでしょうか。

授業の難易度は、学ぶ姿勢のある学生たちに「学ぶ力」を身につけるほどに的確かといえば、6 割弱は「難しい」と答えています。教員との〈会話〉は学科の差はあるにしても、手放しで高いとは言えません。教育の〈質〉をいかに保証していくのか、が具体において問われているのです。

将来設計（進路）をみると、8 割が不安を抱えています。見通しのきかない社会状況においてこの不安は首肯できるとしても、我が事として受けとめれば、大学としてこれにどう応えていくのか、という宿題を突きつけられているのです。

調査結果の数字において、ほんの少しの明かりは、8 割の学生が「充実している」と答えていることです。でも、その内実が見えないことに加えて、「否」という答えが 2 割もあることを看過することはできません。

キャンパスに学生たちが集う〈ベンチ〉（居場所）が少ないことが気にかかります。学生たちの息吹がキャンパスを充たしていくために、教職員ひいては大学が何を為すべきなのか、この調査が如実に教えているようです。

〔追記: 今後は調査分析にクロス集計をかけてデータを精査していくことが期待されま
す。〕

序章 調査の概要

本調査は2023年1月から2月に、本学学部に所属する学生を対象に行った。

調査は、1年次の必修科目である「基礎セミナーⅡ」を履修する学生191人、2年次の必修科目である「キャリア支援Ⅰ-B」を履修する学生147人、3年次の必修科目である「キャリア支援Ⅱ-B」を履修する学生190人には、授業内でアンケートを実施した。4年次生については、126人の卒業予定者に対し、「卒業判定報告日」に窓口での回答を依頼した。回答者の所属学科、学年、性別の内訳は、表1のとおりである。

在籍に対する回答者の割合は、1年生が150人(78.5%)、2年生が77人(52.4%)、3年生が156人(82.1%)、4年生が73人(51.4%)で、全体で456人(68.1%)が回答した。

表1 学生生活調査回答者の内訳

2023年3月31日現在

学年	学科	女子		男子		答えたくない 回答者	合計		回答率
		在籍	回答者	在籍	回答者		在籍	回答者	
1	心理	76	58	44	33	4	120	95	79.2
	健康	9	8	19	15	0	28	23	82.1
	子ども	28	21	15	10	1	43	32	74.4
2	心理	42	21	45	21	3	87	45	51.7
	健康	9	5	13	10	0	22	15	68.1
	子ども	23	10	15	7	0	38	17	44.7
3	心理	62	49	36	31	2	98	82	83.7
	健康	13	11	13	12	0	26	23	88.5
	子ども	44	36	22	15	0	66	51	77.3
4	心理	41	17	41	22	2	82	41	50.0
	健康	6	4	12	5	0	18	9	50.0
	子ども	23	13	19	10	0	42	23	54.8
合計		376	253	294	191	12	670	456	68.1

※ 休学中の6名の学生は在籍者数から除外しております。

また、本調査は、学業、進路・キャリア支援、学生生活、大学に関する4つの領域に関するアンケートから構成され、各項目に対して、選択形式または自由記述の形式で回答を得た。その具体的な質問内容と回答について、以下の章で述べる。

なお、以下の各質問項目の集計結果については、小数点第二位を四捨五入した結果を用いている。

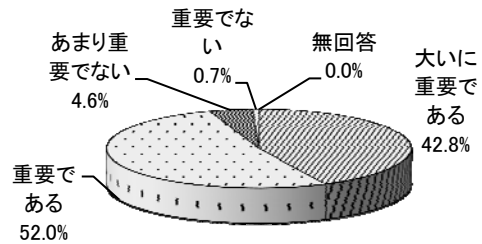
第1章 学業

1-1 大学での勉強の重要性

【全体】

「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか」とたずねたところ、「大いに重要である」が42.8%（195人）、「重要である」が52.0%（237人）、「あまり重要でない」が4.6%（21人）、「重要でない」が0.7%（3人）という結果であった。「大いに重要である」と「重要である」をあわせると94.8%と9割以上に達し、多くの学生が将来を考えて授業を履修し、勉強していることが分かる。

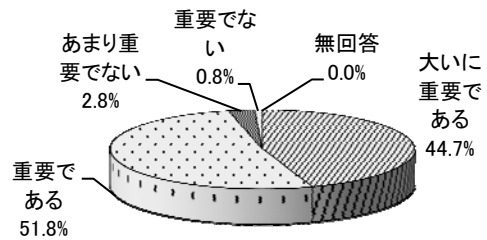
将来における大学での勉強の重要性
(全体)



【女】

「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか」とたずねたところ、「大いに重要である」が44.7%（113人）、「重要である」が51.8%（131人）、「あまり重要でない」が2.8%（7人）、「重要でない」が0.8%（2人）という結果であった。「大いに重要である」と「重要である」をあわせると96.5%と9割以上に達し、多くの学生が将来を考えて授業を履修し、勉強していることが分かる。

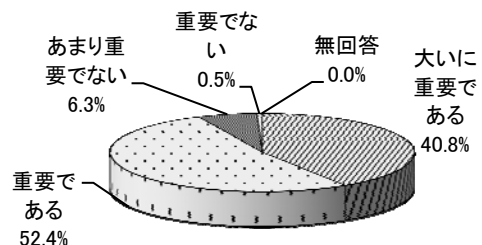
将来における大学での勉強の重要性
(女)



【男】

「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか」とたずねたところ、「大いに重要である」が40.8%（78人）、「重要である」が52.4%（100人）、「あまり重要でない」が6.3%（12人）、「重要でない」が0.5%（1人）という結果であった。「大いに重要である」と「重要である」をあわせると93.2%と9割以上に達し、多くの学生が将来を考えて授業を履修し、勉強していることが分かる。

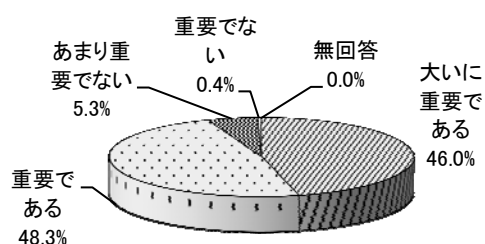
将来における大学での勉強の重要性
(男)



【福祉心理学科】

「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか」とたずねたところ、「大いに重要である」が46.0% (121人)、「重要である」が48.3% (127人)、「あまり重要でない」が5.3% (14人)、「重要でない」が0.4% (1人)という結果であった。「大いに重要である」と「重要である」をあわせると94.3%と9割以上に達し、多くの学生が将来を考えて授業を履修し、勉強していることが分かる。

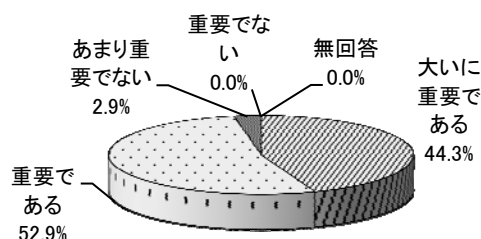
将来における大学での勉強の重要性
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか」とたずねたところ、「大いに重要である」が44.3% (31人)、「重要である」が52.9% (37人)、「あまり重要でない」が2.9% (2人)、「重要でない」が0.0% (0人)という結果であった。「大いに重要である」と「重要である」をあわせると97.2%と9割以上に達し、多くの学生が将来を考えて授業を履修し、勉強していることが分かる。

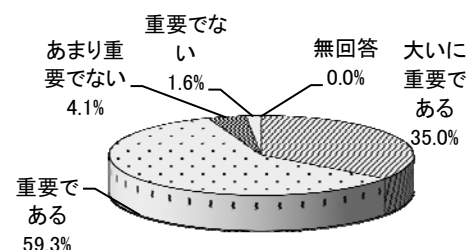
将来における大学での勉強の重要性
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか」とたずねたところ、「大いに重要である」が35.0% (43人)、「重要である」が59.3% (73人)、「あまり重要でない」が4.1% (5人)、「重要でない」が1.6% (2人)という結果であった。「大いに重要である」と「重要である」をあわせると94.3%と9割以上に達し、多くの学生が将来を考えて授業を履修し、勉強していることが分かる。

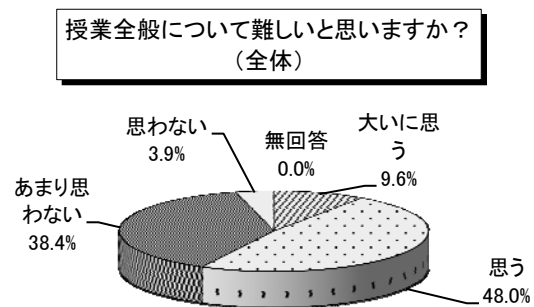
将来における大学での勉強の重要性
(子ども学科)



1-2 授業に対する理解

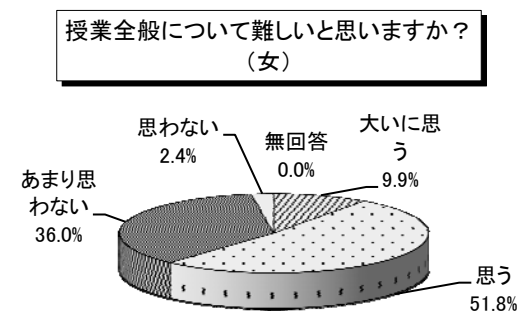
【全体】

「本学の授業全般について、難しいと思いますか」とたずねたところ、「大いに思う」が9.6% (44人)、「思う」が48.0% (219人)、「あまり思わない」が38.4% (175人)、「思わない」が3.9% (18人) という結果であった。「大いに思う」と「思う」と回答した学生をあわせると57.6%と6割弱の学生が授業全般について難しいと回答しており、授業内容を十分に理解できていない学生が多くいる可能性がうかがえる。



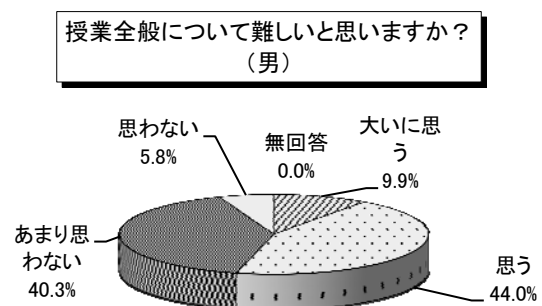
【女】

「本学の授業全般について、難しいと思いますか」とたずねたところ、「大いに思う」が9.9% (25人)、「思う」が51.8% (131人)、「あまり思わない」が36.0% (91人)、「思わない」が2.4% (6人) という結果であった。「大いに思う」と「思う」と回答した学生をあわせると61.7%と6割以上の学生が授業全般について難しいと回答しており、授業内容を十分に理解できていない学生が多くいる可能性がうかがえる。



【男】

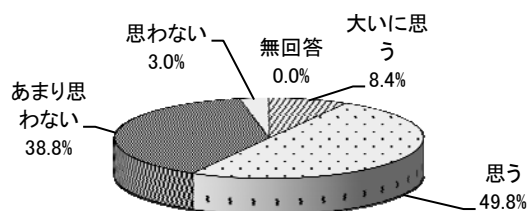
「本学の授業全般について、難しいと思いますか」とたずねたところ、「大いに思う」が9.9% (19人)、「思う」が44.0% (84人)、「あまり思わない」が40.3% (77人)、「思わない」が5.8% (11人) という結果であった。「大いに思う」と「思う」と回答した学生をあわせると53.9%と5割以上の学生が授業全般について難しいと回答しており、授業内容を十分に理解できていない学生が多くいる可能性がうかがえる。



【福祉心理学科】

「本学の授業全般について、難しいと思いますか」とたずねたところ、「大いに思う」が8.4% (22人)、「思う」が49.8% (131人)、「あまり思わない」が38.8% (102人)、「思わない」が3.0% (8人) という結果であった。「大いに思う」と「思う」と回答した学生をあわせると58.2%と6割弱の学生が授業全般について難しいと回答しており、授業内容を十分に理解できていない学生が多くいる可能性がうかがえる。

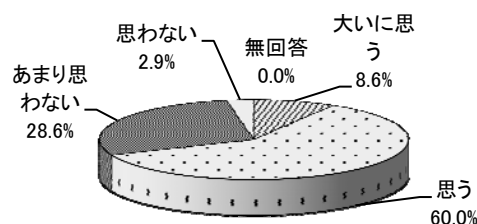
授業全般について難しいと思いますか？
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「本学の授業全般について、難しいと思いますか」とたずねたところ、「大いに思う」が8.6% (6人)、「思う」が60.0% (42人)、「あまり思わない」が28.6% (20人)、「思わない」が2.9% (2人) という結果であった。「大いに思う」と「思う」と回答した学生をあわせると68.6%と6割以上の学生が授業全般について難しいと回答しており、授業内容を十分に理解できていない学生が多くいる可能性がうかがえる。

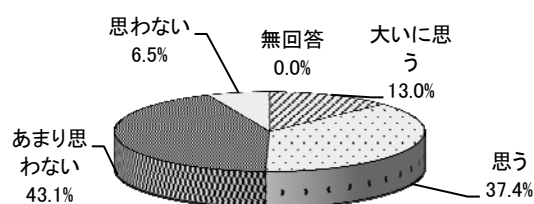
授業全般について難しいと思いますか？
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「本学の授業全般について、難しいと思いますか」とたずねたところ、「大いに思う」が13.0% (16人)、「思う」が37.4% (46人)、「あまり思わない」が43.1% (53人)、「思わない」が6.5% (8人) という結果であった。「大いに思う」と「思う」と回答した学生をあわせると50.4%と5割以上の学生が授業全般について難しいと回答しており、授業内容を十分に理解できていない学生が多くいる可能性がうかがえる。

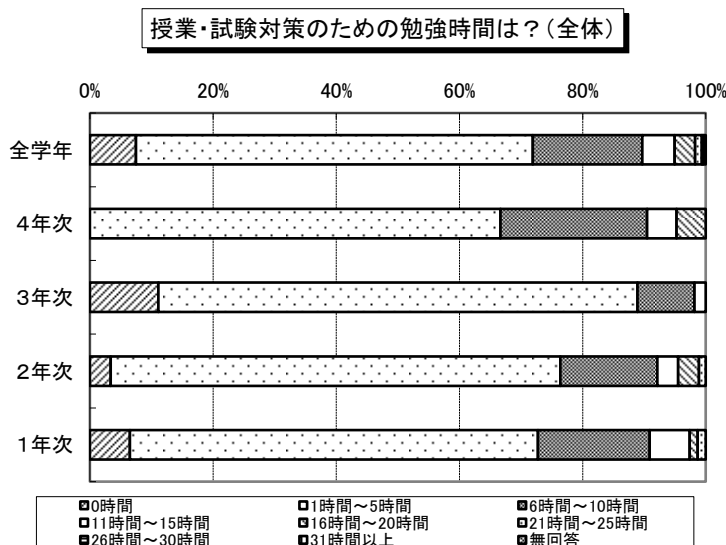
授業全般について難しいと思いますか？
(子ども学科)



1-3 学修時間

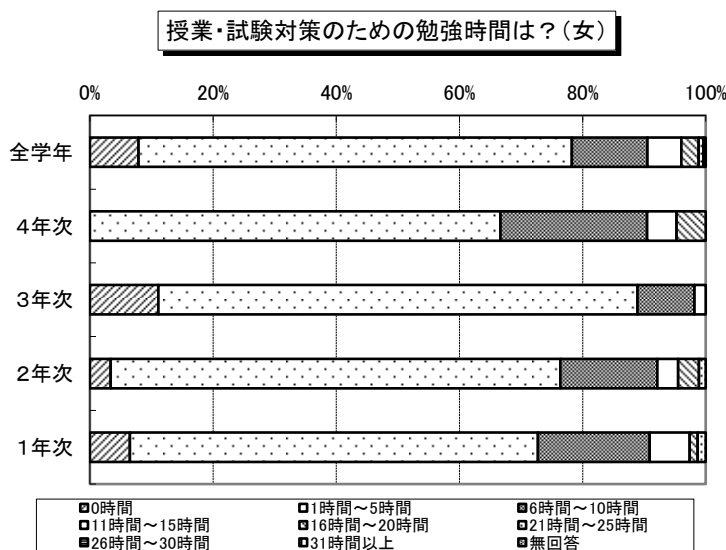
【全体】

「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか」とたずねたところ、「0時間」が7.5% (34人)、「1時間～5時間」が64.5% (294人)、「6時間～10時間」が17.8% (81人)、「11時間～15時間」が5.3% (24人)、「16時間～20時間」が3.3% (15人)、「21時間～25時間」が1.1% (5人)、「26時間～30時間」が0.2% (1人)、「31時間以上」が0.4% (2人)という結果であった。「0時間」と「1時間～5時間」をあわせると7割以上になり、勉強時間の少ない学生が多いことが示された。



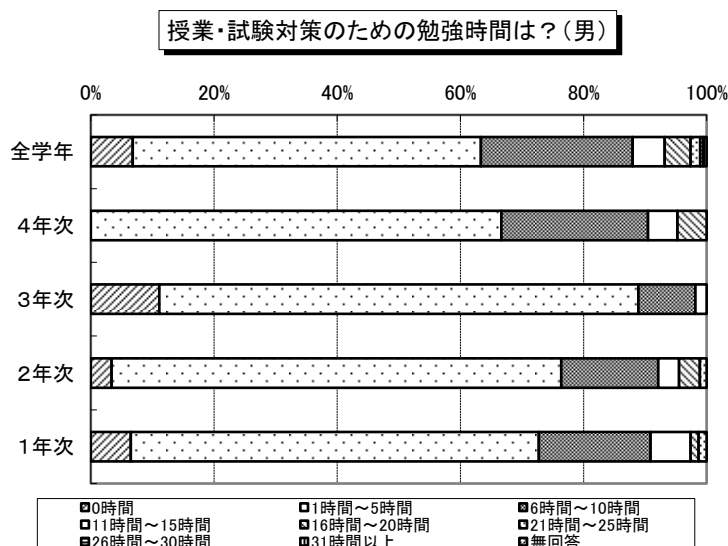
【女】

「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか」とたずねたところ、「0時間」が7.9% (20人)、「1時間～5時間」が70.4% (178人)、「6時間～10時間」が12.3% (31人)、「11時間～15時間」が5.5% (14人)、「16時間～20時間」が2.8% (7人)、「21時間～25時間」が0.8% (2人)、「26時間～30時間」が0.0% (0人)、「31時間以上」が0.4% (1人)という結果であった。「0時間」と「1時間～5時間」をあわせると7割以上になり、勉強時間の少ない学生が多いことが示された。



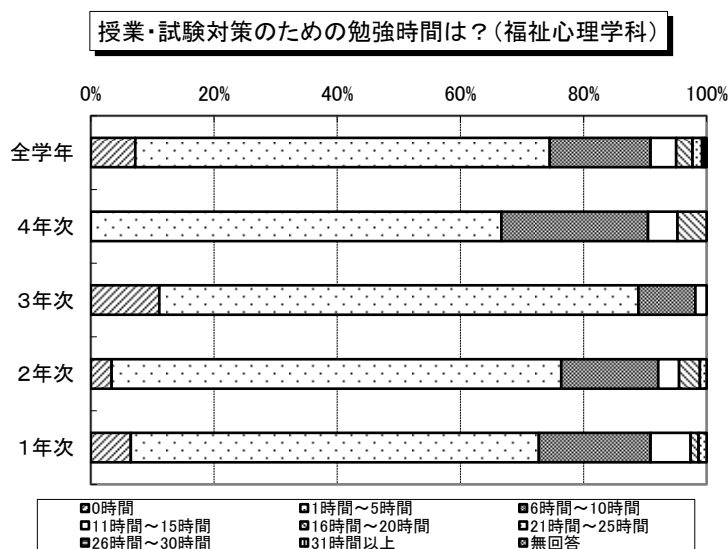
【男】

「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか」とたずねたところ、「0時間」が6.8%（13人）、「1時間～5時間」が56.5%（108人）、「6時間～10時間」が24.6%（47人）、「11時間～15時間」が5.2%（10人）、「16時間～20時間」が4.2%（8人）、「21時間～25時間」が1.6%（3人）、「26時間～30時間」が0.5%（1人）、「31時間以上」が0.5%（1人）という結果であった。「0時間」と「1時間～5時間」をあわせると6割強になり、勉強時間の少ない学生が多いことが示された。



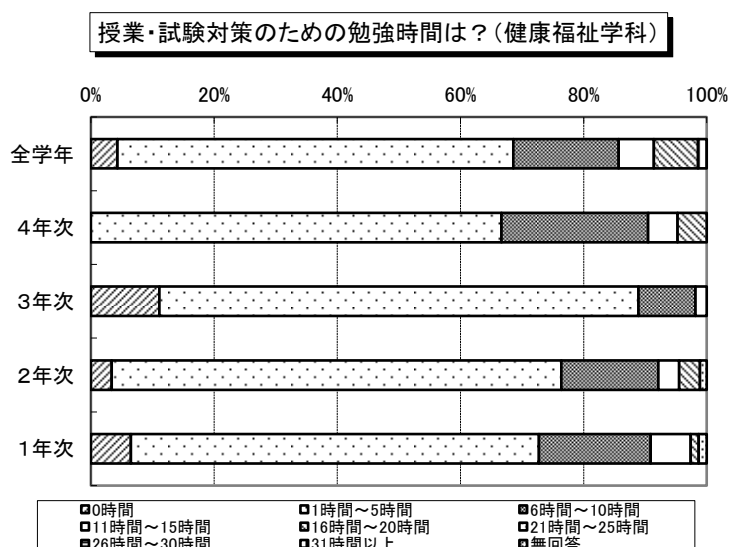
【福祉心理学科】

「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか」とたずねたところ、「0時間」が7.2%（19人）、「1時間～5時間」が67.3%（177人）、「6時間～10時間」が16.3%（43人）、「11時間～15時間」が4.2%（11人）、「16時間～20時間」が2.7%（7人）、「21時間～25時間」が1.5%（4人）、「26時間～30時間」が0.4%（1人）、「31時間以上」が0.4%（1人）という結果であった。「0時間」と「1時間～5時間」をあわせると7割以上になり、勉強時間の少ない学生が多いことが示された。



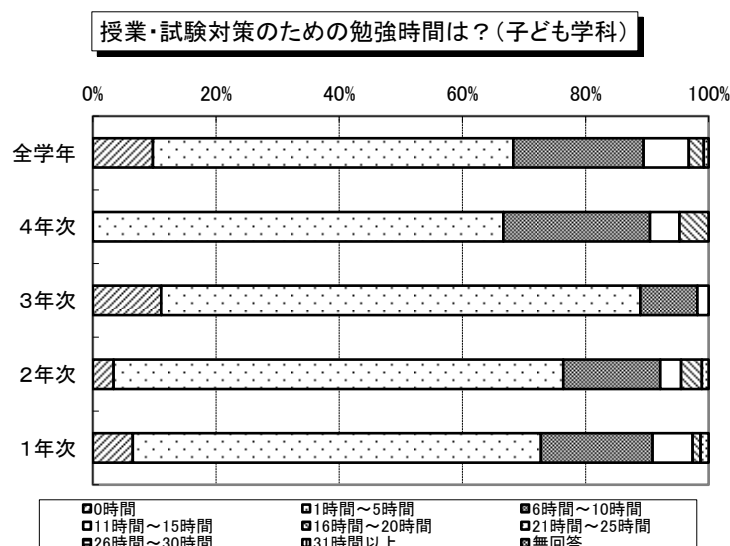
【健康福祉学科】

「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか」とたずねたところ、「0時間」が4.3%（3人）、「1時間～5時間」が64.3%（45人）、「6時間～10時間」が17.1%（12人）、「11時間～15時間」が5.7%（4人）、「16時間～20時間」が7.1%（5人）、「21時間～25時間」が0.0%（0人）、「26時間～30時間」が0.0%（0人）、「31時間以上」が1.4%（1人）という結果であった。「0時間」と「1時間～5時間」をあわせると7割弱になり、勉強時間の少ない学生が多いことが示された。



【子ども学科】

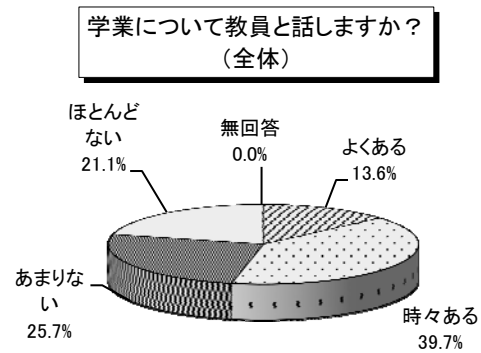
「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか」とたずねたところ、「0時間」が9.8%（12人）、「1時間～5時間」が58.5%（72人）、「6時間～10時間」が21.1%（26人）、「11時間～15時間」が7.3%（9人）、「16時間～20時間」が2.4%（3人）、「21時間～25時間」が0.8%（1人）、「26時間～30時間」が0.0%（0人）、「31時間以上」が0.0%（0人）という結果であった。「0時間」と「1時間～5時間」をあわせると7割弱になり、勉強時間の少ない学生が多いことが示された。



1-4 学業についての教員との会話

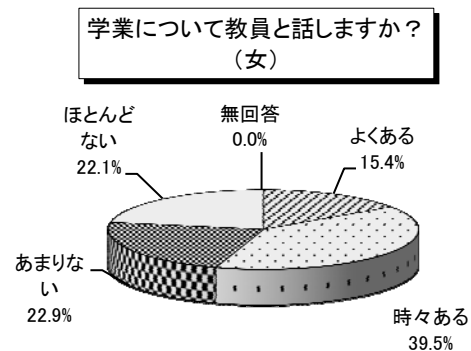
【全体】

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」とたずねたところ、「よくある」が13.6%(62人)、「時々ある」が39.7%(181人)、「あまりない」が25.7%(117人)、「ほとんどない」が21.1%(96人)という結果であった。このように、教員との学業に関する会話は、53.3%の学生が「よくある」「時々ある」と回答した一方、46.8%の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、二分される傾向が示された。



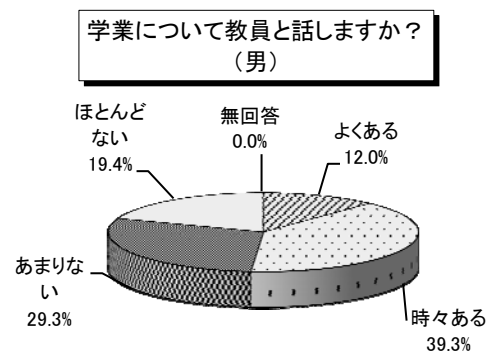
【女】

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」とたずねたところ、「よくある」が15.4%(39人)、「時々ある」が39.5%(100人)、「あまりない」が22.9%(58人)、「ほとんどない」が22.1%(56人)という結果であった。このように、教員との学業に関する会話は、54.9%の学生が「よくある」「時々ある」と回答した一方、45.0%の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、二分される傾向が示された。



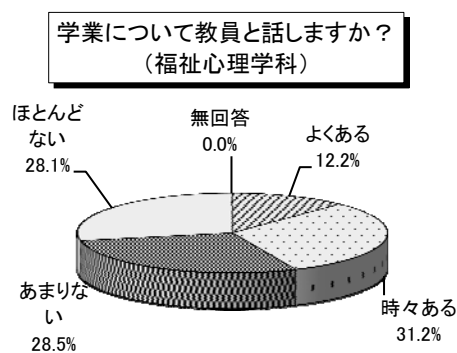
【男】

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」とたずねたところ、「よくある」が12.0%(23人)、「時々ある」が39.3%(75人)、「あまりない」が29.3%(56人)、「ほとんどない」が19.4%(37人)という結果であった。このように、教員との学業に関する会話は、51.3%の学生が「よくある」「時々ある」と回答した一方、48.7%の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、二分される傾向が示された。



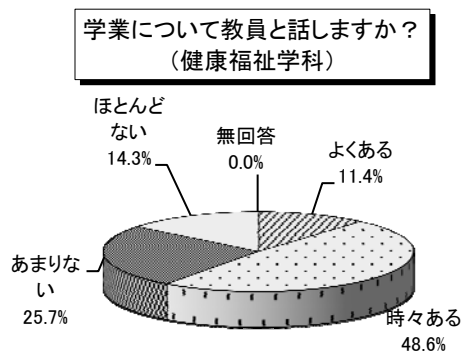
【福祉心理学科】

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」とたずねたところ、「よくある」が12.2% (32人)、「時々ある」が31.2% (82人)、「あまりない」が28.5% (75人)、「ほとんどない」が28.1% (74人)という結果であった。このように、教員との学業に関する会話は43.4%の学生が「よくある」「時々ある」と回答した一方、56.6%の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、他の結果に比べ教員とあまり話していない学生が多いことが分かる。



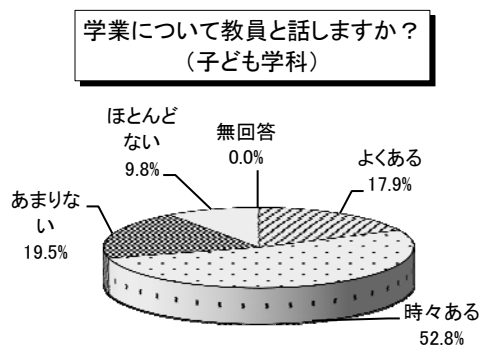
【健康福祉学科】

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」とたずねたところ、「よくある」が11.4% (8人)、「時々ある」が48.6% (34人)、「あまりない」が25.7% (18人)、「ほとんどない」が14.3% (10人)という結果であった。このように、教員との学業に関する会話は60.0%の学生が「よくある」「時々ある」と回答した一方、40.0%の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、6割の学生が教員と話をしていることが分かる。



【子ども学科】

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」とたずねたところ、「よくある」が17.9% (22人)、「時々ある」が52.8% (65人)、「あまりない」が19.5% (24人)、「ほとんどない」が9.8% (12人)という結果であった。このように、教員との学業に関する会話は70.7%の学生が「よくある」「時々ある」と回答した一方、29.3%の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、7割以上の学生が教員と話をしていることが分かる。

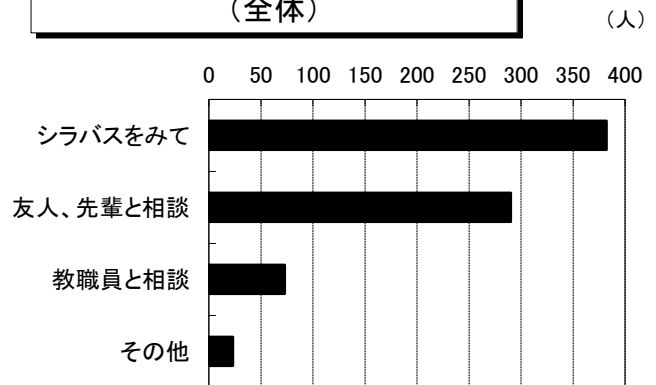


1-5 履修科目の選択方法

【全体】

「履修する科目をどのようにして選びますか（複数回答可）」とたずねたところ、「シラバスをみて」が83.8%（382人）、「友人、先輩と相談」が63.6%（290人）、「教職員と相談」が16.0%（73人）、「その他」が5.0%（23）という結果であった。「シラバスをみて」または「友人、先輩と相談」に回答した人は97.1%と9割以上に達した。

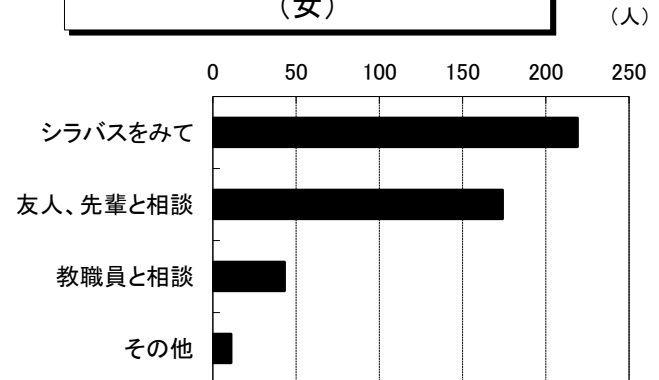
履修科目の選択方法(複数選択可)
(全体)



【女】

「履修する科目をどのようにして選びますか（複数回答可）」とたずねたところ、「シラバスをみて」が86.6%（219人）、「友人、先輩と相談」が68.8%（174人）、「教職員と相談」が17.0%（43人）、「その他」が4.3%（11人）という結果であった。「シラバスをみて」または「友人、先輩と相談」に回答した人は97.6%と9割以上に達した。

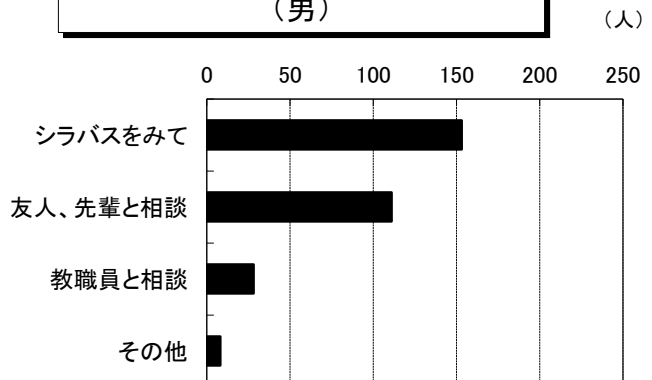
履修科目の選択方法(複数選択可)
(女)



【男】

「履修する科目をどのようにして選びますか（複数回答可）」とたずねたところ、「シラバスをみて」が80.1%（153人）、「友人、先輩と相談」が58.1%（111人）、「教職員と相談」が14.7%（28人）、「その他」が4.2%（8人）という結果であった。「シラバスをみて」または「友人、先輩と相談」に回答した人は96.9%と9割以上に達した。

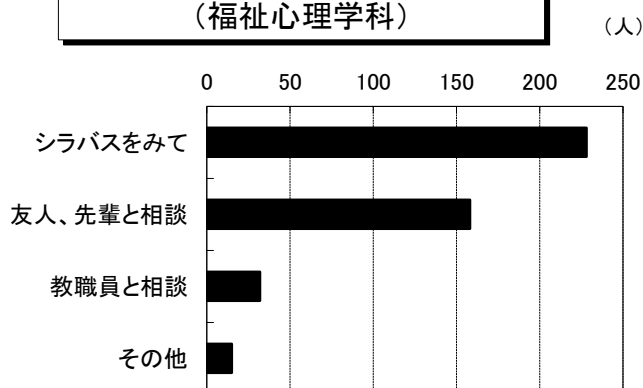
履修科目の選択方法(複数選択可)
(男)



【福祉心理学科】

「履修する科目をどのようにして選びますか（複数回答可）」とたずねたところ、「シラバスをみて」が86.7%（228人）、「友人、先輩と相談」が60.1%（158人）、「教職員と相談」が12.2%（32人）、「その他」が5.7%（15人）という結果であった。「シラバスをみて」または「友人、先輩と相談」に回答した人は96.6%と9割以上に達した。

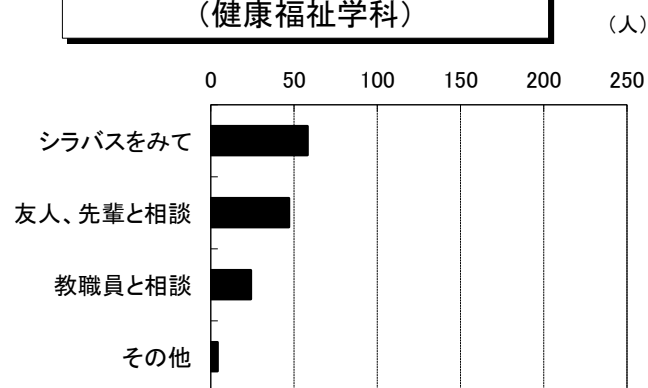
履修科目の選択方法(複数選択可)
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「履修する科目をどのようにして選びますか（複数回答可）」とたずねたところ、「シラバスをみて」が82.9%（58人）、「友人、先輩と相談」が67.1%（47人）、「教職員と相談」が34.3%（24人）、「その他」が5.7%（4人）という結果であった。「シラバスをみて」または「友人、先輩と相談」に回答した人は98.6%と9割以上に達した。

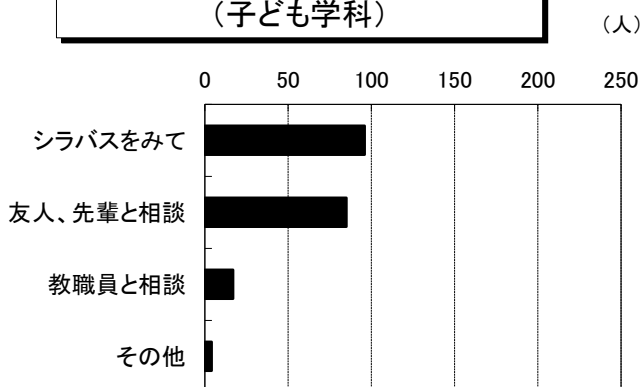
履修科目の選択方法(複数選択可)
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「履修する科目をどのようにして選びますか（複数回答可）」とたずねたところ、「シラバスをみて」が78.0%（96人）、「友人、先輩と相談」が69.1%（85人）、「教職員と相談」が13.8%（17人）、「その他」が3.3%（4人）という結果であった。「シラバスをみて」または「友人、先輩と相談」に回答した人は97.6%と9割以上に達した。

履修科目の選択方法(複数選択可)
(子ども学科)



教務委員会からのコメント

第1章 学業

1-1 大学での勉強の重要性

大学での勉強に関し、「将来にとって、本学で勉強することはどの程度重要だと思いますか?」という設問をしています。全体で、約半数にあたる52.0%の学生が、「重要である」と回答しており、次いで「大いに重要である」が42.8%、「あまり重要でない」が4.6%、「重要でない」が0.7%という結果でした。約9割の回答が大学での勉強を重要であると考えていることがわかりました。男女比についても、この回答割合、順位に大きな差異はみられませんでしたが、多くの学生が熱心に勉強に取り組んでいることがわかり結果となっています。

学科別でも、特に回答順位には差はなく、「重要である」の回答が、子ども学科が59.3%であるのに対し、福祉心理学科が48.9%という約1割の差がみられたぐらいでした。

1-2 授業に対する理解

次の質問は、「本学の授業全般について、難しいと思いますか?」というものでした。

授業内容について難易を問うものですが、大学全体で「思う」が48.0%、「あまり思わない」が38.4%、「大いに思う」が9.6%、「思わない」が3.9%という回答でした。大学の授業全般を難しいと思う学生がいちばん多いものの、「あまり思わない」も4割前後おり、男女間の差異はみられませんでした。

学科別では、順位は変わらないものの、健康福祉学科の学生が「思う」と「あまり思わない」がそれぞれ60.0%、28.6%であるのに対し、子ども学科の学生の回答が「思う」が37.4%、「あまり思わない」が43.1%でした。健康福祉学科の学生に授業が難しいと感じている学生が多く、子ども学科の学生が逆に「あまり思わない」という回答が多いことが大きく異なる部分でした。

1-3 学修時間

「授業の事前事後学習や試験対策等に一週間で平均何時間使っていますか?」という質問について、全学年では、「1時間～5時間」が64.5%と約3分の2を占めており、次いで「6時間～10時間」が17.8%、「0時間」が7.5%という順でした。0時間から5時間までで全体の約7割と、勉強時間の少ない学生が多いのが現状です。ただし、学年別では、4年生で「0時間」の回答がなく、就職や資格所得に関連した学修に取り組んでいることがわかります。この傾向についても、男女の差は認められませんでした。学科別でも、大きな差異はないという結果でした。

1-4 学業についての教員との会話

「学業について教員と話をすることがありますか(授業での質問を含む)」というしつもんでは、全体で「時々ある」が39.7%、「あまりない」が25.7%、「ほとんどない」21.1%という結果でした。「よくある」と「時々ある」の合計で過半数を超える一方で、「あまりない」と「ほとんどない」の合計も過半数に近くなっており、学生によって結果が分かれていることがわかります。この質問についても、顕著な男女差はみられませんでした。

学科別では、「よくある」と「時々ある」の合計が、子ども学科の学生は約4分の3近くに達する一方で、健康福祉学科は約6割、福祉心理学科は約4割強と、福祉心理学科の学生が、他の学科に比べて教員と話していないという結果が出ています。

1-5 履修科目の選択方法

「履修する科目をどのように選びますか(複数回答可)」という質問では、全体の回答で、「シラバスをみて」が83.8%、「友人、先輩と相談」が63.6%、「教職員と相談」が16.0という回答でした。シラバスと先輩友人と相談と合わせると、9割を超え、男女差もこの割合に差異はみられませんでした。

学科別では、順位は変わらないものの、健康福祉学科と子ども学科の学生が、シラバスよりも友人、先輩と相談して決める傾向にあり、逆に福祉心理学科の学生の方が、シラバスを見る割合が高いという結果になっています。これは、福祉心理学科のカリキュラム上、資格取得に関する科目によって、時間割の構成も異なり、シラバスを参考にする割合が高くなっているものと考えられます。

自由記述

自由記述については、「キャリア支援課への要望や質問」、「行事への要望や意見」、「施設や制度、対応等大学への要望や意見」に分類し、学生からの意見を集約しています。

このうち、「施設や制度、対応等大学への要望や意見」の分類の中から、学業面に関連性の深いものを取り上げます。

まず、事務局への対応について、「入りづらい雰囲気があり、事務局職員からの声かけ等の働き方があってもよいのではないか」という意見がありました。学生が相談しやすい雰囲気づくりも大切だと思いますが、通常は事務局職員も多忙な中、事務局窓口に入ってきた学生が迷っているような状況には声かけをして対応していると思います。

次に、「教授の授業態度を何とかしてほしい」というものがありました。特定個人の教職員が学生に対して偏見を持っているという指摘も複数寄せられていました。このようなことは、個別の授業アンケートでも指摘されていると思われます。教員と学生との見解の相違が原因になっているものも少なくないはずです。授業アンケートの学生からの意見に対する教員側の改善意向に期待することも大きいです。近年、アカデミック・ハラスメントとして教員の言動や態度が大きな問題として報道される場合もありますので、この問題については教職員に対するFD・SD研修などの機会を通じて改善を図ることも必要だと感じます。

時間割の通知について、本学では、4月新年度開始にあたっての学生への通知になっています。「アルバイトのシフト調整もあり、3月に時間割を発表してもらえないか」という意見がありました。時間割の発表も早めに学生への周知ができるとよいのですが、所属を移動する専任教員や、非常勤講師の都合などにより、授業担当教員の決定がどうしても遅くなってしまう傾向にあります。非常勤講師の依頼や、専任教員の移動の把握などの時期的問題も含めて、今後検討していかなければならないと思っています。同様な意見として、試験の日程の発表についても早めてもらいたいという意見も寄せられています。これもアルバイトのシフト調整に関連してのものでした。

「勉強や就活のための個室を整備してもらいたい」という意見がありましたが、これについては、図書室の中に「コモン・スペース」を整備したりして改善策がとられています。

「自由に利用できるPC室などICT化をすすめてほしい」という意見についても、SA・TA制度も活用したコンピューター教室の学生利用の促進も考えられると思います。新型コロナ

ナウイルス感染予防対策のため、学内の無線 LAN、Wi-Fi 環境などについても改善されてきています。

通学や健康面の課題から、「オンラインやオンデマンド授業を増やしてもらいたい。」という要望がありました。本学でも、新型コロナウイルス感染予防のための遠隔授業の実施を余儀なくされて意向、前述のハード面の整備と閉講して、遠隔授業の実施に関する規定を整備し、教員から遠隔授業実施の希望の申請を受付け、教務委員会において遠隔授業実施の可否を審査するという対応をしています。「授業中、検索等のため自由にスマホを使えるようにしてほしい。」という意見も複数ありましたが、通信環境の改善により解決できるものと考えます。特に学生のスマート・フォン通信事業者との契約内容によっては、学生個人経済的負担が増えることにもなりますので、このような改善が学生にも歓迎されると思います。

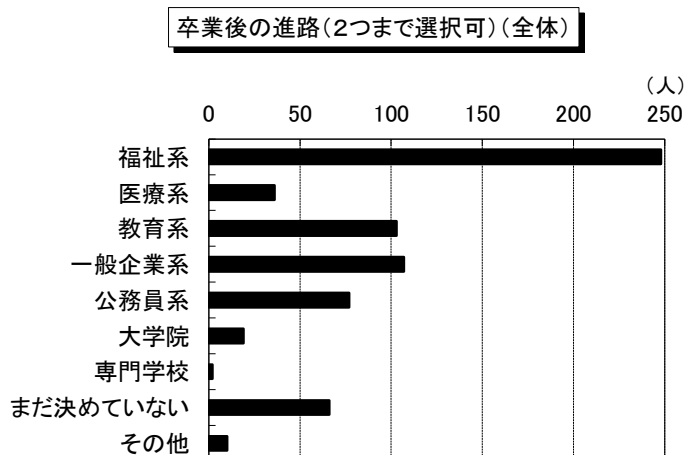
その他、掲示板の位置に関する要望や、Web フォルダに教員のメールアドレスなどの連絡先を明示してほしいなどの要望もあり、適宜関連部署などでの検討により、課題解決に向けた取組みが必要になると思います。

第2章 進路・キャリア支援

2-1 卒業後の進路

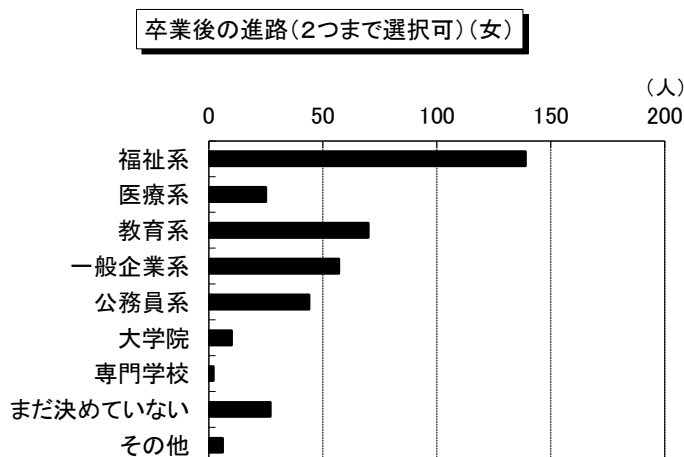
【全体】

「卒業後の進路をどのように考えていますか（主なもの2つ）」とたずねたところ、「福祉系」が54.4%（248人）と半数以上を占め、つぎに「一般企業系」が23.5%（107人）、さらに「教育系」が22.6%（103人）、「公務員系」が16.9%（77人）、「医療系」が7.9%（36人）、「大学院」が4.2%（19人）、「専門学校」が0.4%（2人）、「まだ決めていない」が14.5%（66人）であった。「その他」の内容は、建築関係、保育系に就職、家業を継ぐなどの記載がみられた。



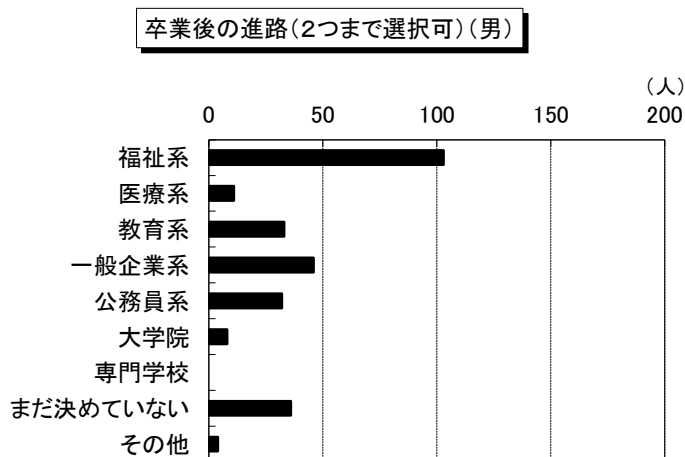
【女】

「卒業後の進路をどのように考えていますか（主なもの2つ）」とたずねたところ、「福祉系」が54.9%（139人）と半数以上を占め、つぎに「教育系」が27.7%（70人）、さらに「一般企業系」が22.5%（57人）、「公務員系」が17.4%（44人）、「医療系」が9.9%（25人）、「大学院」が4.0%（10人）、「専門学校」が0.8%（2人）、「まだ決めていない」が10.7%（27人）であった。



【男】

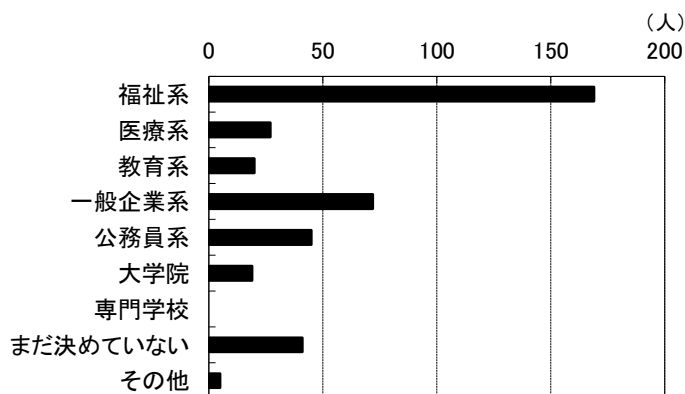
「卒業後の進路をどのように考えていますか（主なもの2つ）」とたずねたところ、「福祉系」が53.9%（103人）と半数以上を占め、つぎに「一般企業系」が24.1%（46人）、さらに「教育系」が17.3%（33人）、「公務員系」が16.8%（32人）、「医療系」が5.8%（11人）、「大学院」が4.2%（8人）、「専門学校」が0.0%（0人）、「まだ決めていない」が18.8%（36人）であった。



【福祉心理学科】

「卒業後の進路をどのように考えていますか（主なもの2つ）」とたずねたところ、「福祉系」が64.3%（169人）と半数以上を占め、つぎに「一般企業系」が27.4%（72人）、さらに「公務員系」が17.1%（45人）、「医療系」が10.3%（27人）、「教育系」が7.6%（20人）、「大学院」が7.2%（19人）、「専門学校」が0.0%（0人）、「まだ決めていない」が15.6%（41人）であった。

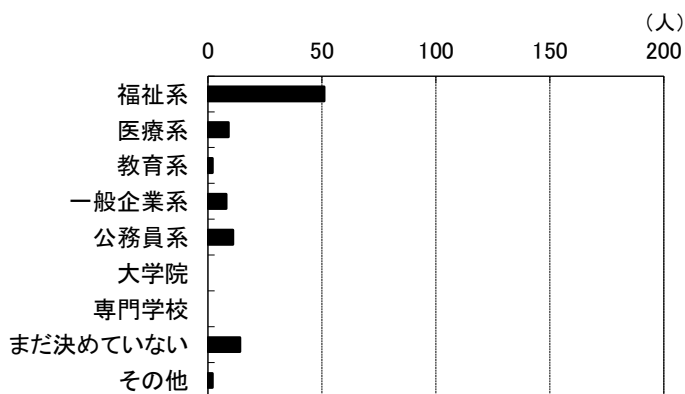
卒業後の進路(2つまで選択可)(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「卒業後の進路をどのように考えていますか（主なもの2つ）」とたずねたところ、「福祉系」が72.9%（51人）と7割以上を占め、つぎに「公務員系」が15.7%（11人）、さらに「医療系」が12.9%（9人）、「一般企業系」が11.4%（8人）、「教育系」が2.9%（2人）、「大学院」が0.0%（0人）、「専門学校」が0.0%（0人）、「まだ決めていない」が20.0%（14人）であった。

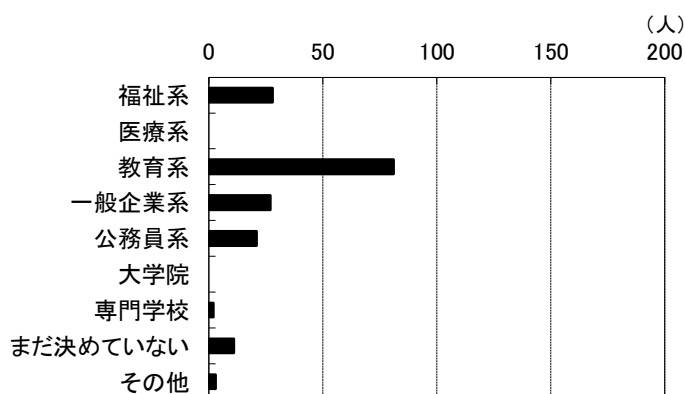
卒業後の進路(2つまで選択可)(健康福祉学科)



【子ども学科】

「卒業後の進路をどのように考えていますか（主なもの2つ）」とたずねたところ、「教育系」が65.9%（81人）と半数以上を占め、つぎに「福祉系」が22.8%（28人）、さらに「一般企業系」が22.0%（27人）、「公務員系」が17.1%（21人）、「専門学校」が1.6%（2人）、「医療系」、「大学院」がともに0.0%（0人）、「まだ決めていない」が8.9%（11人）であった。

卒業後の進路(2つまで選択可)(子ども学科)



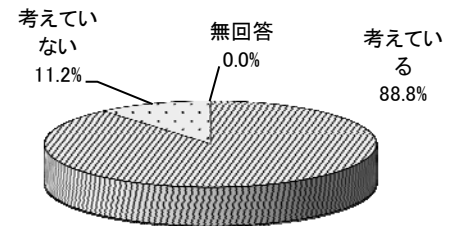
2-2 取得したい資格

【全体】

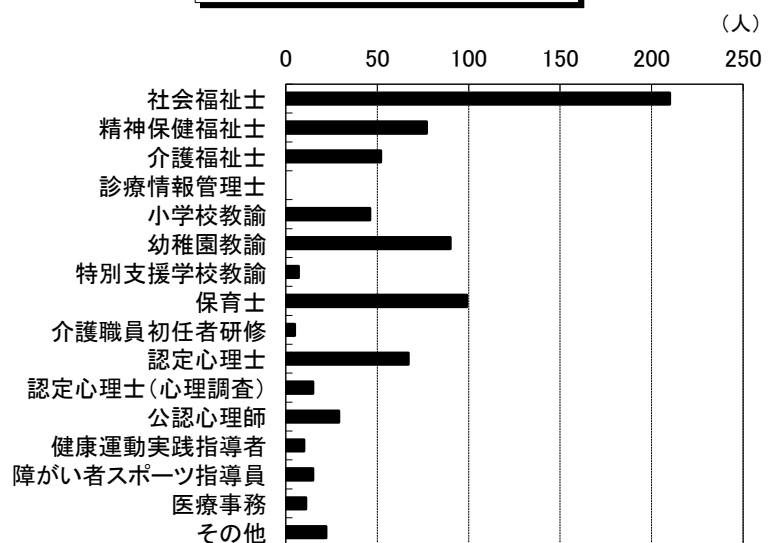
「就職などにつながる資格、免許を取得したいと考えていますか」とたずねたところ、「考えている」が88.8% (405人)、「考えていない」が11.2% (51人)であった。「考えている」の具体的な内容(複数回答可)としては、「社会福祉士」が51.9% (210人)、「精神保健福祉士」が19.0% (77人)、「介護福祉士」が12.8% (52人)、「診療情報管理士」が0.0% (0人)、「小学校教諭」が11.4%

(46人)、「幼稚園教諭」が22.2% (90人)、「特別支援学校教諭」が1.7% (7人)、「保育士」が24.4% (99人)、「介護職員初任者研修」が1.2% (5人)、「認定心理士」が16.5% (67人)、「認定心理士(心理調査)」が3.7% (15人)、「公認心理師」が7.2% (29人)、「健康運動実践指導者」が2.5% (10人)、「障がい者スポーツ指導員」が3.7% (15人)、「医療事務」が2.7% (11人)という結果であった。「その他」の内容は、スクールソーシャルワーカー、レクリエーションインストラクター、日商簿記、児童指導員などの記載がみられた。

資格、免許の取得を考えていますか？
(全体)



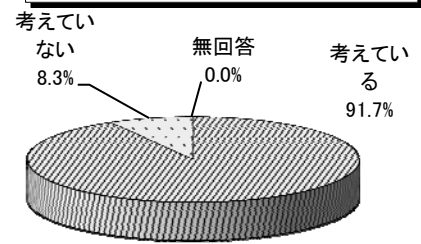
取得したい資格、免許(複数選択可)



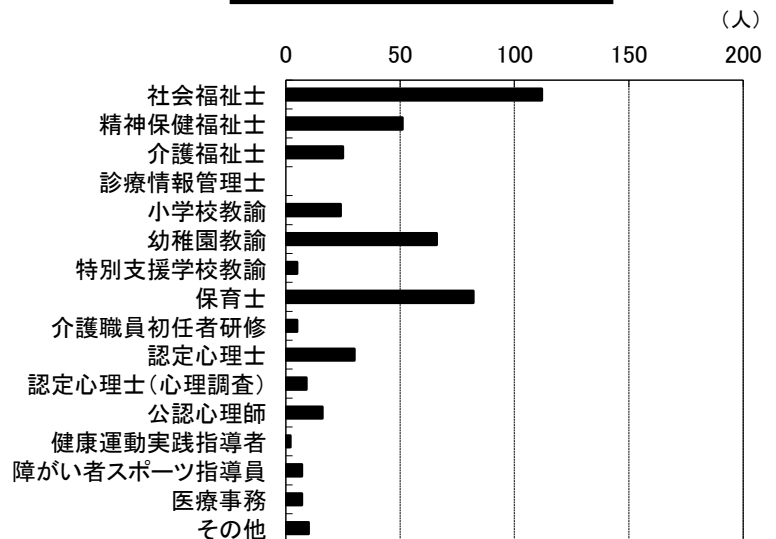
【女】

「就職などにつながる資格、免許を取得したいと考えていますか」とたずねたところ、「考えている」が91.7% (232人)、「考えていない」が8.3% (21人)であった。「考えている」の具体的な内容(複数回答可)としては、「社会福祉士」が48.3% (112人)、「精神保健福祉士」が22.0% (51人)、「介護福祉士」が10.8% (25人)、「診療情報管理士」が0.0% (0人)、「小学校教諭」が10.3% (24人)、「幼稚園教諭」が28.4% (66人)、「特別支援学校教諭」が2.2% (5人)、「保育士」が35.3% (82人)、「介護職員初任者研修」が2.2% (5人)、「認定心理士」が12.9% (30人)、「認定心理士(心理調査)」が3.9% (9人)、「公認心理師」が6.9% (16人)、「健康運動実践指導者」が0.9% (2人)、「障がい者スポーツ指導員」が3.0% (7人)、「医療事務」が3.0% (7人)という結果であった。

資格、免許の取得を考えていますか？
(女)



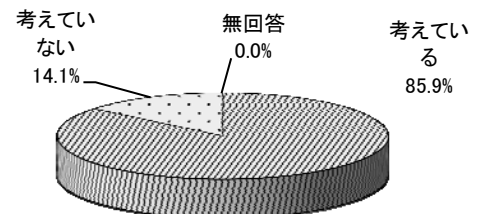
取得したい資格、免許(複数選択可)



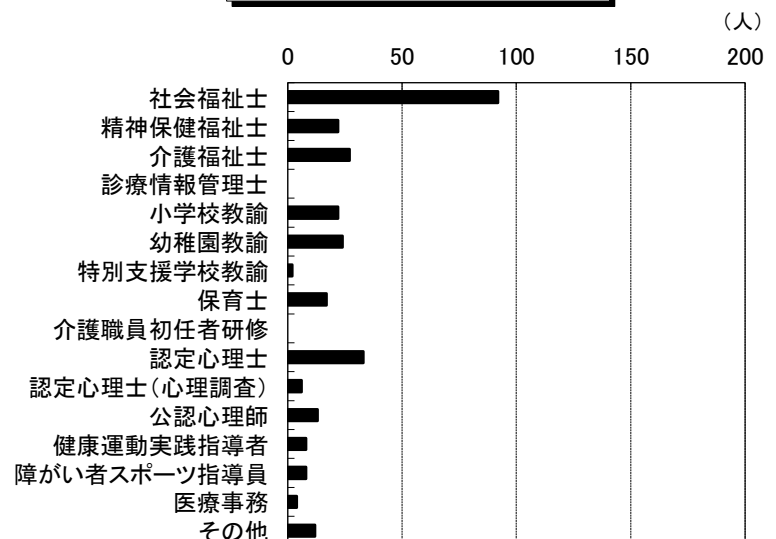
【男】

「就職などにつながる資格、免許を取得したいと考えていますか」とたずねたところ、「考えている」が85.9% (164人)、「考えていない」が14.1% (27人)であった。「考えている」の具体的な内容(複数回答可)としては、「社会福祉士」が56.1% (92人)、「精神保健福祉士」が13.4% (22人)、「介護福祉士」が16.5% (27人)、「診療情報管理士」が0.0% (0人)、「小学校教諭」が13.4% (22人)、「幼稚園教諭」が14.6% (24人)、「特別支援学校教諭」が1.2% (2人)、「保育士」が10.4% (17人)、「介護職員初任者研修」が0.0% (0人)、「認定心理士」が20.1% (33人)、「認定心理士(心理調査)」が3.7% (6人)、「公認心理師」が7.9% (13人)、「健康運動実践指導者」が4.9% (8人)、「障がい者スポーツ指導員」が4.9% (8人)、「医療事務」が2.4% (4人)という結果であった。

資格、免許の取得を考えていますか？
(男)



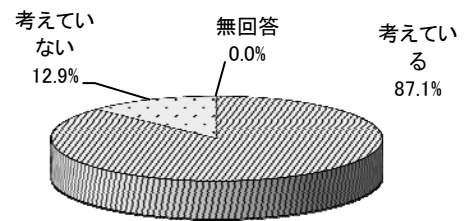
取得したい資格、免許(複数選択可)



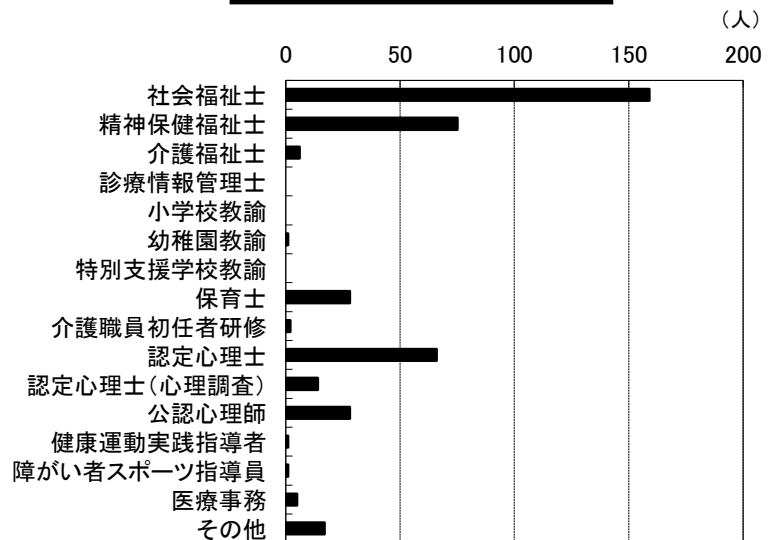
【福祉心理学科】

「就職などにつながる資格、免許を取得したいと考えていますか」とたずねたところ、「考えている」が87.1% (229人)、「考えていない」が12.9% (34人)であった。「考えている」の具体的な内容(複数回答可)としては、「社会福祉士」が69.4% (159人)、「精神保健福祉士」が32.8% (75人)、「介護福祉士」が2.6% (6人)、「診療情報管理士」が0.0% (0人)、「小学校教諭」が0.0% (0人)、「幼稚園教諭」が0.4% (1人)、「特別支援学校教諭」が0.0% (0人)、「保育士」が12.2% (28人)、「介護職員初任者研修」が0.9% (2人)、「認定心理士」が28.8% (66人)、「認定心理士(心理調査)」が6.1% (14人)、「公認心理師」が12.2% (28人)、「健康運動実践指導者」が0.4% (1人)、「障がい者スポーツ指導員」が0.4% (1人)、「医療事務」が2.2% (5人)という結果であった。

資格、免許の取得を考えていますか？
(福祉心理学科)



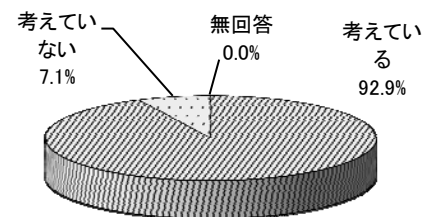
取得したい資格、免許(複数選択可)



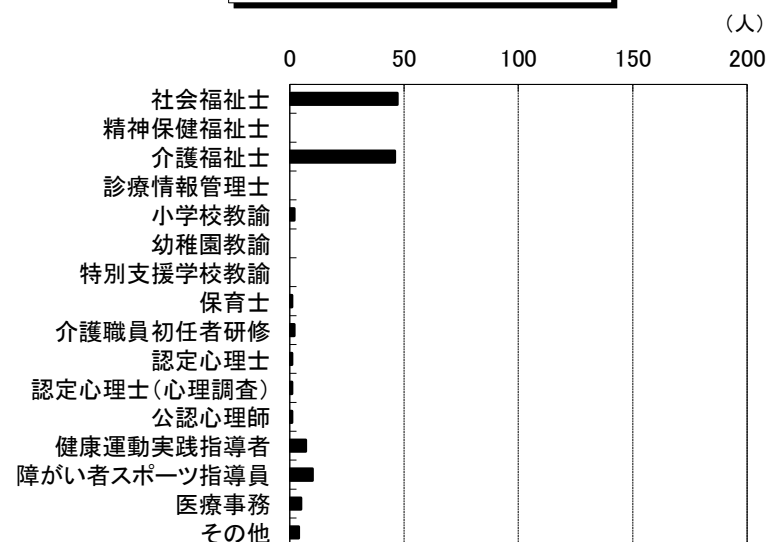
【健康福祉学科】

「就職などにつながる資格、免許を取得したいと考えていますか」とたずねたところ、「考えている」が92.9% (65人)、「考えていない」が7.1% (5人)であった。「考えている」の具体的な内容(複数回答可)としては、「社会福祉士」が72.3% (47人)、「精神保健福祉士」が0.0% (0人)、「介護福祉士」が70.8% (46人)、「診療情報管理士」が0.0% (0人)、「小学校教諭」が3.1% (2人)、「幼稚園教諭」が0.0% (0人)、「特別支援学校教諭」が0.0% (0人)、「保育士」が1.5% (1人)、「介護職員初任者研修」が3.1% (2人)、「認定心理士」が1.5% (1人)、「認定心理士(心理調査)」が1.5% (1人)、「公認心理師」が1.5% (1人)、「健康運動実践指導者」が10.8% (7人)、「障がい者スポーツ指導員」が15.4% (10人)、「医療事務」が7.7% (5人)という結果であった。

資格、免許の取得を考えていますか？
(健康福祉学科)



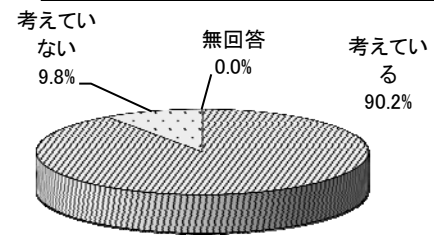
取得したい資格、免許(複数選択可)



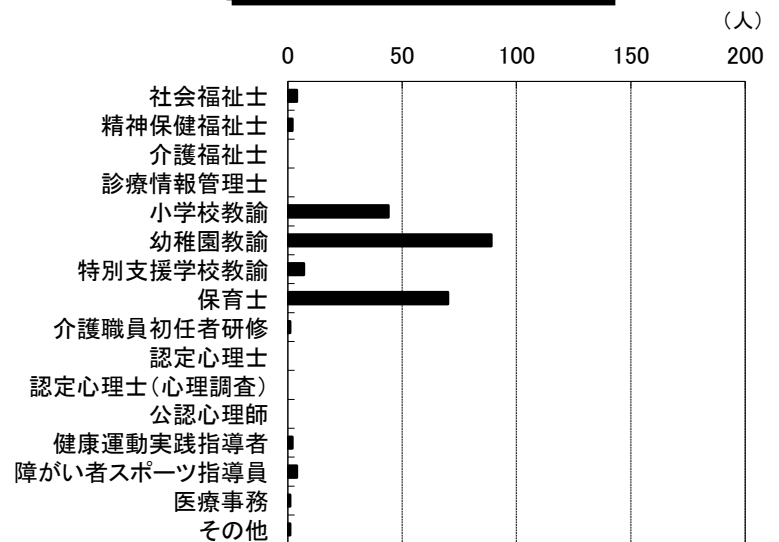
【子ども学科】

「就職などにつながる資格、免許を取得したいと考えていますか」とたずねたところ、「考えている」が90.2% (111人)、「考えていない」が9.8% (12人)であった。「考えている」の具体的な内容(複数回答可)としては、「社会福祉士」が3.6% (4人)、「精神保健福祉士」が1.8% (2人)、「介護福祉士」が0.0% (0人)、「診療情報管理士」が0.0% (0人)、「小学校教諭」が39.6% (44人)、「幼稚園教諭」が80.2% (89人)、「特別支援学校教諭」が6.3% (7人)、「保育士」が63.1% (70人)、「介護職員初任者研修」が0.9% (1人)、「認定心理士」が0.0% (0人)、「認定心理士(心理調査)」が0.0% (0人)、「公認心理師」が0.0% (0人)、「健康運動実践指導者」が1.8% (2人)、「障がい者スポーツ指導員」が3.6% (4人)、「医療事務」が0.9% (1人)という結果であった。

資格、免許の取得を考えていますか？
(子ども学科)



取得したい資格、免許(複数選択可)

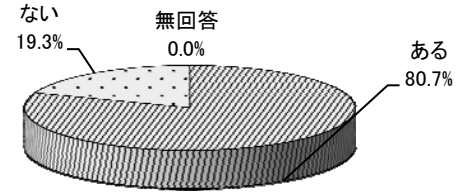


2-3 将来設計（進路）への不安

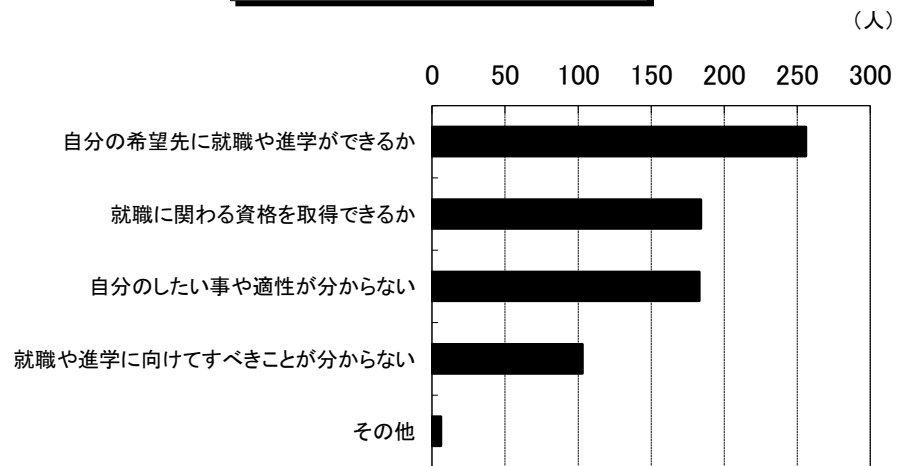
【全体】

「将来設計（進路）について不安がありますか」とたずねたところ、「ある」が80.7%（368人）、「ない」が19.3%（88人）であった。「ある」の具体的な内容（複数回答可）としては、「自分の希望先に就職や進学ができるか」が69.6%（256人）、「就職に関わる資格を取得できるか」が50.0%（184人）、「自分のしたい事や適性が分からない」が49.7%（183人）、「就職や進学に向けてすべきことが分からない」が28.0%（103人）という結果であった。「その他」の内容は、家族関係、就活が上手くいっていない、面接や就職活動などで会社側が聴覚障害に対応してくれるのか不安、就職できた際、職員とよい人間関係を築けるか等があげられた。

将来設計に不安がありますか？
（全体）



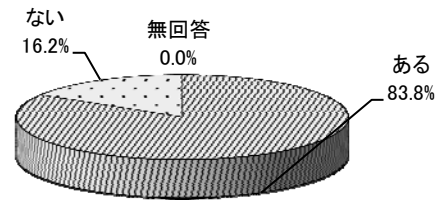
将来設計についての不安（複数選択可）



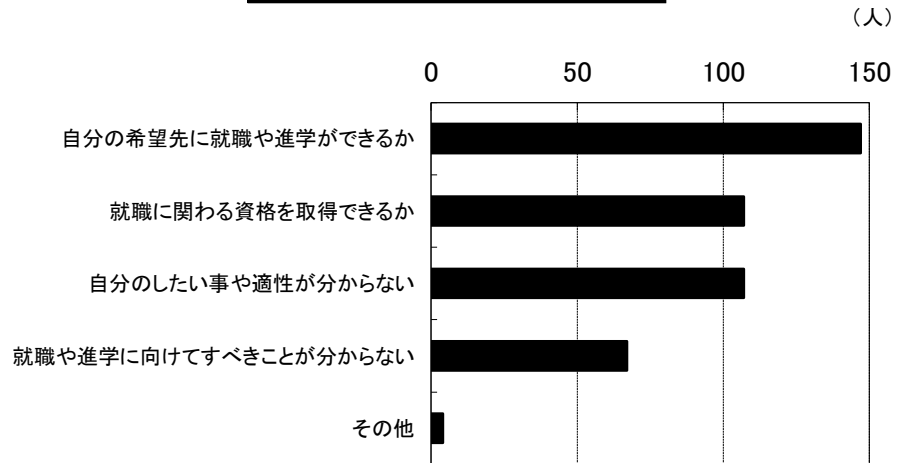
【女】

「将来設計（進路）について不安がありますか」とたずねたところ、「ある」が83.8%（212人）、「ない」が16.2%（41人）であった。「ある」の具体的な内容（複数回答可）としては、「自分の希望先に就職や進学ができるか」が69.3%（147人）、「就職に関わる資格を取得できるか」が50.5%（107人）、「自分のしたい事や適性が分からない」が50.5%（107人）、「就職や進学に向けてすべきことが分からない」が31.6%（67人）という結果であった。

将来設計に不安がありますか？
（女）



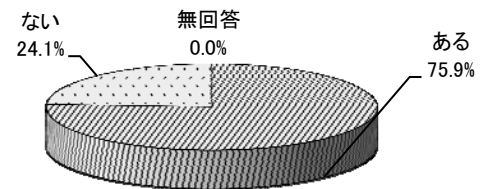
将来設計についての不安（複数選択可）



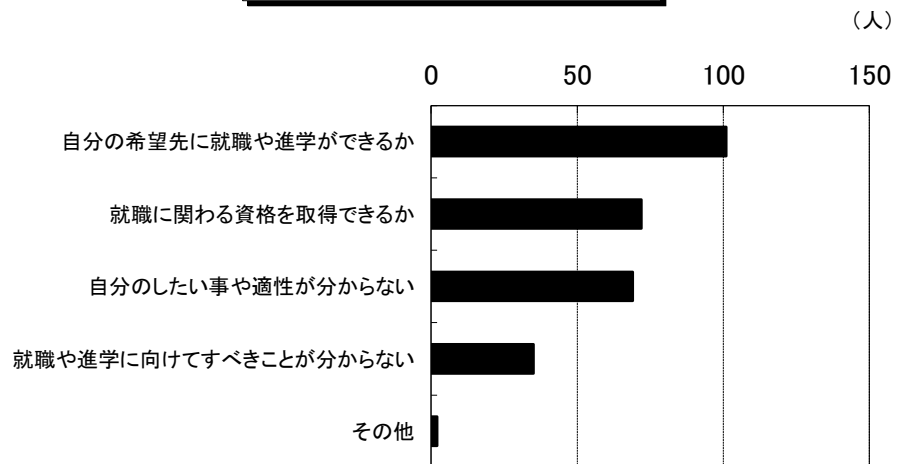
【男】

「将来設計（進路）について不安がありますか」とたずねたところ、「ある」が75.9%（145人）、「ない」が24.1%（46人）であった。「ある」の具体的な内容（複数回答可）としては、「自分の希望先に就職や進学ができるか」が69.7%（101人）、「就職に関わる資格を取得できるか」が49.7%（72人）、「自分のしたい事や適性が分からない」が47.6%（69人）、「就職や進学に向けてすべきことが分からない」が24.1%（35人）という結果であった。

将来設計に不安がありますか？
（男）



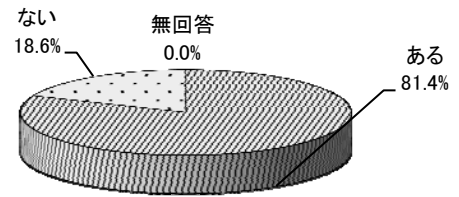
将来設計についての不安（複数選択可）



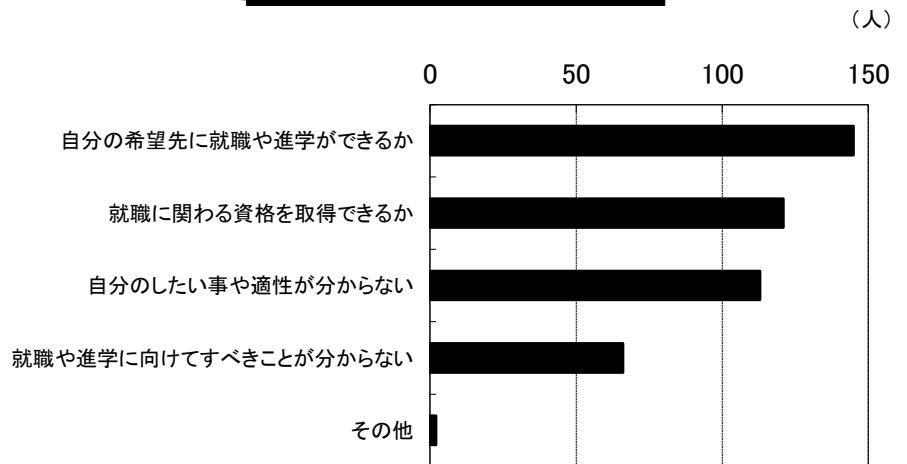
【福祉心理学科】

「将来設計（進路）について不安がありますか」とたずねたところ、「ある」が81.4%（214人）、「ない」が18.6%（49人）であった。「ある」の具体的な内容（複数回答可）としては、「自分の希望先に就職や進学ができるか」が67.8%（145人）、「就職に関わる資格を取得できるか」が56.5%（121人）、「自分のしたい事や適性が分からない」が52.8%（113人）、「就職や進学に向けてすべきことが分からない」が30.8%（66人）という結果であった。

将来設計に不安がありますか？
（福祉心理学科）



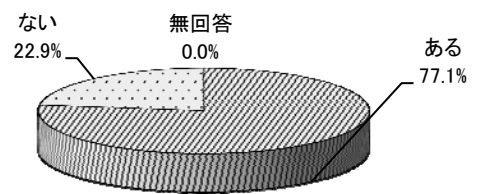
将来設計についての不安（複数選択可）



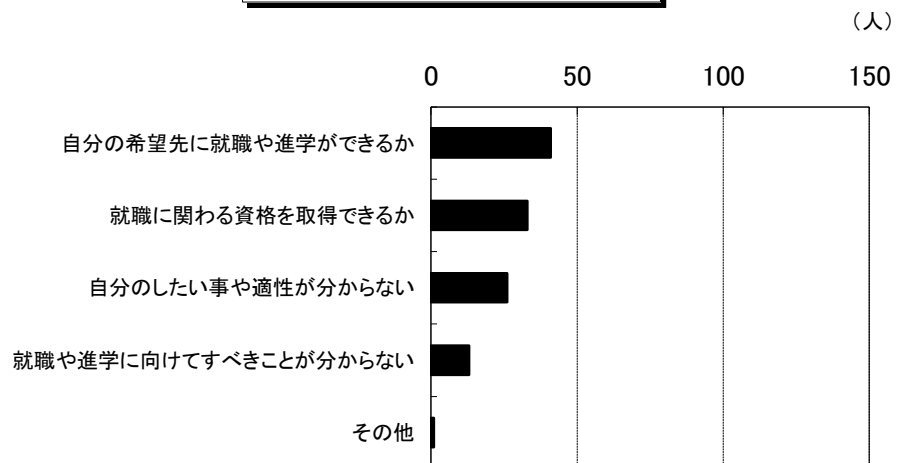
【健康福祉学科】

「将来設計（進路）について不安がありますか」とたずねたところ、「ある」が77.1%（54人）、「ない」が22.9%（16人）であった。「ある」の具体的な内容（複数回答可）としては、「自分の希望先に就職や進学ができるか」が75.9%（41人）、「就職に関わる資格を取得できるか」が61.1%（33人）、「自分のしたい事や適性が分からない」が48.1%（26人）、「就職や進学に向けてすべきことが分からない」が24.1%（13人）という結果であった。

将来設計に不安がありますか？
（健康福祉学科）



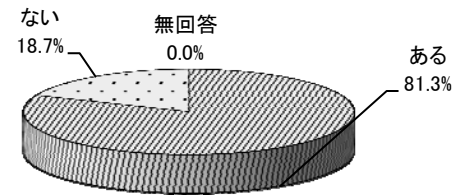
将来設計についての不安（複数選択可）



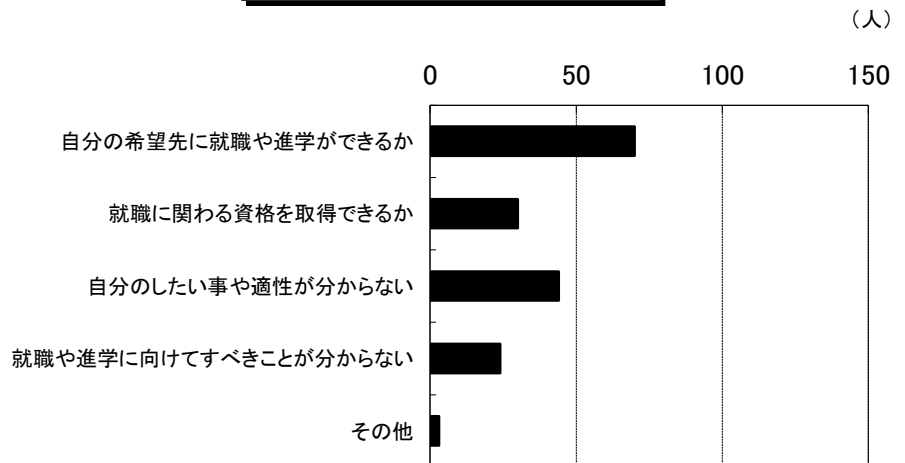
【子ども学科】

「将来設計（進路）について不安がありますか」とたずねたところ、「ある」が81.3%（100人）、「ない」が18.7%（23人）であった。「ある」の具体的な内容（複数回答可）としては、「自分の希望先に就職や進学ができるか」が70.0%（70人）、「就職に関わる資格を取得できるか」が30.0%（30人）、「自分のしたい事や適性が分からない」が44.0%（44人）、「就職や進学に向けてすべきことが分からない」が24.0%（24人）という結果であった。

**将来設計に不安がありますか？
（子ども学科）**



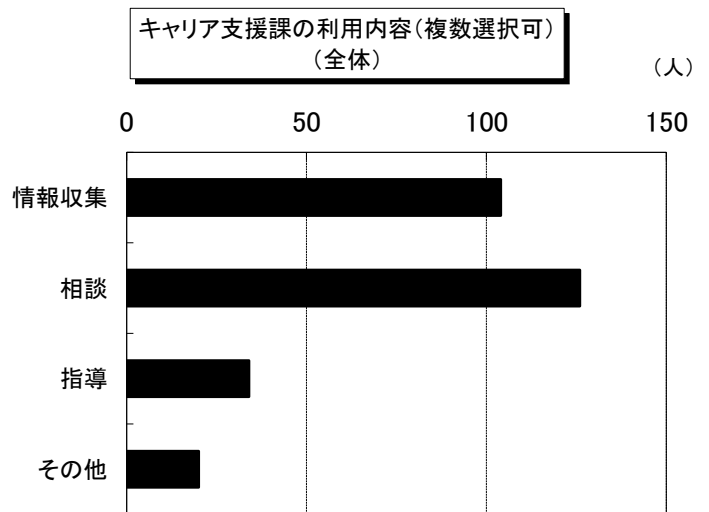
将来設計についての不安（複数選択可）



2-4 キャリア支援課の活用

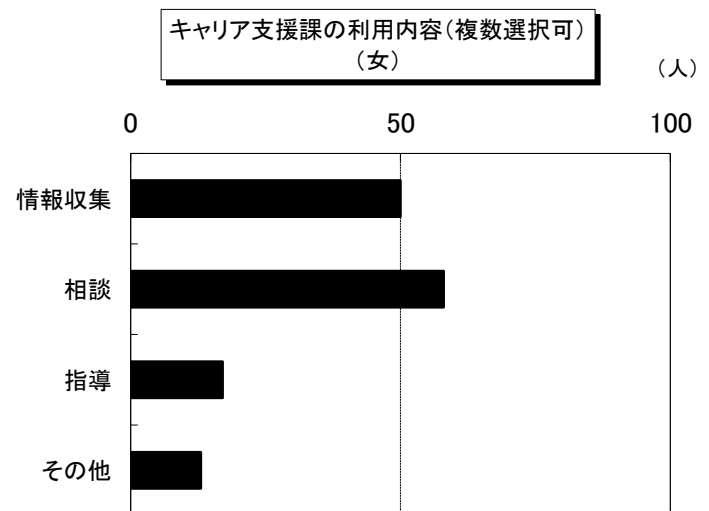
【全体】

「キャリア支援課を利用したことがある方は、利用した内容を教えてください（複数回答可）」とたずねたところ、「情報収集」が22.8%（104人）、「相談」が27.6%（126人）、「指導」が7.5%（34人）、「その他」は4.4%（20人）という結果であった。「その他」の内容は、・インターシップに関すること、課題の受け取り、求職表を取りに行った、奨学金等があげられた。



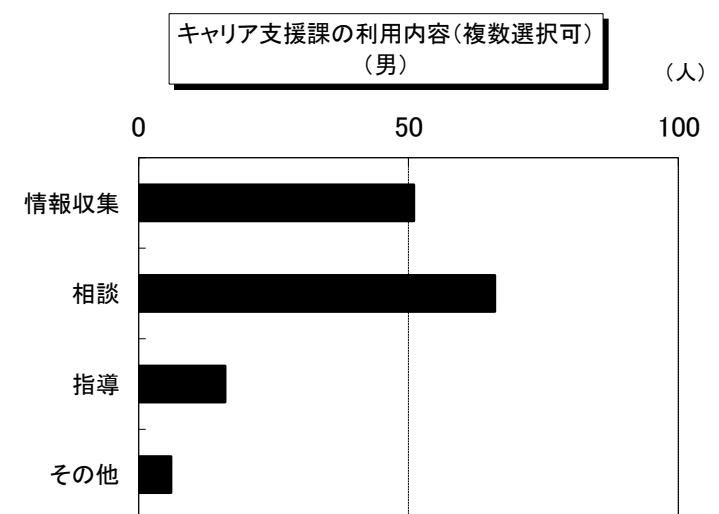
【女】

「キャリア支援課を利用したことがある方は、利用した内容を教えてください（複数回答可）」とたずねたところ、「情報収集」が19.8%（50人）、「相談」が22.9%（58人）、「指導」が6.7%（17人）、「その他」は5.1%（13人）という結果であった。



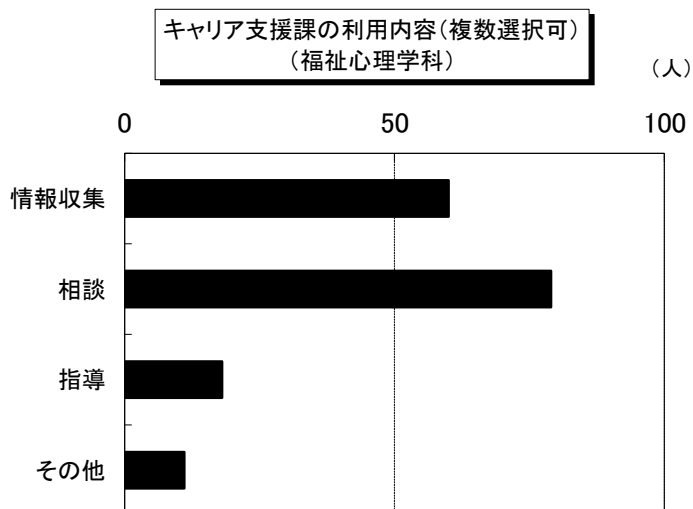
【男】

「キャリア支援課を利用したことがある方は、利用した内容を教えてください（複数回答可）」とたずねたところ、「情報収集」が26.7%（51人）、「相談」が34.6%（66人）、「指導」が8.4%（16人）、「その他」は3.1%（6人）という結果であった。



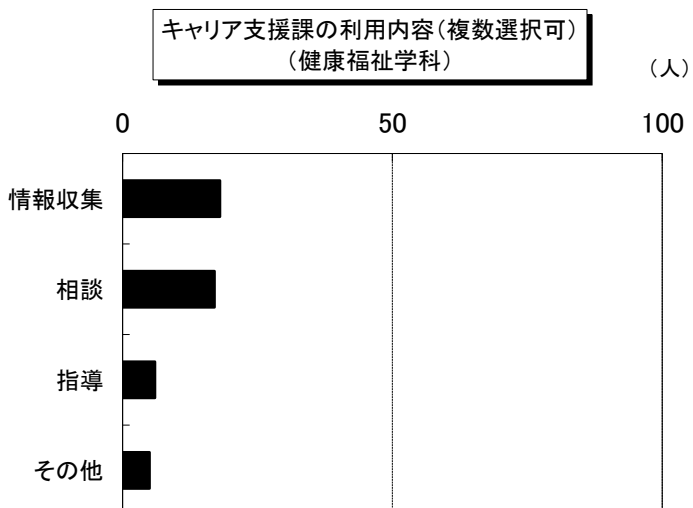
【福祉心理学科】

「キャリア支援課を利用したことがある方は、利用した内容を教えてください（複数回答可）」とたずねたところ、「情報収集」が22.8%（60人）、「相談」が30.0%（79人）、「指導」が6.8%（18人）、「その他」は4.2%（11人）という結果であった。



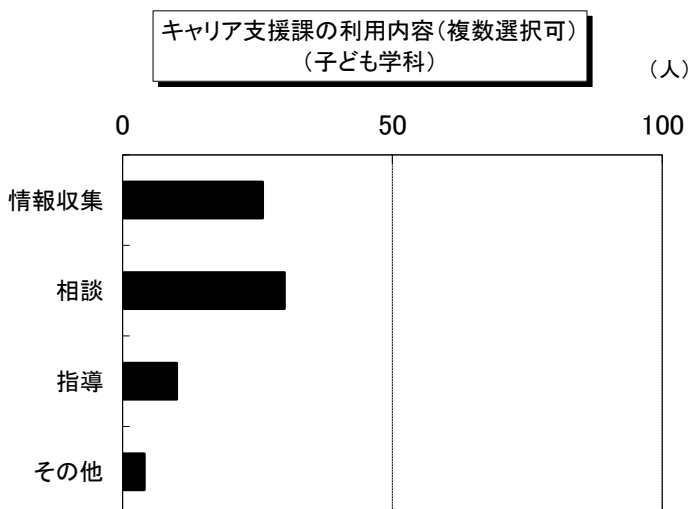
【健康福祉学科】

「キャリア支援課を利用したことがある方は、利用した内容を教えてください（複数回答可）」とたずねたところ、「情報収集」が25.7%（18人）、「相談」が24.3%（17人）、「指導」が8.6%（6人）、「その他」は7.1%（5人）という結果であった。



【子ども学科】

「キャリア支援課を利用したことがある方は、利用した内容を教えてください（複数回答可）」とたずねたところ、「情報収集」が21.1%（26人）、「相談」が24.4%（30人）、「指導」が8.1%（10人）、「その他」は3.3%（4人）という結果であった。



2-5 キャリア支援課への要望や質問

11名の記述があった。要望としては、「どこにあるかも曖昧なので、分かりやすく、入りやすい工夫をして欲しい」「まずどう利用していいか分からない」「どんな就職先があるのか知りたいです。キャリア支援課に行きにくいいため気軽に質問できるようなところか知りたいです。」などがあった。質問としては、「どんなことで相談に行ったらいいですか?」「少しでも分からないことがあった時伺っても大丈夫でしょうか?」などがあった。

キャリア支援課(キャリア支援担当)からのコメント

2-1 卒業後の進路

卒業後の進路について、福祉系が男女ともに半数を占め、続いて男性は一般企業、女性は教育系でしたが、男女別での違いはほとんどありませんでした。学科別では、福祉系については健康福祉学科が約 7 割と一番多く、福祉心理学科も約 6 割でした。子ども学科では、教育系が約 6 割と一番多く、福祉系は 2 割という結果で、学科の特徴を踏まえて違いがありました。実際の卒業後の進路においても、福祉・医療・教育系で 7 割となっており、学生が在学中に希望している分野に就職している状況となっています。一方で公務員が 16.9%と一定数いますが、実際の卒業後の進路では 1 割に満たない状況が続いています。公務員志望を継続していくことが課題と言えます。

2-2 取得したい資格

約 9 割が資格・免許取得を考えています。この結果は男女別、学科別においても同様の結果でした。資格の内訳では、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・保育士の国家資格、及び小学校・幼稚園教諭の教員免許状を希望している割合が多いという状況でした。卒業時において実際に資格を取得できた人は 9 割を下回ることから、目指している資格・免許を卒業まで継続し、取得に繋げていくことが課題となっています。在学時に取得した資格は、今後のキャリアを形成していく上で非常に大きな意味を持ちます。そのため在学中に資格・免許を取得するモチベーションを維持していく支援体制が必要と考えます。

2-3 将来設計（進路）への不安

将来設計（進路）への不安については、8 割が「ある」と回答しています。「ある」と回答した人の具体的内容では、希望先への就職・進学が 7 割、資格取得できるか、自分のしたいこと・適正が分からないが 5 割という結果でした。男女別に違いは見られませんでした。学科別では 8 割が不安があることに学科間の違いはありませんでしたが、具体的内容では、子ども学科で資格取得できるかの割合が 3 割となっており、他学科と比較すると低い結果でした。多くの学生が将来設計（進路）に不安を感じていることから、早い段階でのキャリア支援が必要になっていると考えています。

2-4 キャリア支援課の活用

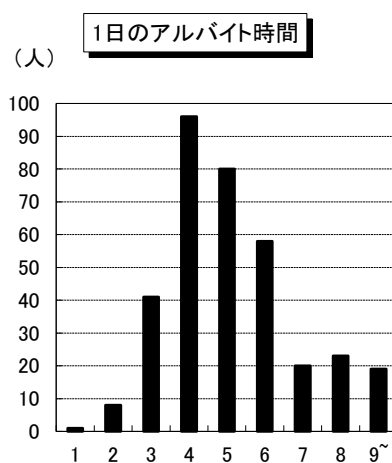
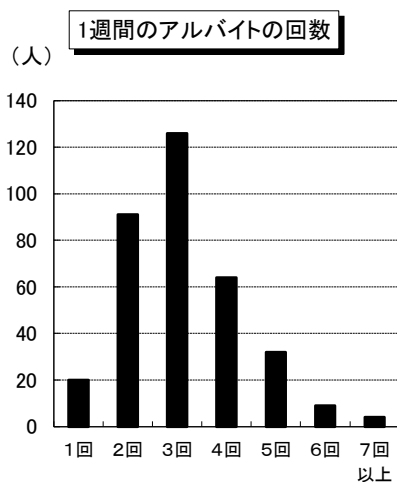
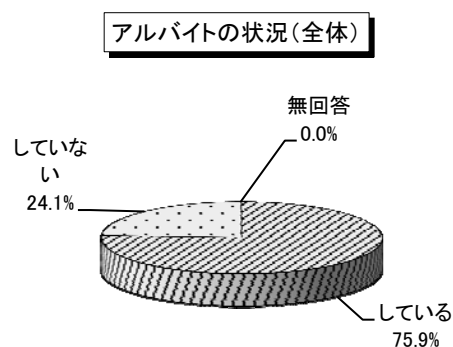
キャリア支援課の活用では、「情報収集」「相談」で利用している者が多くを占めました。この結果が男女別、学科別においても違いがありませんでした。自由記述の中で「どこにあるか曖昧」「どう利用してよいか分からない」という記述もあり、気軽に相談できる体制を作っていくことが課題と考えています。

第3章 学生生活

3-1 アルバイトの状況

【全体】

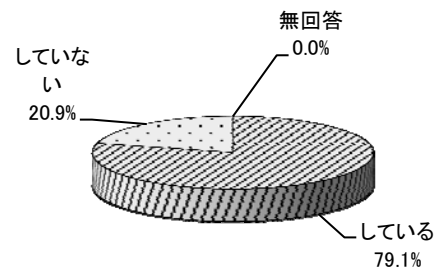
「アルバイトをしていますか」とたずねたところ、「している」が75.9% (346人)、「していない」が24.1% (110人)であった。1週間のアルバイトの回数は3回が多く、1日に従事する時間は平均4~5時間が多かった。また、13人の学生 (346人中3.8%) に週6回以上の回答が、42人の学生 (346人中12.1%) に1日平均8時間以上の回答がみられた。一方、「していない」と回答した学生のうち、「アルバイトを希望」は55.5% (61人)、「アルバイトを希望していない」は43.6% (48人)であった。アルバイトは手軽に収入を得る方法として学生の日常生活の一部にまでなっており、それだけに安易なアルバイトが学業をおろそかにしてしまう危険性も多分にあるため注意が必要である。



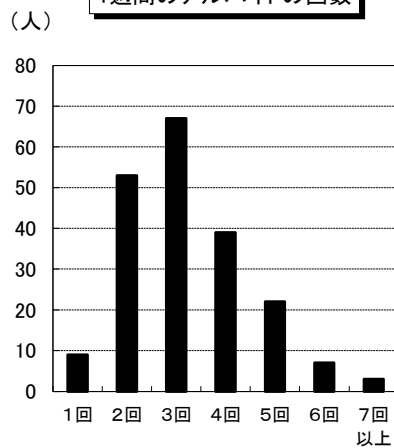
【女】

「アルバイトをしていますか」とたずねたところ、「している」が79.1% (200人)、「していない」が20.9% (53人)であった。1週間のアルバイトの回数は3回が多く、1日に従事する時間は平均4~5時間が多かった。また、10人の学生(200人中5.0%)に週6回以上の回答が、24人の学生(200人中12.0%)に1日平均8時間以上の回答がみられた。一方、「していない」と回答した学生のうち、「アルバイトを希望」は67.9% (36人)、「アルバイトを希望していない」は32.1% (17人)であった。

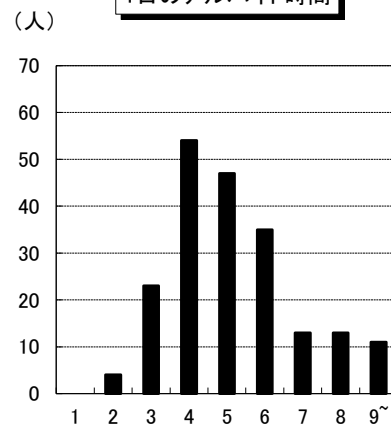
アルバイトの状況(女)



1週間のアルバイトの回数



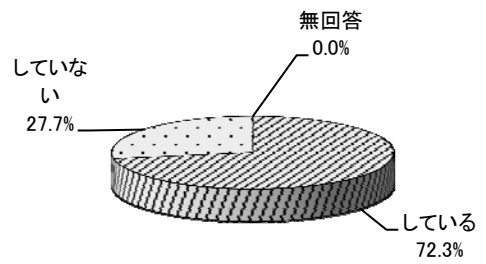
1日のアルバイト時間



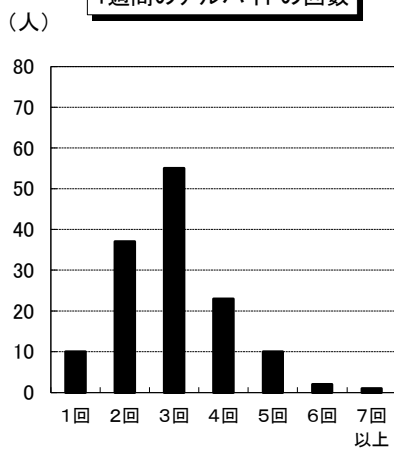
【男】

「アルバイトをしていますか」とたずねたところ、「している」が72.3% (138人)、「していない」が27.7% (53人)であった。1週間のアルバイトの回数は3回が多く、1日に従事する時間は平均4~5時間が多かった。また、3人の学生(138人中2.2%)に週6回以上の回答が、14人の学生(138人中10.1%)に1日平均8時間以上の回答がみられた。一方、「していない」と回答した学生のうち、「アルバイトを希望」は43.4% (23人)、「アルバイトを希望していない」は54.7% (29人)であった。

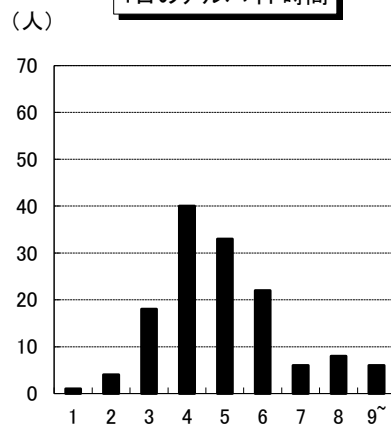
アルバイトの状況(男)



1週間のアルバイトの回数



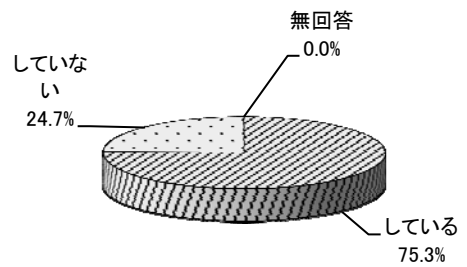
1日のアルバイト時間



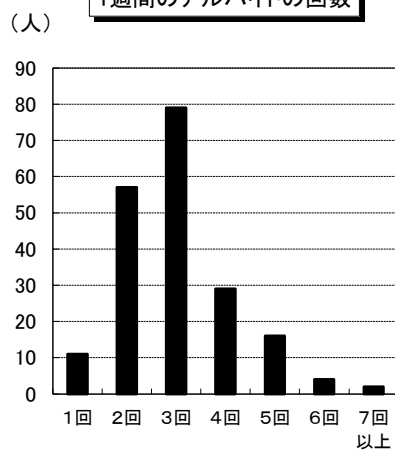
【福祉心理学科】

「アルバイトをしていますか」とたずねたところ、「している」が75.3% (198人)、「していない」が24.7% (65人)であった。1週間のアルバイトの回数は3回が多く、1日に従事する時間は平均4～5時間が多かった。また、6人の学生(198人中3.0%)に週6回以上の回答が、28人の学生(198人中14.1%)に1日平均8時間以上との回答がみられた。一方、「していない」と回答した学生のうち、「アルバイトを希望」は55.4% (36人)、「アルバイトを希望していない」は44.6% (29人)であった。

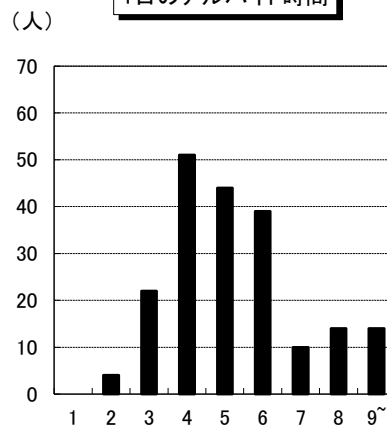
アルバイトの状況(福祉心理学科)



1週間のアルバイトの回数



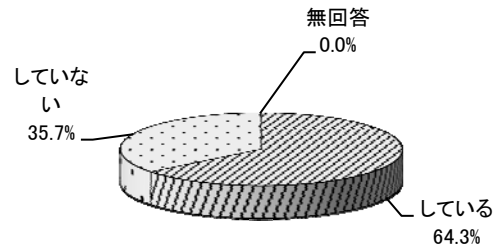
1日のアルバイト時間



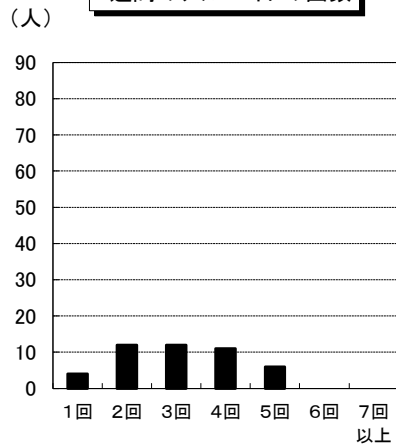
【健康福祉学科】

「アルバイトをしていますか」とたずねたところ、「している」が64.3% (45人)、「していない」が35.7% (25人)であった。1週間のアルバイトの回数は2~4回が多く、1日に従事する時間は平均4~5時間が多かった。また、週6回以上と回答した学生はおらず、3人の学生(45人中6.7%)に1日平均8時間以上との回答がみられた。一方、「していない」と回答した学生のうち、「アルバイトを希望」は52.0% (13人)、「アルバイトを希望していない」は44.0% (11人)であった。

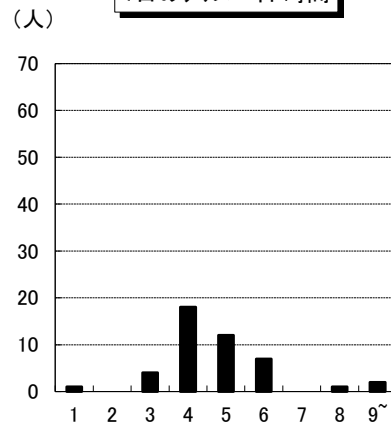
アルバイトの状況(健康福祉学科)



1週間のアルバイトの回数



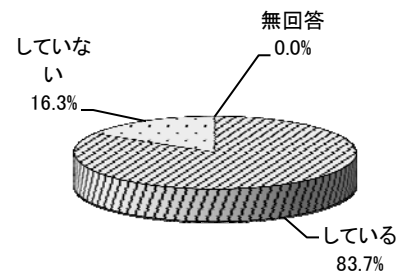
1日のアルバイト時間



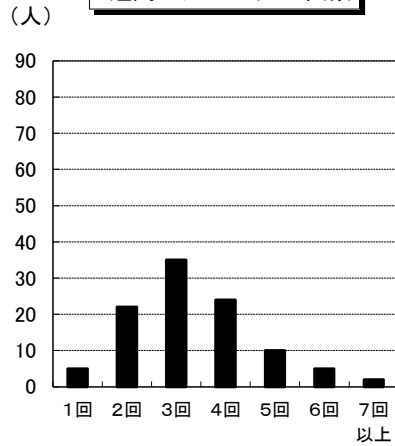
【子ども学科】

「アルバイトをしていますか」とたずねたところ、「している」が83.7% (103人)、「していない」が16.3% (20人)であった。1週間のアルバイトの回数は3回が多く、1日に従事する時間は平均4~5時間が多かった。また、7人の学生(103人中6.8%)に週6回以上の回答が、11人の学生(103人中10.7%)に1日平均8時間以上の回答がみられた。一方、「していない」と回答した学生のうち、「アルバイトを希望」は60.0% (12人)、「アルバイトを希望していない」は40.0% (8人)であった。

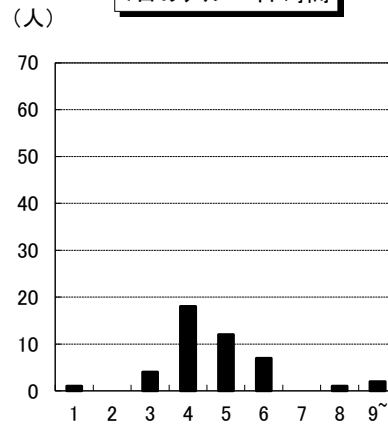
アルバイトの状況(子ども学科)



1週間のアルバイトの回数



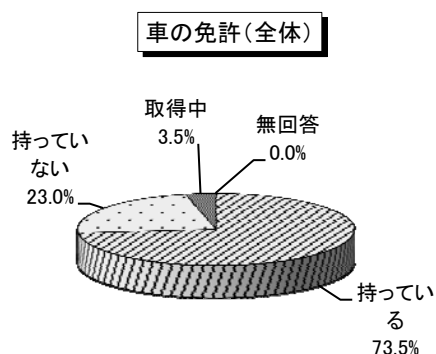
1日のアルバイト時間



3-2 車の免許

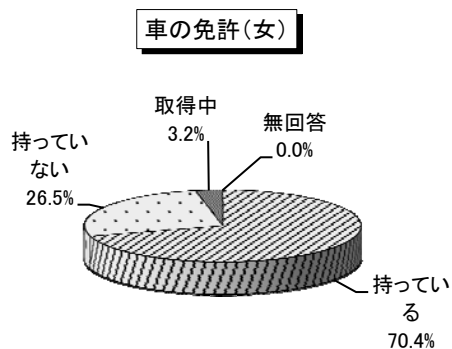
【全体】

「車の免許を持っていますか」とたずねたところ、「持っている」が73.5%（335人）、「持っていない」が23.0%（105人）、「取得中（自動車学校に通学中など）」が3.5%（16人）であり、約7割の学生が車の免許を取得していることが示された。学年によって差があると思われるが、通学や実習、就職等を考えて、卒業までに多くの学生が取得を目指している。



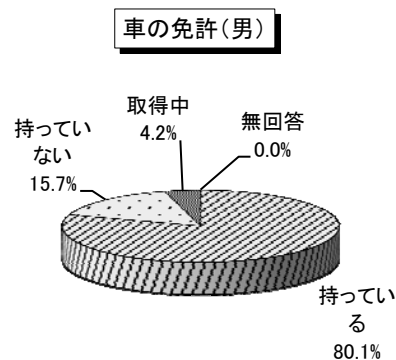
【女】

「車の免許を持っていますか」とたずねたところ、「持っている」が70.4%（178人）、「持っていない」が26.5%（67人）、「取得中（自動車学校に通学中など）」が3.2%（8人）であり、約7割の学生が車の免許を取得していることが示された。



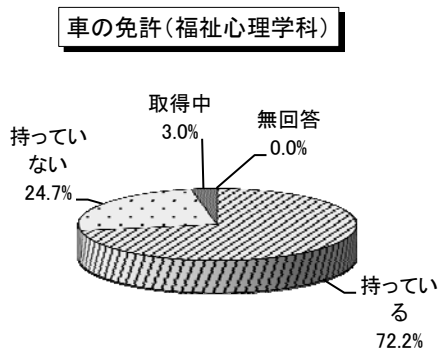
【男】

「車の免許を持っていますか」とたずねたところ、「持っている」が80.1%（153人）、「持っていない」が15.7%（30人）、「取得中（自動車学校に通学中など）」が4.2%（8人）であり、約8割の学生が車の免許を取得していることが示された。



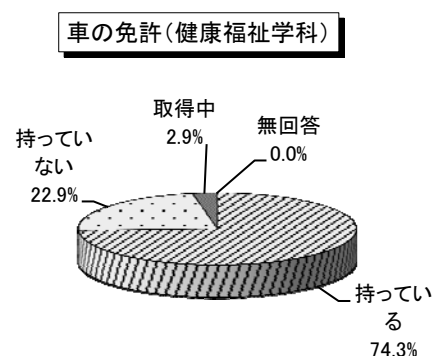
【福祉心理学科】

「車の免許を持っていますか」とたずねたところ、「持っている」が72.2%（190人）、「持っていない」が24.7%（65人）、「取得中（自動車学校に通学中など）」が3.0%（8人）であり、約7割の学生が車の免許を取得していることが示された。



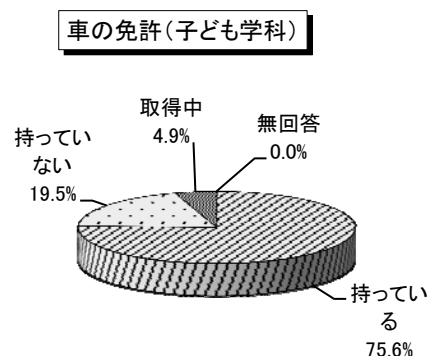
【健康福祉学科】

「車の免許を持っていますか」とたずねたところ、「持っている」が74.3%（52人）、「持っていない」が22.9%（16人）、「取得中（自動車学校に通学中など）」が2.9%（2人）であり、約7割の学生が車の免許を取得していることが示された。



【子ども学科】

「車の免許を持っていますか」とたずねたところ、「持っている」が75.6%（93人）、「持っていない」が19.5%（24人）、「取得中（自動車学校に通学中など）」が4.9%（6人）であり、約7割の学生が車の免許を取得していることが示された。

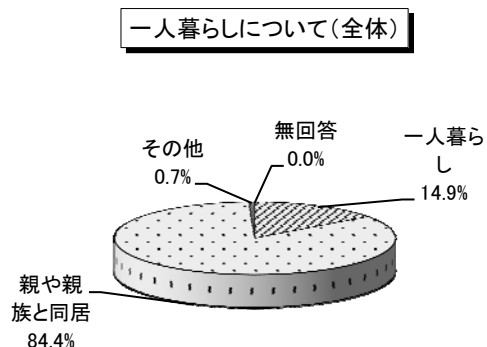


3-3 同居家族の有無

【全体】

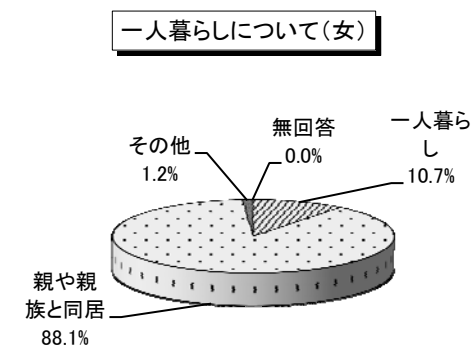
「現在、授業がある時期は一人暮らしをしていますか」とたずねたところ、「一人暮らし」14.9% (68人)、「親や親族と同居」84.4% (385人)で、8割以上の学生が親や親族と同居をしていることが示された。

「その他」の内容は、友達と暮らしている、途中から一人暮らし等があげられた。



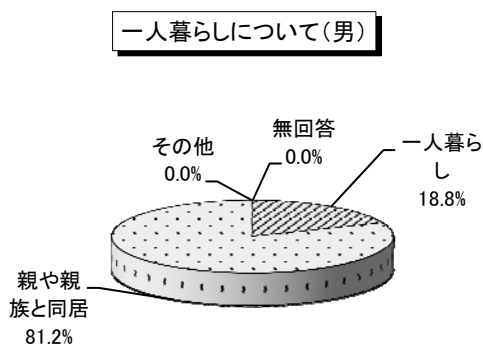
【女】

「現在、授業がある時期は一人暮らしをしていますか」とたずねたところ、「一人暮らし」10.7% (27人)、「親や親族と同居」88.1% (223人)で、8割以上の学生が親や親族と同居をしていることが示された。



【男】

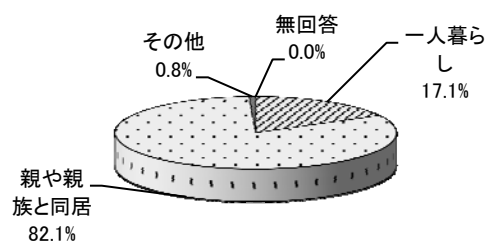
「現在、授業がある時期は一人暮らしをしていますか」とたずねたところ、「一人暮らし」18.8% (36人)、「親や親族と同居」81.2% (155人)で、8割以上の学生が親や親族と同居をしていることが示された。



【福祉心理学科】

「現在、授業がある時期は一人暮らしをしていますか」とたずねたところ、「一人暮らし」17.1% (45人)、「親や親族と同居」82.1% (216人)で、8割以上の学生が親や親族と同居をしていることが示された。

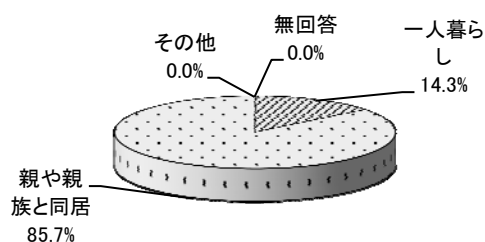
一人暮らしについて(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「現在、授業がある時期は一人暮らしをしていますか」とたずねたところ、「一人暮らし」14.3% (10人)、「親や親族と同居」85.7% (60人)で、8割以上の学生が親や親族と同居をしていることが示された。

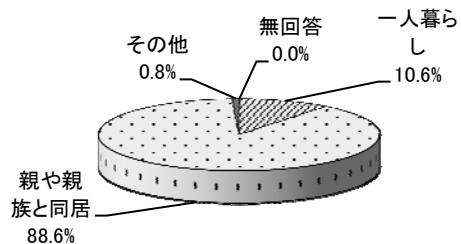
一人暮らしについて(健康福祉学科)



【子ども学科】

「現在、授業がある時期は一人暮らしをしていますか」とたずねたところ、「一人暮らし」10.6% (13人)、「親や親族と同居」88.6% (109人)で、8割以上の学生が親や親族と同居をしていることが示された。

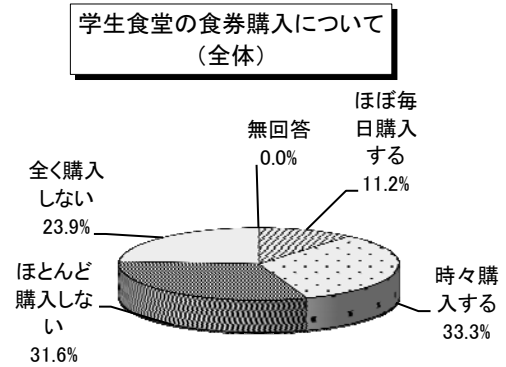
一人暮らしについて(子ども学科)



3-4 学生食堂

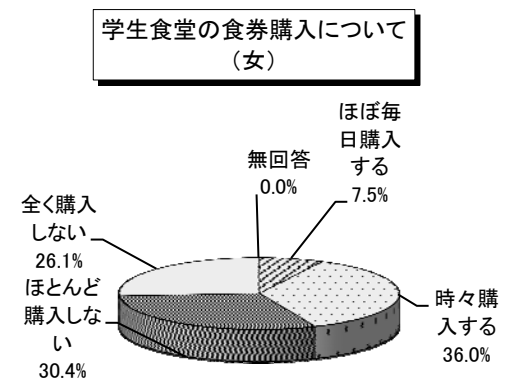
【全体】

「学生食堂でどのくらいの頻度で食券を購入しますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日購入する」が11.2% (51人)、「時々購入する」が33.3% (152人)、「ほとんど購入しない」が31.6% (144人)、「全く購入しない」が23.9% (109人) という結果であった。



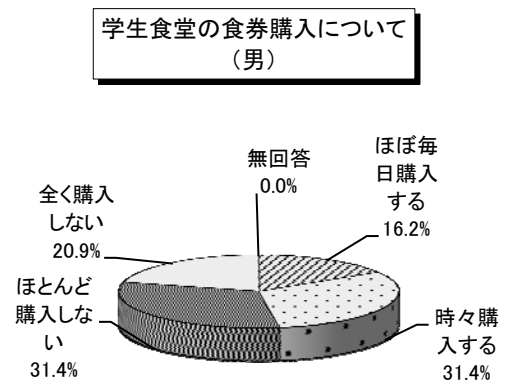
【女】

「学生食堂でどのくらいの頻度で食券を購入しますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日購入する」が7.5% (19人)、「時々購入する」が36.0% (91人)、「ほとんど購入しない」が30.4% (77人)、「全く購入しない」が26.1% (66人) という結果であった。



【男】

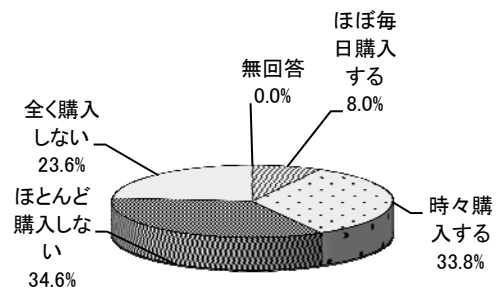
「学生食堂でどのくらいの頻度で食券を購入しますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日購入する」が16.2% (31人)、「時々購入する」が31.4% (60人)、「ほとんど購入しない」が31.4% (60人)、「全く購入しない」が20.9% (40人) という結果であった。



【福祉心理学科】

「学生食堂でどのくらいの頻度で食券を購入しますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日購入する」が 8.0% (21 人)、「時々購入する」が 33.8% (89 人)、「ほとんど購入しない」が 34.6% (91 人)、「全く購入しない」が 23.6% (62 人) という結果であった。

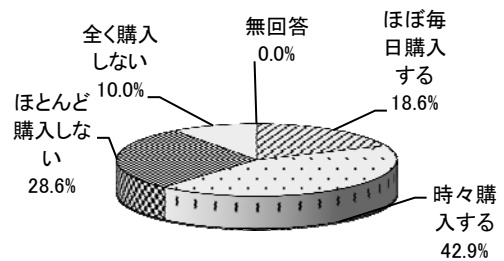
学生食堂の食券購入について
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「学生食堂でどのくらいの頻度で食券を購入しますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日購入する」が 18.6% (13 人)、「時々購入する」が 42.9% (30 人)、「ほとんど購入しない」が 28.6% (20 人)、「全く購入しない」が 10.0% (7 人) という結果であった。

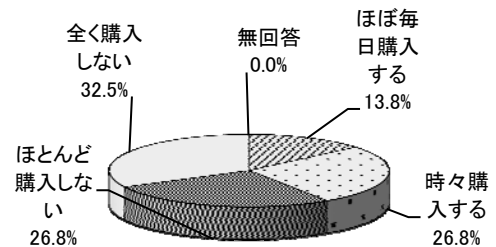
学生食堂の食券購入について
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「学生食堂でどのくらいの頻度で食券を購入しますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日購入する」が 13.8% (17 人)、「時々購入する」が 26.8% (33 人)、「ほとんど購入しない」が 26.8% (33 人)、「全く購入しない」が 32.5% (40 人) という結果であった。

学生食堂の食券購入について
(子ども学科)



3-5 通学時間

【全体】

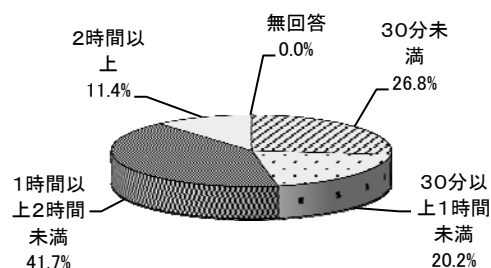
「普段の通学時間はおよそどのくらいですか」とたずねたところ、「30分未満」が26.8%（122人）、「30分以上1時間未満」が20.2%（92人）、

「1時間以上2時間未満」が41.7%（190人）、

「2時間以上」が11.4%（52人）という結果で

あった。通学時間が1時間以上の学生が約5割をしめている。

通学時間(全体)



【女】

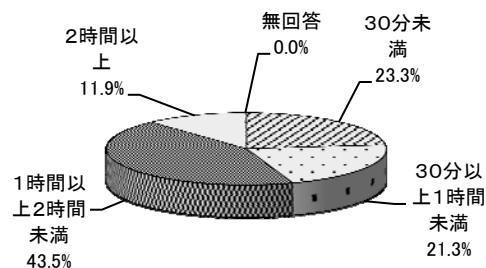
「普段の通学時間はおよそどのくらいですか」とたずねたところ、「30分未満」が23.3%（59人）、「30分以上1時間未満」が21.3%（54人）、

「1時間以上2時間未満」が43.5%（110人）、

「2時間以上」が11.9%（30人）という結果で

あった。通学時間が1時間以上の学生が約5割をしめている。

通学時間(女)



【男】

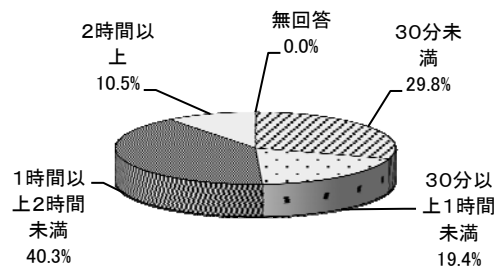
「普段の通学時間はおよそどのくらいですか」とたずねたところ、「30分未満」が29.8%（57人）、「30分以上1時間未満」が19.4%（37人）、

「1時間以上2時間未満」が40.3%（77人）、

「2時間以上」が10.5%（20人）という結果で

あった。通学時間が1時間以上の学生が約5割をしめている。

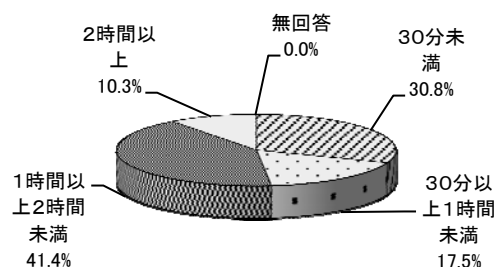
通学時間(男)



【福祉心理学科】

「普段の通学時間はおよそどのくらいですか」とたずねたところ、「30分未満」が30.8%（81人）、「30分以上1時間未満」が17.5%（46人）、
「1時間以上2時間未満」が41.4%（109人）、
「2時間以上」が10.3%（27人）という結果であった。通学時間が1時間以上の学生が約5割をしめている。

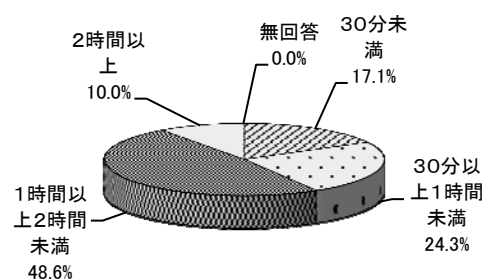
通学時間(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「普段の通学時間はおよそどのくらいですか」とたずねたところ、「30分未満」が17.1%（12人）、「30分以上1時間未満」が24.3%（17人）、
「1時間以上2時間未満」が48.6%（34人）、
「2時間以上」が10.0%（7人）という結果であった。通学時間が1時間以上の学生が6割弱をしめている。

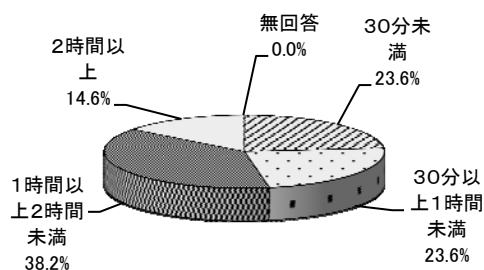
通学時間(健康福祉学科)



【子ども学科】

「普段の通学時間はおよそどのくらいですか」とたずねたところ、「30分未満」が23.6%（29人）、「30分以上1時間未満」が23.6%（29人）、
「1時間以上2時間未満」が38.2%（47人）、
「2時間以上」が14.6%（18人）という結果であった。通学時間が1時間以上の学生が約5割をしめている。

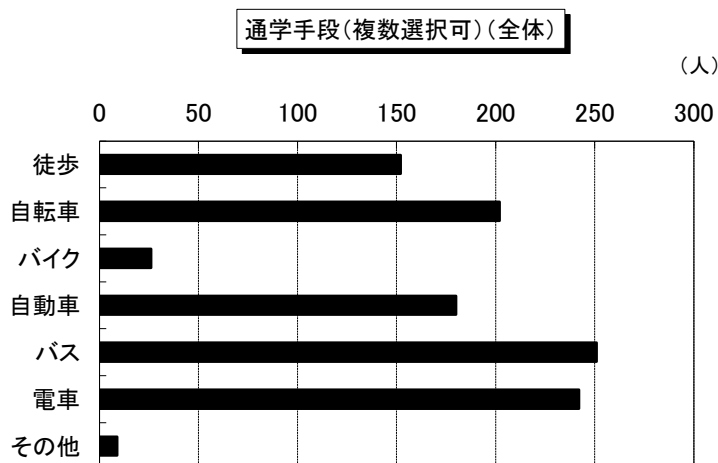
通学時間(子ども学科)



3-6 通学手段

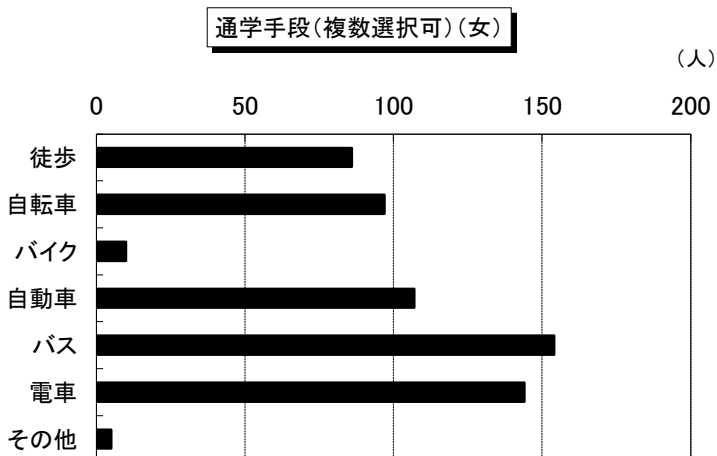
【全体】

「普段、どのような通学手段をとっていますか。使っている全ての手段を教えてください」とたずねたところ、「徒歩」が33.3% (152人)、「自転車」が44.3% (202人)、「バイク」が5.7% (26人)、「自動車」が39.5% (180人)、「バス」が55.0% (251人)、「電車」が53.1% (242人)であり、電車、バス、自転車を手段としている学生が多いと共に、他大学に比べて、自動車が約4割と高いことが示された。



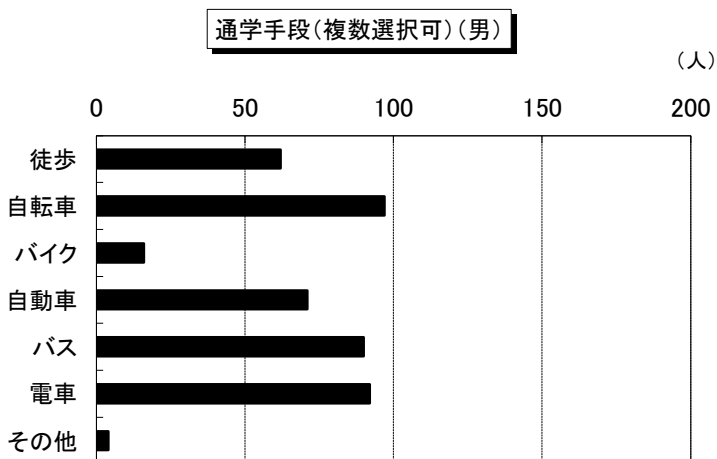
【女】

「普段、どのような通学手段をとっていますか。使っている全ての手段を教えてください」とたずねたところ、「徒歩」が34.0% (86人)、「自転車」が38.3% (97人)、「バイク」が4.0% (10人)、「自動車」が42.3% (107人)、「バス」が60.9% (154人)、「電車」が56.9% (144人) という結果であった。



【男】

「普段、どのような通学手段をとっていますか。使っている全ての手段を教えてください」とたずねたところ、「徒歩」が32.5% (62人)、「自転車」が50.8% (97人)、「バイク」が8.4% (16人)、「自動車」が37.2% (71人)、「バス」が47.1% (90人)、「電車」が48.2% (92人) という結果であった。



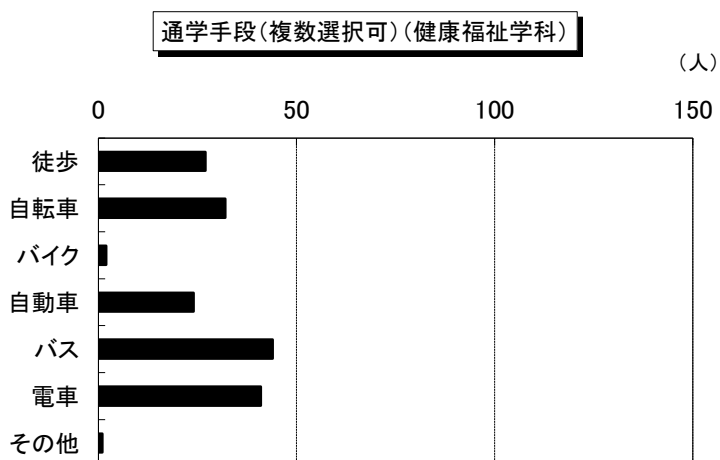
【福祉心理学科】

「普段、どのような通学手段をとっていますか。使っている全ての手段を教えてください」とたずねたところ、「徒歩」が33.5% (88人)、「自転車」が46.0% (121人)、「バイク」が5.3% (14人)、「自動車」が37.3% (98人)、「バス」が52.9% (139人)、「電車」が50.2% (132人) という結果であった。



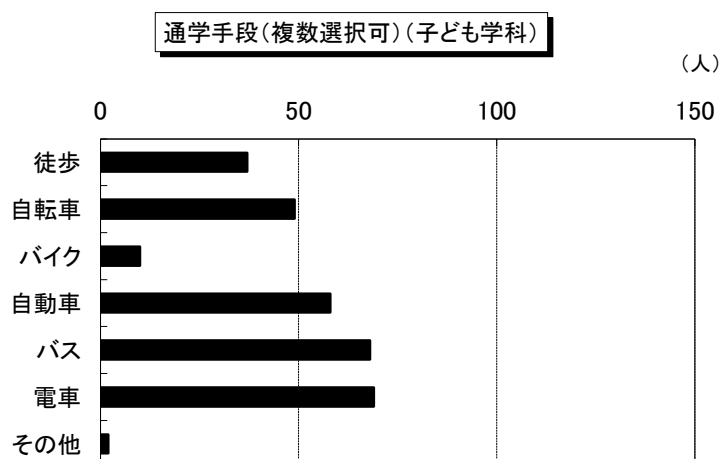
【健康福祉学科】

「普段、どのような通学手段をとっていますか。使っている全ての手段を教えてください」とたずねたところ、「徒歩」が38.6% (27人)、「自転車」が45.7% (32人)、「バイク」が2.9% (2人)、「自動車」が34.3% (24人)、「バス」が62.9% (44人)、「電車」が58.6% (41人) という結果であった。



【子ども学科】

「普段、どのような通学手段をとっていますか。使っている全ての手段を教えてください」とたずねたところ、「徒歩」が30.1% (37人)、「自転車」が39.8% (49人)、「バイク」が8.1% (10人)、「自動車」が47.2% (58人)、「バス」が55.3% (68人)、「電車」が56.1% (69人) という結果であった。

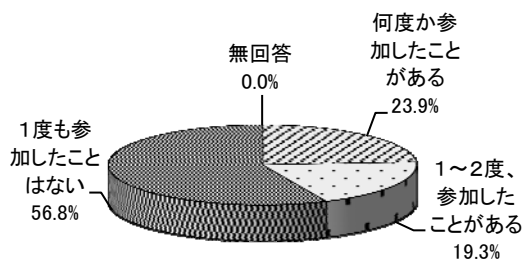


3-7 大学でのボランティア活動への参加

【全体】

「本学に入学してから現在までの間で、ボランティア活動に参加したことがありますか」とたずねたところ、「何度か参加したことがある」23.9% (109人)、「1～2度、参加したことがある」19.3% (88人)、「1度も参加したことはない」56.8% (259人) という結果であった。ボランティア活動の参加経験がある学生は4割強であった。

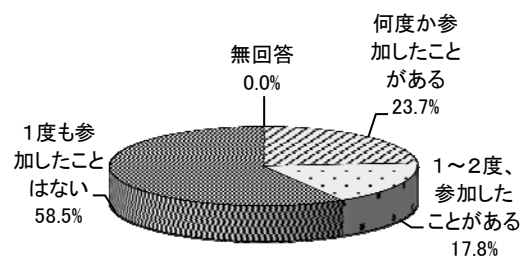
大学時代のボランティアへの参加
(全体)



【女】

「本学に入学してから現在までの間で、ボランティア活動に参加したことがありますか」とたずねたところ、「何度か参加したことがある」23.7% (60人)、「1～2度、参加したことがある」17.8% (45人)、「1度も参加したことはない」58.5% (148人) という結果であった。ボランティア活動の参加経験がある学生は4割強であった。

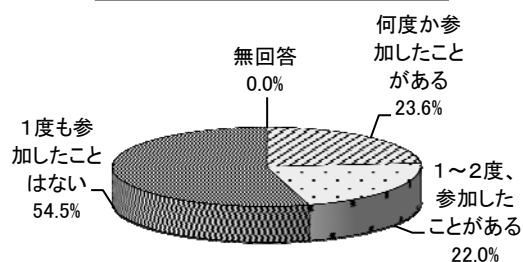
大学時代のボランティアへの参加
(女)



【男】

「本学に入学してから現在までの間で、ボランティア活動に参加したことがありますか」とたずねたところ、「何度か参加したことがある」23.6% (45人)、「1～2度、参加したことがある」22.0% (42人)、「1度も参加したことはない」54.5% (104人) という結果であった。ボランティア活動の参加経験がある学生は4割強であった。

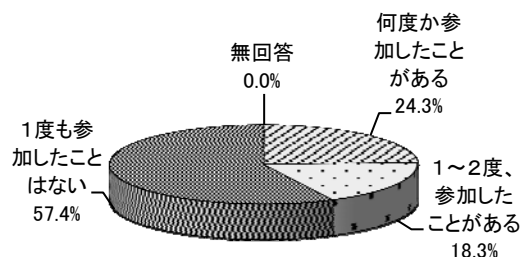
大学時代のボランティアへの参加
(男)



【福祉心理学科】

「本学に入学してから現在までの間で、ボランティア活動に参加したことがありますか」とたずねたところ、「何度か参加したことがある」24.3% (64人)、「1～2度、参加したことがある」18.3% (48人)、「1度も参加したことはない」57.4% (151人)という結果であった。ボランティア活動の参加経験がある学生は4割強であった。

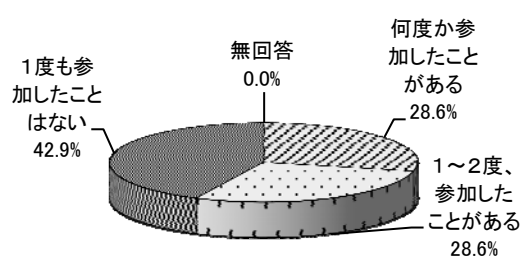
大学時代のボランティアへの参加
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「本学に入学してから現在までの間で、ボランティア活動に参加したことがありますか」とたずねたところ、「何度か参加したことがある」28.6% (20人)、「1～2度、参加したことがある」28.6% (20人)、「1度も参加したことはない」42.9% (30人)という結果であった。ボランティア活動の参加経験がある学生は6割弱であった。

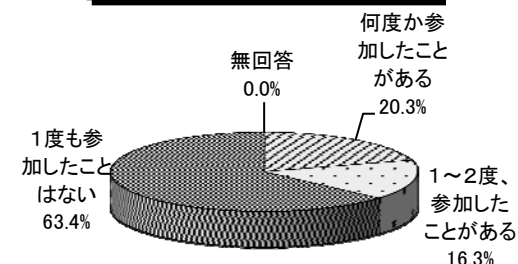
大学時代のボランティアへの参加
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「本学に入学してから現在までの間で、ボランティア活動に参加したことがありますか」とたずねたところ、「何度か参加したことがある」20.3% (25人)、「1～2度、参加したことがある」16.3% (20人)、「1度も参加したことはない」63.4% (78人)という結果であった。ボランティア活動の参加経験がある学生は4割弱であった。

大学時代のボランティアへの参加
(子ども学科)



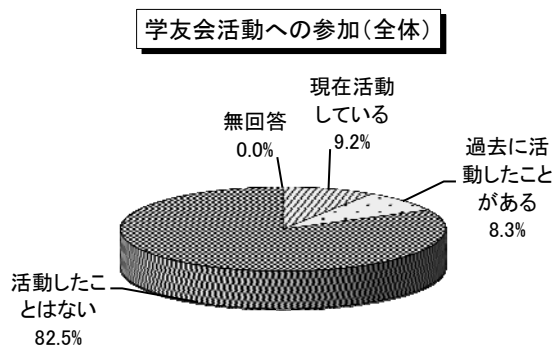
3-8 行事に対する要望や意見

22名の記述がみられた。ボランティアについては「ボランティアの情報をもっとわかりやすく告知して欲しい」「ボランティアの募集チラシなどが目に入らない人が多いので、メールやホームページにおいても募集・啓発活動をしてほしいです」などの意見がみられた。他の意見として、「学校全体を使ったイベントを計画、運営して欲しい」「スポーツ観戦や、スポーツ大会などをやりたい(学科対抗)」「静福の特性を活かしたイベントを開催したらいいと思う。もっと地域と繋がりたい」「文化祭を行うのであればもう少し大々的に行って欲しい。実行委員は意見をもう少し採り入れて欲しい」などがみられた。

3-9 学友会活動への参加

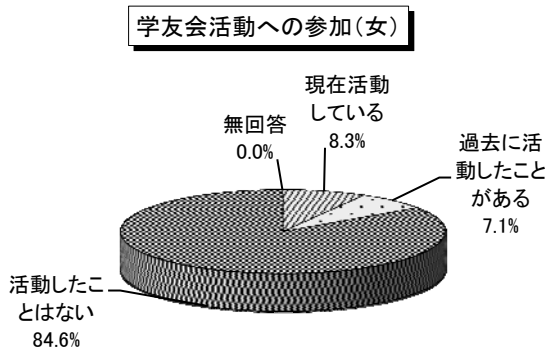
【全体】

「代議委員会、体育会・文化会、大学祭実行委員会、卒業記念委員会のいずれかで活動したことはありますか」とたずねたところ、「現在、活動している」が9.2%（42人）で、「過去に活動したことがある」が8.3%（38人）、「活動したことはない」が82.5%（376人）という結果で、学友会活動に参加経験のある学生は2割弱であることが示された。



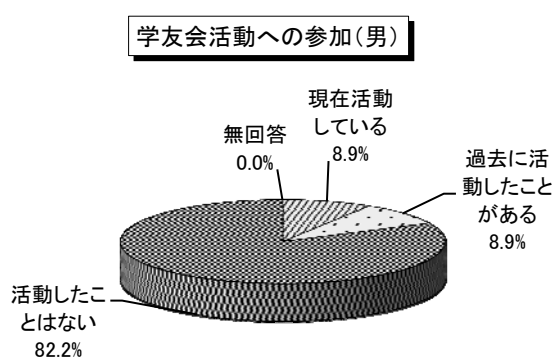
【女】

「代議委員会、体育会・文化会、大学祭実行委員会、卒業記念委員会のいずれかで活動したことはありますか」とたずねたところ、「現在、活動している」が8.3%（21人）で、「過去に活動したことがある」が7.1%（18人）、「活動したことはない」が84.6%（214人）という結果で、学友会活動に参加経験のある学生は1割強であることが示された。



【男】

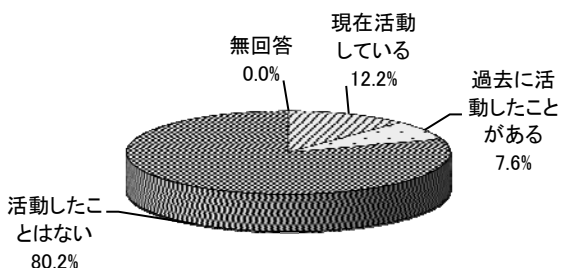
「代議委員会、体育会・文化会、大学祭実行委員会、卒業記念委員会のいずれかで活動したことはありますか」とたずねたところ、「現在、活動している」が8.9%（17人）で、「過去に活動したことがある」が8.9%（17人）、「活動したことはない」が82.2%（157人）という結果で、学友会活動に参加経験のある学生は2割弱であることが示された。



【福祉心理学科】

「代議委員会、体育会・文化会、大学祭実行委員会、卒業記念委員会のいずれかで活動したことはありますか」とたずねたところ、「現在、活動している」が12.2%（32人）で、「過去に活動したことがある」が7.6%（20人）、「活動したことはない」が80.2%（211人）という結果で、学友会活動に参加経験のある学生は2割弱であることが示された。

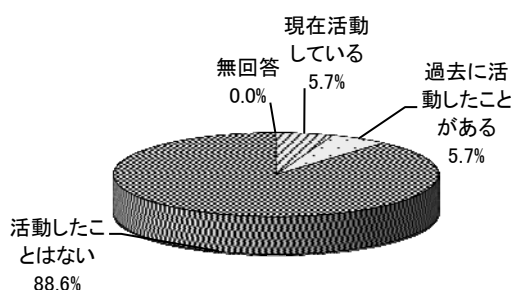
学友会活動への参加(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「代議委員会、体育会・文化会、大学祭実行委員会、卒業記念委員会のいずれかで活動したことはありますか」とたずねたところ、「現在、活動している」が5.7%（4人）で、「過去に活動したことがある」が5.7%（4人）、「活動したことはない」が88.6%（62人）という結果で、学友会活動に参加経験のある学生は1割強であることが示された。

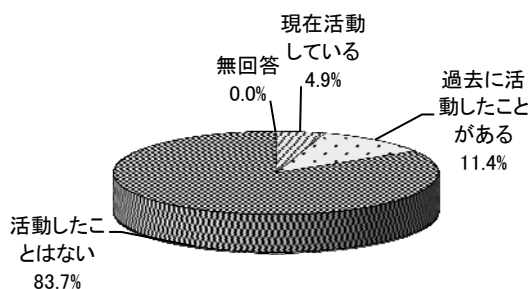
学友会活動への参加(健康福祉学科)



【子ども学科】

「代議委員会、体育会・文化会、大学祭実行委員会、卒業記念委員会のいずれかで活動したことはありますか」とたずねたところ、「現在、活動している」が4.9%（6人）で、「過去に活動したことがある」が11.4%（14人）、「活動したことはない」が83.7%（103人）という結果で、学友会活動に参加経験のある学生は1割強であることが示された。

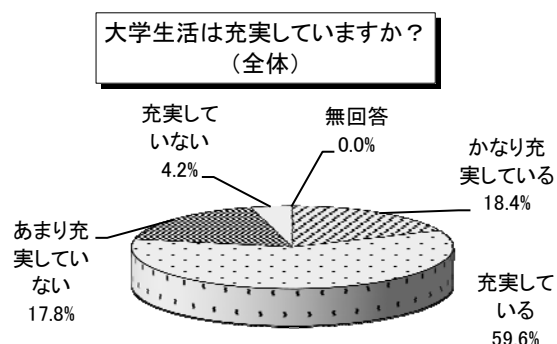
学友会活動への参加(子ども学科)



3-10 大学生生活の充実度

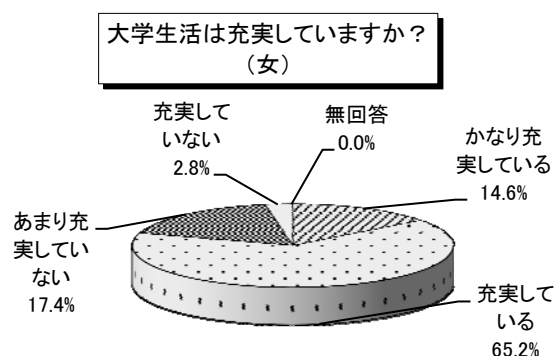
【全体】

「大学生生活は充実していますか（楽しいですか）」とたずねたところ、「かなり充実している」が18.4%（84人）、「充実している」が59.6%（272人）、「あまり充実していない」が17.8%（81人）、「充実していない」が4.2%（19人）であり、約8割の学生に大学生生活は充実しているとの回答が示された。



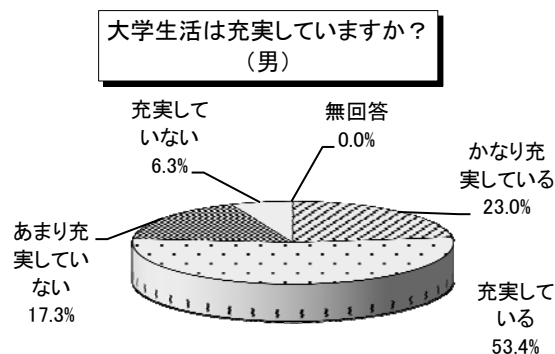
【女】

「大学生生活は充実していますか（楽しいですか）」とたずねたところ、「かなり充実している」が14.6%（37人）、「充実している」が65.2%（165人）、「あまり充実していない」が17.4%（44人）、「充実していない」が2.8%（7人）であり、約8割の学生に大学生生活は充実しているとの回答が示された。



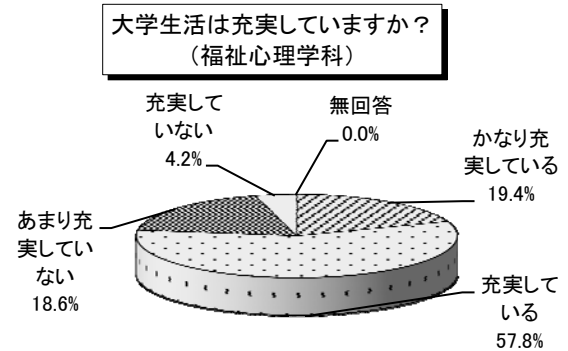
【男】

「大学生生活は充実していますか（楽しいですか）」とたずねたところ、「かなり充実している」が23.0%（44人）、「充実している」が53.4%（102人）、「あまり充実していない」が17.3%（33人）、「充実していない」が6.3%（12人）であり、約7割の学生に大学生生活は充実しているとの回答が示された。



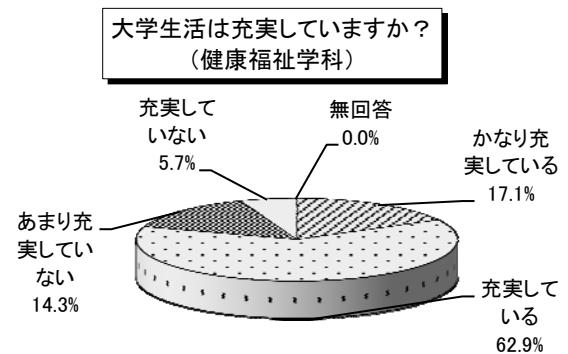
【福祉心理学科】

「大学生活は充実していますか（楽しいですか）」とたずねたところ、「かなり充実している」が19.4%（51人）、「充実している」が57.8%（152人）、「あまり充実していない」が18.6%（49人）、「充実していない」が4.2%（11人）であり、約7割の学生に大学生活は充実しているとの回答が示された。



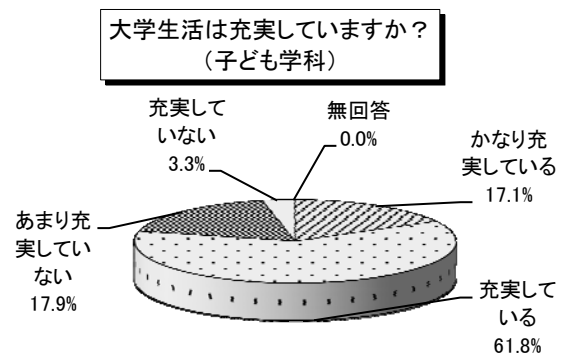
【健康福祉学科】

「大学生活は充実していますか（楽しいですか）」とたずねたところ、「かなり充実している」が17.1%（12人）、「充実している」が62.9%（44人）、「あまり充実していない」が14.3%（10人）、「充実していない」が5.7%（4人）であり、約8割の学生に大学生活は充実しているとの回答が示された。



【子ども学科】

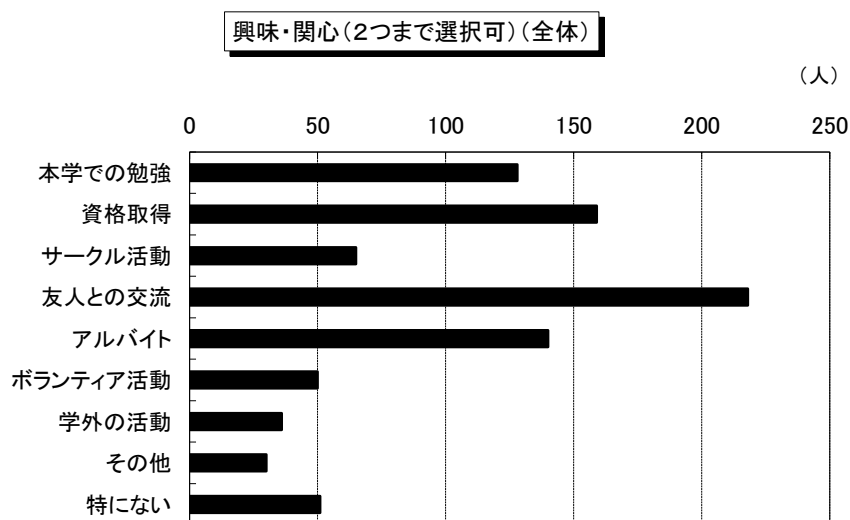
「大学生活は充実していますか（楽しいですか）」とたずねたところ、「かなり充実している」が17.1%（21人）、「充実している」が61.8%（76人）、「あまり充実していない」が17.9%（22人）、「充実していない」が3.3%（4人）であり、約8割の学生に大学生活は充実しているとの回答が示された。



3-11 興味・関心

【全体】

「現在、興味や関心を持って行っていることは何ですか（主なもの2つ）」とたずねたところ、8項目の中で、最も高かったのは「友人との交流」47.8%（218人）であり、興味・関心が他の項目に比べて高いことが示された。ついで「資格取得」34.9%（159人）であり、3番目に興味・関心が高いのは「アルバイト」30.7%（140人）であった。



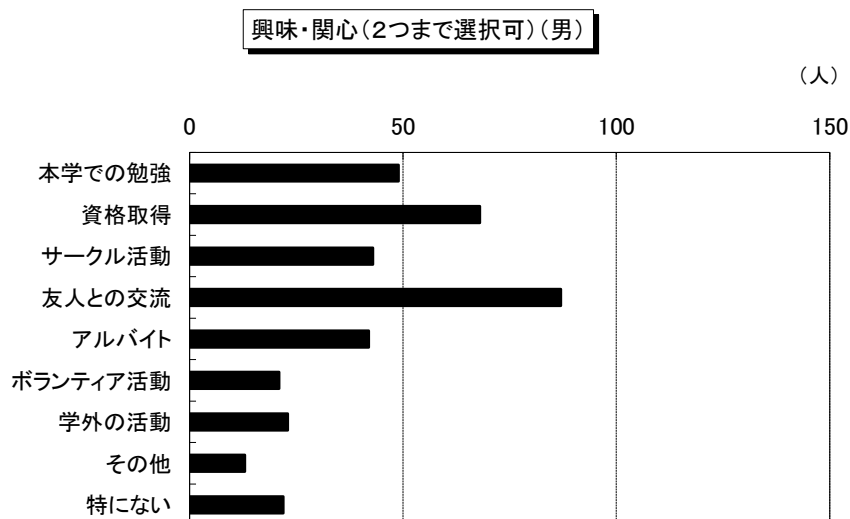
【女】

「現在、興味や関心を持って行っていることは何ですか（主なもの2つ）」とたずねたところ、8項目の中で、最も高かったのは「友人との交流」49.0%（124人）であり、興味・関心が他の項目に比べて高いことが示された。ついで「アルバイト」37.2%（94人）であり、3番目に興味・関心が高いのは「資格取得」35.6%（90人）であった。



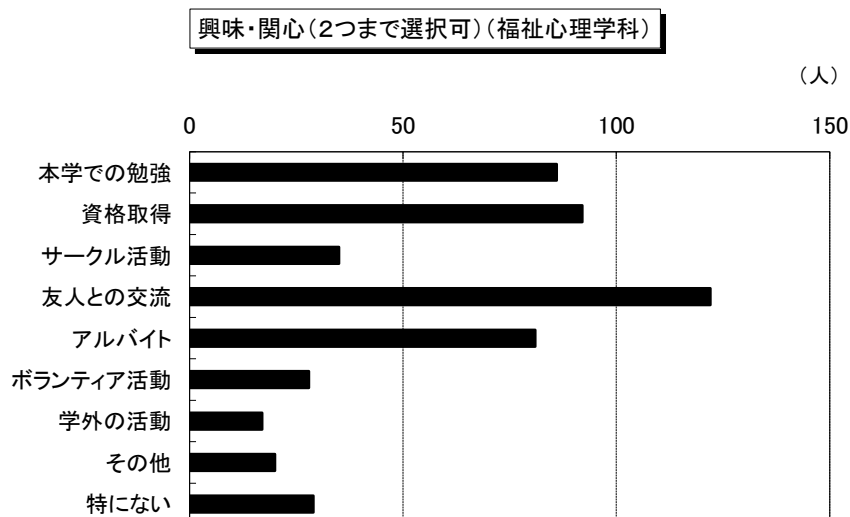
【男】

「現在、興味や関心を持って行っていることは何ですか（主なもの2つ）」とたずねたところ、8項目の中で、最も高かったのは「友人との交流」45.5%（87人）であり、興味・関心が他の項目に比べて高いことが示された。ついで「資格取得」35.6%（68人）であり、3番目に興味・関心が高いのは「本学での勉強」25.7%（49人）であった。



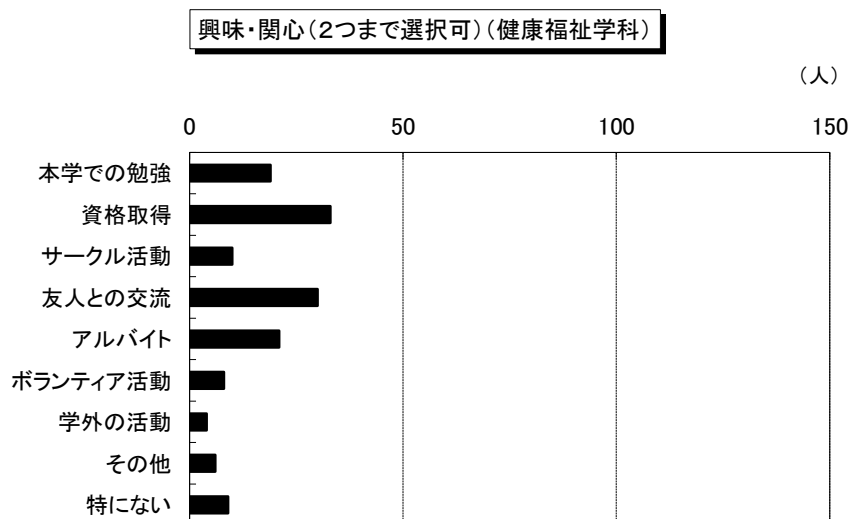
【福祉心理学科】

「現在、興味や関心を持って行っていることは何ですか（主なもの2つ）」とたずねたところ、8項目の中で、最も高かったのは「友人との交流」46.4%（122人）であり、興味・関心が他の項目に比べて高いことが示された。ついで「資格取得」35.0%（92人）であり、3番目に興味・関心が高いのは「本学での勉強」32.7%（86人）であった。



【健康福祉学科】

「現在、興味や関心を持って行っていることは何ですか（主なもの2つ）」とたずねたところ、8項目の中で、最も高かったのは「資格取得」47.1%（33人）、ついで「友人との交流」42.9%（30人）であり、この2点への興味・関心が他の項目に比べて高いことが示された。3番目に興味・関心が高いのは「アルバイト」30.0%（21人）であった。



【子ども学科】

「現在、興味や関心を持って行っていることは何ですか（主なもの2つ）」とたずねたところ、8項目の中で、最も高かったのは「友人との交流」53.7%（66人）であり、興味・関心が他の項目に比べて高いことが示された。ついで「アルバイト」30.9%（38人）であり、3番目に興味・関心が高いのは「資格取得」27.6%（34人）であった。

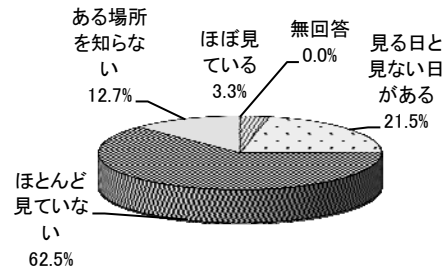


3-12 掲示板の使用

【全体】

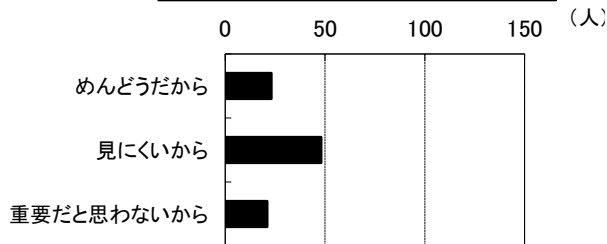
「掲示板（教務、学科、資格取得支援など）をどの程度見ていますか」とたずねたところ、「ほぼ大学に来るたびにしている」が3.3%（15人）、「大学に来ても見ると見ない日がある」が21.5%（95人）、「大学に来てほとんど見えない」が62.5%（285人）、「掲示板のある場所を知らない（だから見えない）」が12.7%（58人）という結果であった。

掲示板をどの程度見えていますか？
（全体）



さらに「大学に来ても見ると見ない日がある」「大学に来てほとんど見えない」と回答した方に理由をたずねた。「大学に来ても見ると見ない日がある」と回答した人は「めんどうだから」が23.5%（23人）、「見にくいから」が49.0%（48人）、「重要だと思わないから」が21.4%（21人）であった。「大学に来てほとんど見えない」と回答した人は「めんどうだから」が40.7%（116人）、「見にくいから」が23.5%（67人）、「重要だと思わないから」が31.6%（90人）であった。

大学に来ても見ると見ない日がある
→ 掲示板を見ない理由



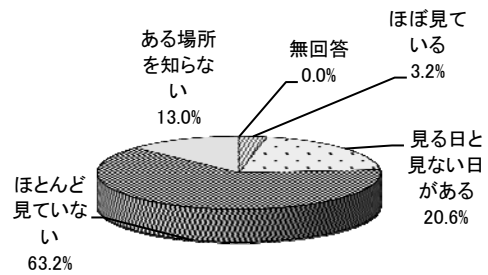
大学に来てほとんど見えない
→ 掲示板を見ない理由



【女】

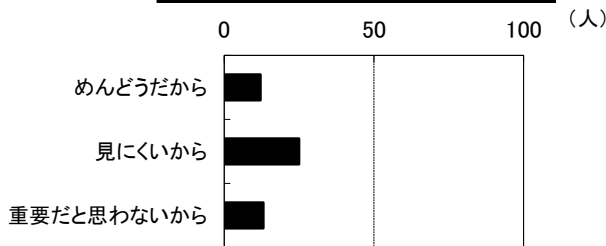
「掲示板（教務、学科、資格取得支援など）をどの程度見えていますか」とたずねたところ、「ほぼ大学に来るたびにしている」が3.2%（8人）、「大学に来ても見の日と見ない日がある」が20.6%（52人）、「大学に来てほとんど見えない」が63.2%（160人）、「掲示板のある場所を知らない（だから見えない）」が13.0%（33人）という結果であった。

掲示板をどの程度見えていますか？
(女)



さらに「大学に来ても見の日と見ない日がある」「大学に来てほとんど見えない」と回答した方に理由をたずねた。「大学に来ても見の日と見ない日がある」と回答した人は「めんどうだから」が23.1%（12人）、「見にくいから」が48.1%（25人）、「重要だと思わないから」が25.0%（13人）であった。「大学に来てほとんど見えない」と回答した人は「めんどうだから」が41.9%（67人）、「見にくいから」が23.1%（37人）、「重要だと思わないから」が30.6%（49人）であった。

大学に来ても見の日と見ない日がある
→ 掲示板を見ない理由



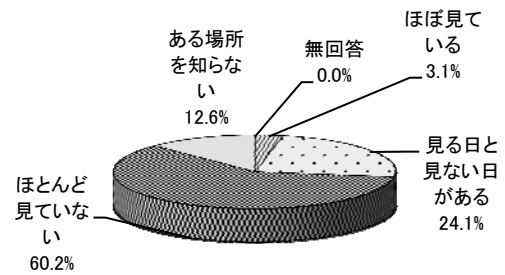
大学に来てほとんど見えない
→ 掲示板を見ない理由



【男】

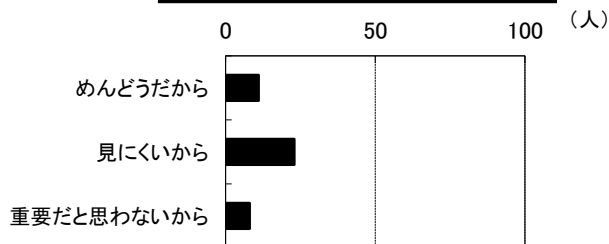
「掲示板（教務、学科、資格取得支援など）をどの程度見えていますか」とたずねたところ、「ほぼ大学に来るたびにしている」が 3.1%（6 人）、「大学に来ても見の日と見ない日がある」が 24.1%（46 人）、「大学に来てほとんど見えない」が 60.2%（115 人）、「掲示板のある場所を知らない（だから見えない）」が 12.6%（24 人）という結果であった。

掲示板をどの程度見えていますか？
（男）

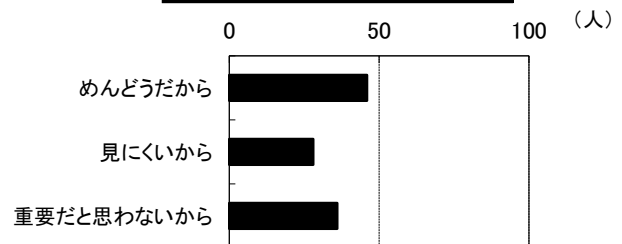


さらに「大学に来ても見の日と見ない日がある」「大学に来てほとんど見えない」と回答した方に理由をたずねた。「大学に来ても見の日と見ない日がある」と回答した人は「めんどうだから」が 23.9%（11 人）、「見にくいから」が 50.0%（23 人）、「重要だと思わないから」が 17.4%（8 人）であった。「大学に来てほとんど見えない」と回答した人は「めんどうだから」が 40.0%（46 人）、「見にくいから」が 24.3%（28 人）、「重要だと思わないから」が 31.3%（36 人）であった。

大学に来ても見の日と見ない日がある
→ 掲示板を見ない理由



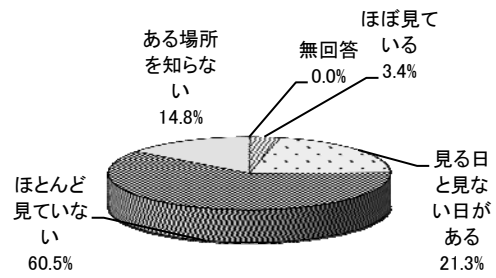
大学に来てほとんど見えない
→ 掲示板を見ない理由



【福祉心理学科】

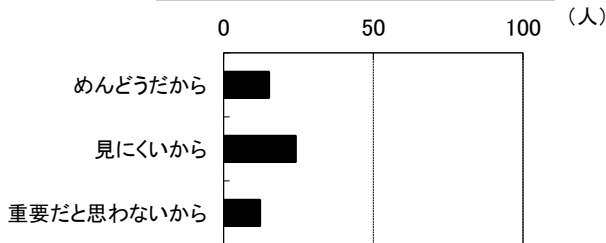
「掲示板（教務、学科、資格取得支援など）をどの程度見えていますか」とたずねたところ、「ほぼ大学に来るたびにしている」が 3.4%（9 人）、「大学に来ても見ると見ない日がある」が 21.3%（56 人）、「大学に来てほとんど見えない」が 60.5%（159 人）、「掲示板のある場所を知らない（だから見えない）」が 14.8%（39 人）という結果であった。

掲示板をどの程度見えていますか？
（福祉心理学科）

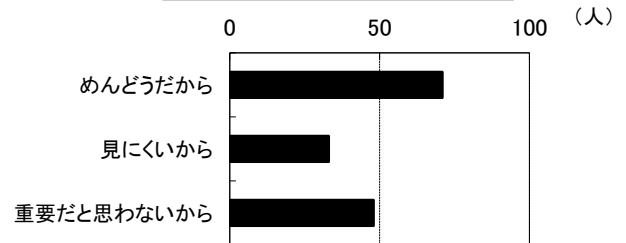


さらに「大学に来ても見ると見ない日がある」「大学に来てほとんど見えない」と回答した方に理由をたずねた。「大学に来ても見ると見ない日がある」と回答した人は「めんどうだから」が 26.8%（15 人）、「見にくいから」が 42.9%（24 人）、「重要だと思わないから」が 21.4%（12 人）であった。「大学に来てほとんど見えない」と回答した人は「めんどうだから」が 44.7%（71 人）、「見にくいから」が 20.8%（33 人）、「重要だと思わないから」が 30.2%（48 人）であった。

大学に来ても見ると見ない日がある
→ 掲示板を見ない理由



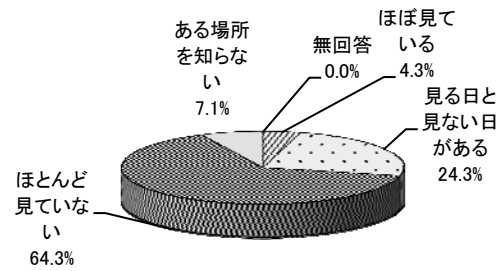
大学に来てほとんど見えない
→ 掲示板を見ない理由



【健康福祉学科】

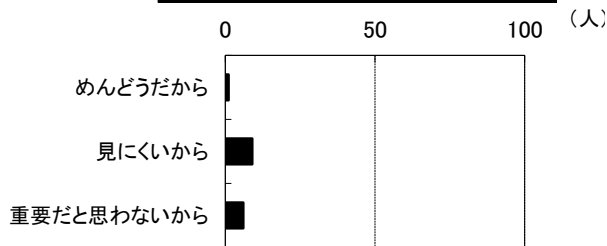
「掲示板（教務、学科、資格取得支援など）をどの程度見えていますか」とたずねたところ、「ほぼ大学に来るたびにしている」が4.3%（3人）、「大学に来ても見ると見ない日がある」が24.3%（17人）、「大学に来てほとんど見えない」が64.3%（45人）、「掲示板のある場所を知らない（だから見えない）」が7.1%（5人）という結果であった。

掲示板をどの程度見えていますか？
（健康福祉学科）

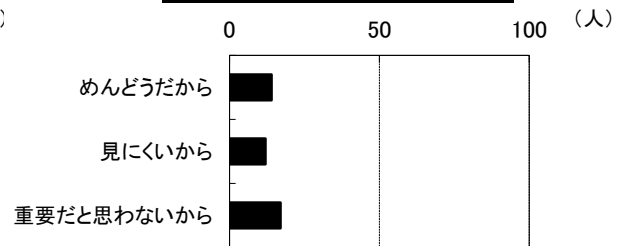


さらに「大学に来ても見ると見ない日がある」「大学に来てほとんど見えない」と回答した方に理由をたずねた。「大学に来ても見ると見ない日がある」と回答した人は「めんどうだから」が5.9%（1人）、「見にくいから」が52.9%（9人）、「重要だと思わないから」が35.3%（6人）であった。「大学に来てほとんど見えない」と回答した人は「めんどうだから」が31.1%（14人）、「見にくいから」が26.7%（12人）、「重要だと思わないから」が37.8%（17人）であった。

大学に来ても見ると見ない日がある
→ 掲示板を見ない理由



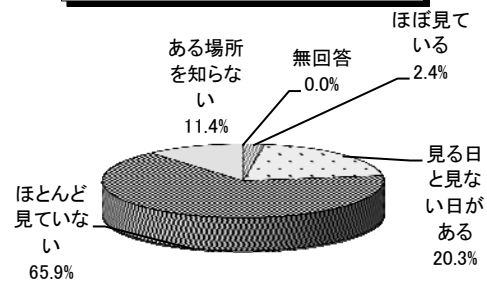
大学に来てほとんど見えない
→ 掲示板を見ない理由



【子ども学科】

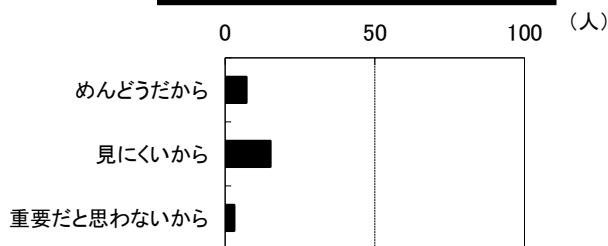
「掲示板（教務、学科、資格取得支援など）をどの程度見えていますか」とたずねたところ、「ほぼ大学に来るたびにしている」が2.4%（3人）、「大学に来ても見ると見ない日がある」が20.3%（25人）、「大学に来てほとんど見えない」が65.9%（81人）、「掲示板のある場所を知らない（だから見えない）」が11.4%（14人）という結果であった。

掲示板をどの程度見えていますか？
（子ども学科）

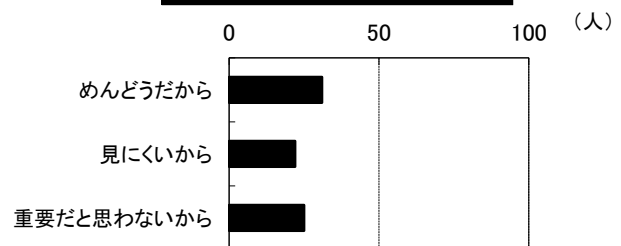


さらに「大学に来ても見ると見ない日がある」「大学に来てほとんど見えない」と回答した方に理由をたずねた。「大学に来ても見ると見ない日がある」と回答した人は「めんどうだから」が28.0%（7人）、「見にくいから」が60.0%（15人）、「重要だと思わないから」が12.0%（3人）であった。「大学に来てほとんど見えない」と回答した人は「めんどうだから」が38.3%（31人）、「見にくいから」が27.2%（22人）、「重要だと思わないから」が30.9%（25人）であった。

大学に来ても見ると見ない日がある
→ 掲示板を見ない理由



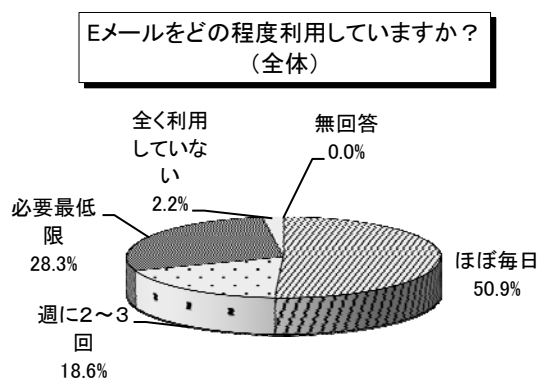
大学に来てほとんど見えない
→ 掲示板を見ない理由



3-13 Eメールの利用

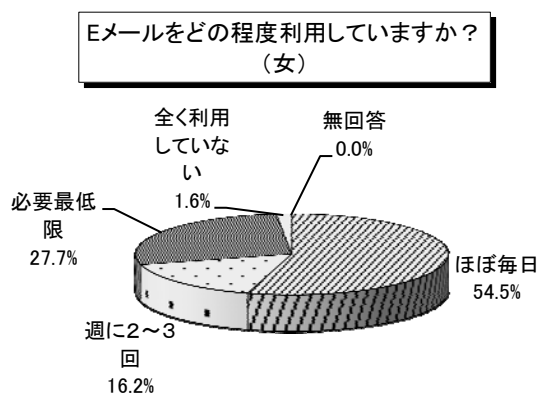
【全体】

「大学のEメールをどのくらい利用（メールのチェックや送受信）していますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日」が50.9%（232人）、「週に2～3回」が18.6%（85人）、「必要最低限（授業などで）」が28.3%（129人）、「全く利用していない」が2.2%（10人）という結果であった。



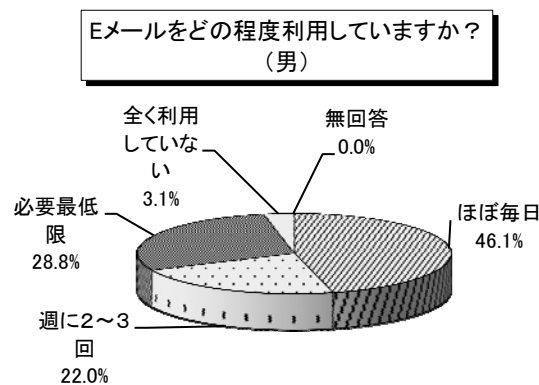
【女】

「大学のEメールをどのくらい利用（メールのチェックや送受信）していますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日」が54.5%（138人）、「週に2～3回」が16.2%（41人）、「必要最低限（授業などで）」が27.7%（70人）、「全く利用していない」が1.6%（4人）という結果であった。



【男】

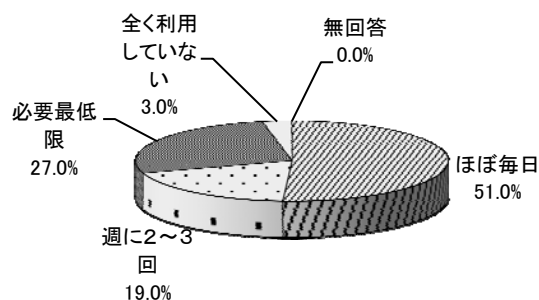
「大学のEメールをどのくらい利用（メールのチェックや送受信）していますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日」が46.1%（88人）、「週に2～3回」が22.0%（42人）、「必要最低限（授業などで）」が28.8%（55人）、「全く利用していない」が3.1%（6人）という結果であった。



【福祉心理学科】

「大学のEメールをどのくらい利用（メールのチェックや送受信）していますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日」が51.0%（134人）、「週に2～3回」が19.0%（50人）、「必要最低限（授業などで）」が27.0%（71人）、「全く利用していない」が3.0%（8人）という結果であった。

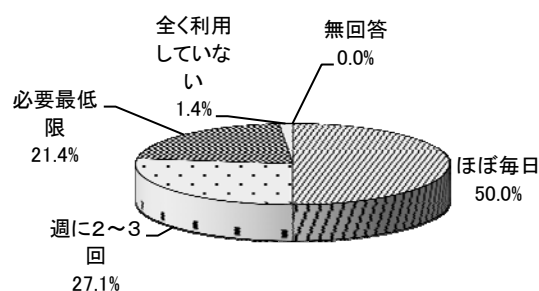
Eメールをどの程度利用していますか？
（福祉心理学科）



【健康福祉学科】

「大学のEメールをどのくらい利用（メールのチェックや送受信）していますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日」が50.0%（35人）、「週に2～3回」が27.1%（19人）、「必要最低限（授業などで）」が21.4%（15人）、「全く利用していない」が1.4%（1人）という結果であった。

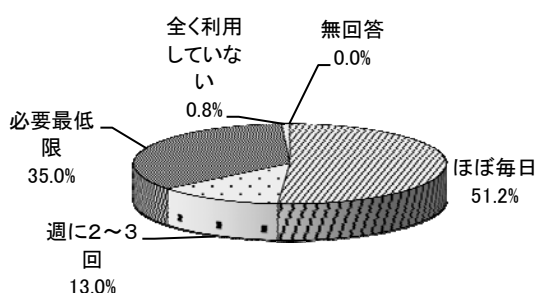
Eメールをどの程度利用していますか？
（健康福祉学科）



【子ども学科】

「大学のEメールをどのくらい利用（メールのチェックや送受信）していますか」とたずねたところ、「ほぼ毎日」が51.2%（63人）、「週に2～3回」が13.0%（16人）、「必要最低限（授業などで）」が35.0%（43人）、「全く利用していない」が0.8%（1人）という結果であった。

Eメールをどの程度利用していますか？
（子ども学科）

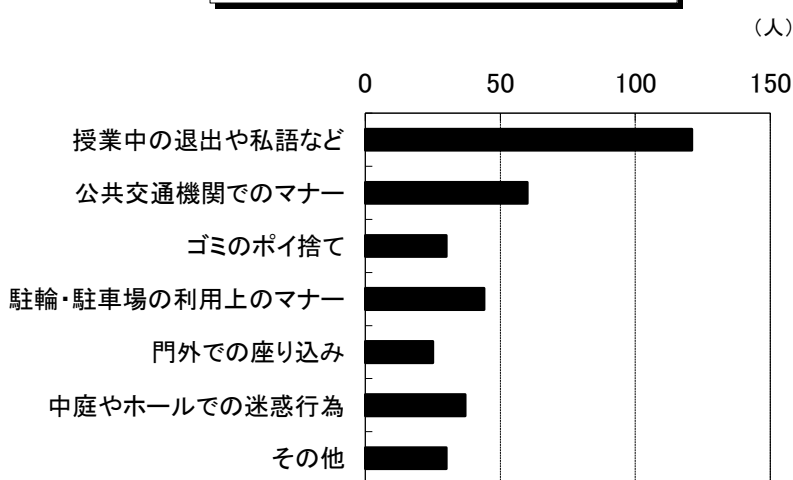


3-14 学生マナーについて

【全体】

「本学の学生が改善したほうがよいと思うマナーはありますか（主なもの2つ選択）」とたずねたところ、「ある」が50.0%（228人）、「ない」が50.0%（228人）という結果であった。改善すべき点については、「授業中の退出や私語など」が53.1%（121人）、「公共交通機関でのマナー」が26.3%（60人）、「ゴミのポイ捨て」が13.2%（30人）、「駐輪・駐車場の利用上のマナー」が19.3%（44人）、「門外での座り込み」が11.0%（25人）、「中庭やホールでの迷惑行為」が16.2%（37人）、「その他」が13.2%（30人）という結果であった。「その他」の内容には、「タバコが臭い」「歩きタバコ」「廊下で広がって止まっている、授業中の音ありでの動画視聴や音ゲー」「授業中のスマホの使用」「食堂でアクリル板を外している生徒がいる」等の記載内容があった。

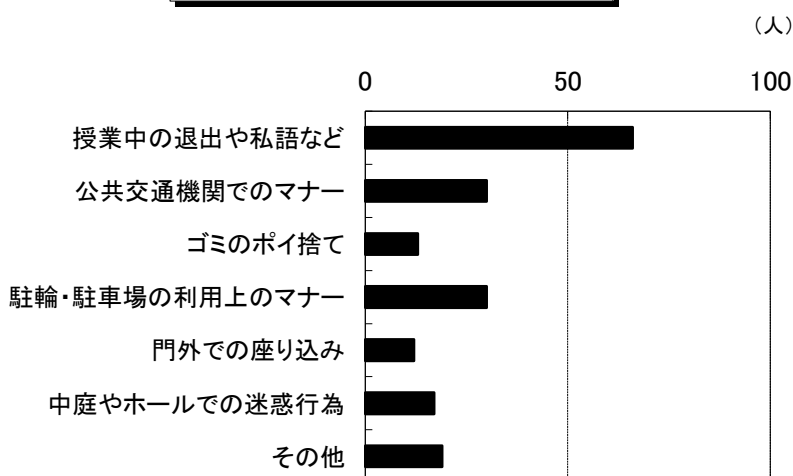
学生マナーについて(2つまで選択可)(全体)



【女】

「本学の学生が改善したほうがよいと思うマナーはありますか（主なもの2つ選択）」とたずねたところ、「ある」が49.0%（124人）、「ない」が51.0%（129人）という結果であった。改善すべき点については、「授業中の退出や私語など」が53.2%（66人）、「公共交通機関でのマナー」が24.2%（30人）、「ゴミのポイ捨て」が10.5%（13人）、「駐輪・駐車場の利用上のマナー」が24.2%（30人）、「門外での座り込み」が9.7%（12人）、「中庭やホールでの迷惑行為」が13.7%（17人）、「その他」が15.3%（19人）という結果であった。

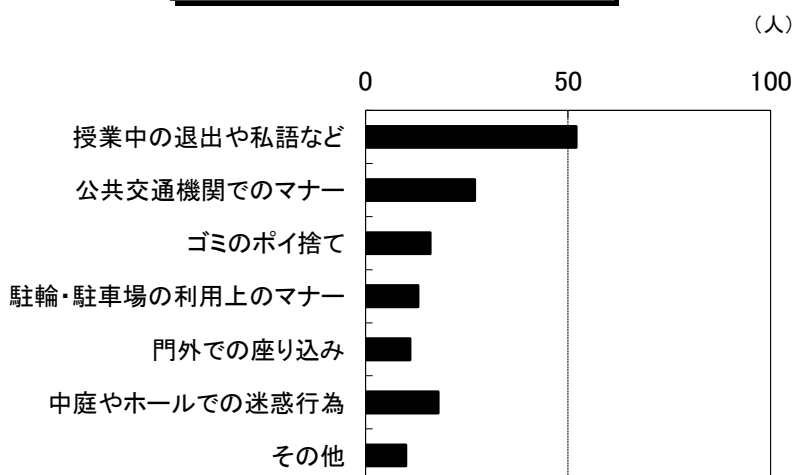
学生マナーについて(2つまで選択可)(女)



【男】

「本学の学生が改善したほうがよいと思うマナーはありますか（主なもの2つ選択）」とたずねたところ、「ある」が50.8%（97人）、「ない」が49.2%（94人）という結果であった。改善すべき点については、「授業中の退出や私語など」が53.6%（52人）、「公共交通機関でのマナー」が27.8%（27人）、「ゴミのポイ捨て」が16.5%（16人）、「駐輪・駐車場の利用上のマナー」が13.4%（13人）、「門外での座り込み」が11.3%（11人）、「中庭やホールでの迷惑行為」が18.6%（18人）、「その他」が10.3%（10人）という結果であった。

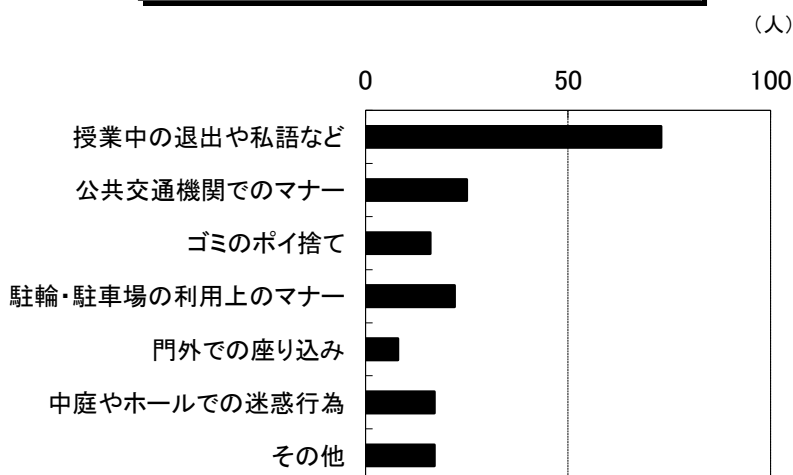
学生マナーについて(2つまで選択可)(男)



【福祉心理学科】

「本学の学生が改善したほうがよいと思うマナーはありますか（主なもの2つ選択）」とたずねたところ、「ある」が46.8%（123人）、「ない」が53.2%（140人）という結果であった。改善すべき点については、「授業中の退出や私語など」が59.3%（73人）、「公共交通機関でのマナー」が20.3%（25人）、「ゴミのポイ捨て」が13.0%（16人）、「駐輪・駐車場の利用上のマナー」が17.9%（22人）、「門外での座り込み」が6.5%（8人）、「中庭やホールでの迷惑行為」が13.8%（17人）、「その他」が13.8%（17人）という結果であった。

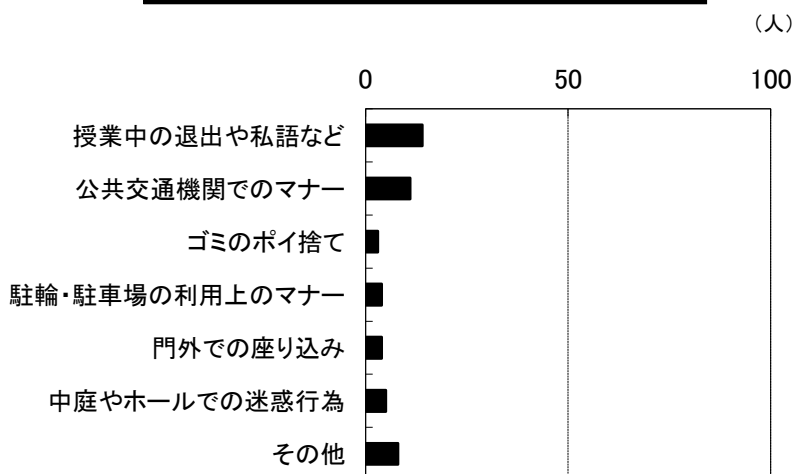
学生マナーについて(2つまで選択可)(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「本学の学生が改善したほうがよいと思うマナーはありますか（主なもの2つ選択）」とたずねたところ、「ある」が47.1%（33人）、「ない」が52.9%（37人）という結果であった。改善すべき点については、「授業中の退出や私語など」が42.4%（14人）、「公共交通機関でのマナー」が33.3%（11人）、「ゴミのポイ捨て」が9.1%（3人）、「駐輪・駐車場の利用上のマナー」が12.1%（4人）、「門外での座り込み」が12.1%（4人）、「中庭やホールでの迷惑行為」が15.2%（5人）、「その他」が24.2%（8人）という結果であった。

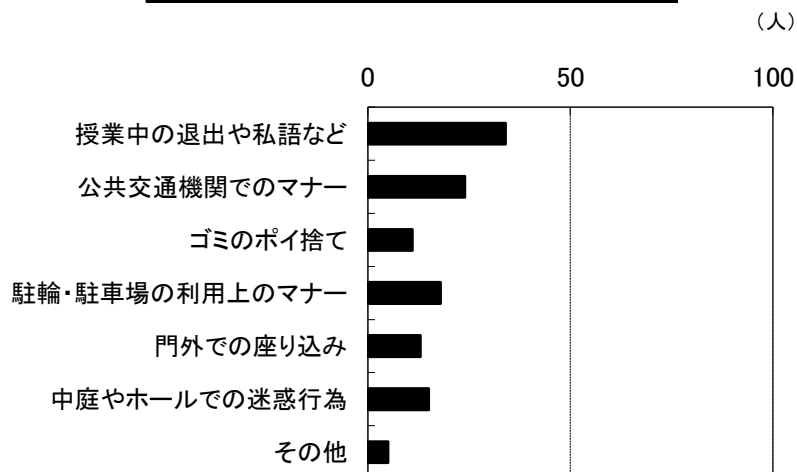
学生マナーについて(2つまで選択可)(健康福祉学科)



【子ども学科】

「本学の学生が改善したほうがよいと思うマナーはありますか（主なもの2つ選択）」とたずねたところ、「ある」が58.5%（72人）、「ない」が41.5%（51人）という結果であった。改善すべき点については、「授業中の退出や私語など」が47.2%（34人）、「公共交通機関でのマナー」が33.3%（24人）、「ゴミのポイ捨て」が15.3%（11人）、「駐輪・駐車場の利用上のマナー」が25.0%（18人）、「門外での座り込み」が18.1%（13人）、「中庭やホールでの迷惑行為」が20.8%（15人）、「その他」が6.9%（5人）という結果であった。

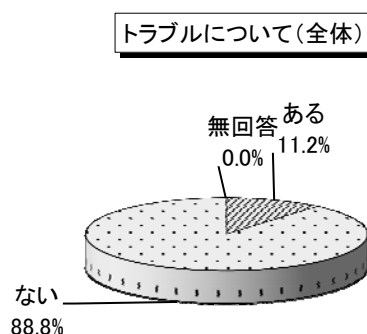
学生マナーについて(2つまで選択可)(子ども学科)



3-15 学内外でのトラブル

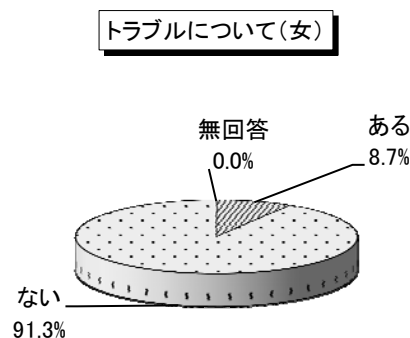
【全体】

「本学に入学してから現在までの間に、学内外でトラブルにあったことがありますか」とたずねたところ、「ある」が11.2%（51人）、「ない」が88.8%（405人）であった。具体的なトラブルの内容（複数回答可）は、高い順に「交通事故」、「ハラスメント（嫌がらせ）」がともに29.4%（15人）、「宗教勧誘・マルチ商法」が21.6%（11人）、「盗難」が9.8%（5人）、「ストーカー行為・デートDV・脅迫」が7.8%（4人）、「悪徳セールス」は3.9%（2人）であった。「その他」への記載は盗撮、SNS上での言いがかり、対人関係、不審者に声をかけられた等の記載がみられた。



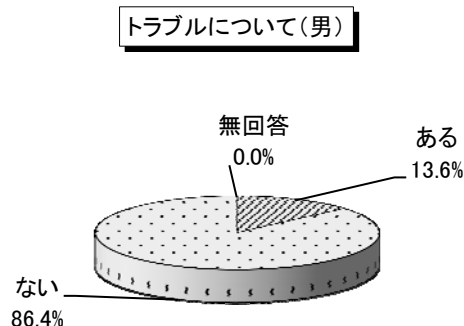
【女】

「本学に入学してから現在までの間に、学内外でトラブルにあったことがありますか」とたずねたところ、「ある」が8.7%（22人）、「ない」が91.3%（231人）であった。具体的なトラブルの内容（複数回答可）は、高い順に「交通事故」が40.9%（9人）、「ハラスメント（嫌がらせ）」が36.4%（8人）、「盗難」が13.6%（3人）、「宗教勧誘・マルチ商法」、「ストーカー行為・デートDV・脅迫」がともに9.1%（2人）、「悪徳セールス」は4.5%（1人）であった。



【男】

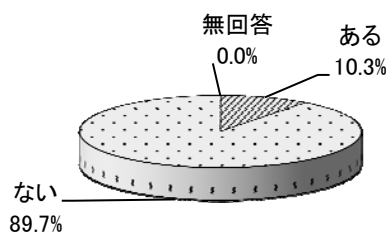
「本学に入学してから現在までの間に、学内外でトラブルにあったことがありますか」とたずねたところ、「ある」が13.6%（26人）、「ない」が86.4%（165人）であった。具体的なトラブルの内容（複数回答可）は、高い順に「宗教勧誘・マルチ商法」が30.8%（8人）、「交通事故」、「ハラスメント（嫌がらせ）」がともに19.2%（5人）、「ストーカー行為・デートDV・脅迫」、「盗難」がともに7.7%（2人）、「悪徳セールス」は3.8%（1人）であった。



【福祉心理学科】

「本学に入学してから現在までの間に、学内外でトラブルにあったことがありますか」とたずねたところ、「ある」が10.3% (27人)、「ない」が89.7% (236人)であった。具体的なトラブルの内容(複数回答可)は、高い順に「交通事故」が29.6% (8人)、「ハラスメント(嫌がらせ)」が25.9% (7人)、「宗教勧誘・マルチ商法」が22.2% (6人)、「ストーカー行為・デートDV・脅迫」が11.1% (3人)、「悪徳セールス」は7.4% (2人)、「盗難」が3.7% (1人)であった。

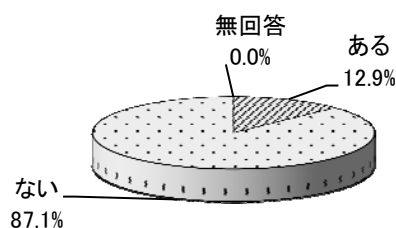
トラブルについて(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「本学に入学してから現在までの間に、学内外でトラブルにあったことがありますか」とたずねたところ、「ある」が12.9% (9人)、「ない」が87.1% (61人)であった。具体的なトラブルの内容(複数回答可)は、高い順に「交通事故」が33.3% (3人)、「宗教勧誘・マルチ商法」が22.2% (2人)、「ストーカー行為・デートDV・脅迫」、「盗難」がともに11.1% (1人)、「悪徳セールス」、「ハラスメント(嫌がらせ)」がともに0.0% (0人)であった。

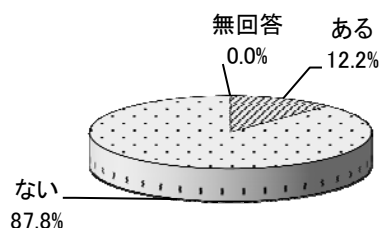
トラブルについて(健康福祉学科)



【子ども学科】

「本学に入学してから現在までの間に、学内外でトラブルにあったことがありますか」とたずねたところ、「ある」が12.2% (15人)、「ない」が87.8% (108人)であった。具体的なトラブルの内容(複数回答可)は、高い順に「ハラスメント(嫌がらせ)」が53.3% (8人)、「交通事故」が26.7% (4人)、「宗教勧誘・マルチ商法」、「盗難」がともに20.0% (3人)、「悪徳セールス」、「ストーカー行為・デートDV・脅迫」がともに0.0% (0人)であった。

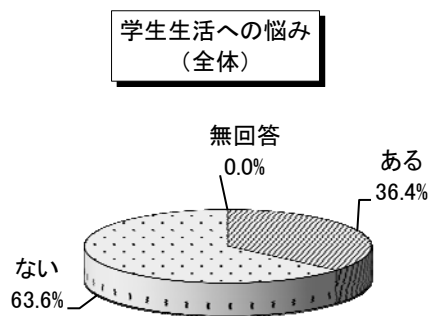
トラブルについて(子ども学科)



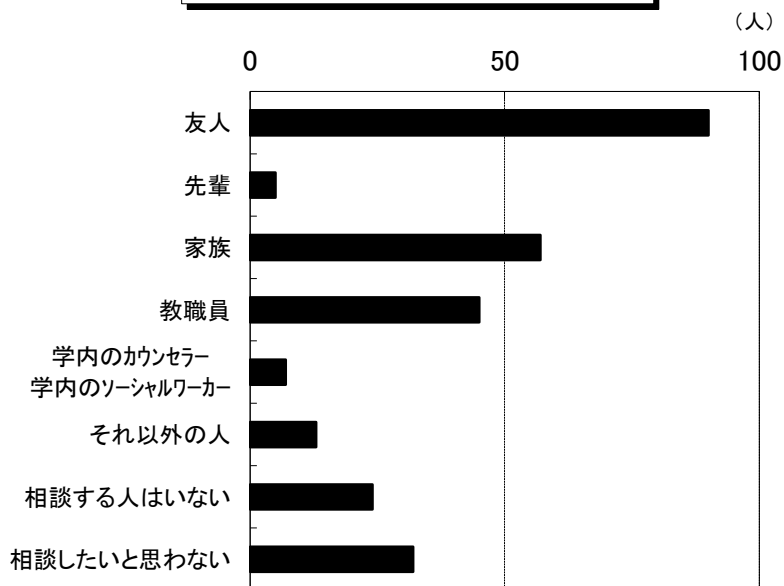
3-16 学生生活への悩み

【全体】

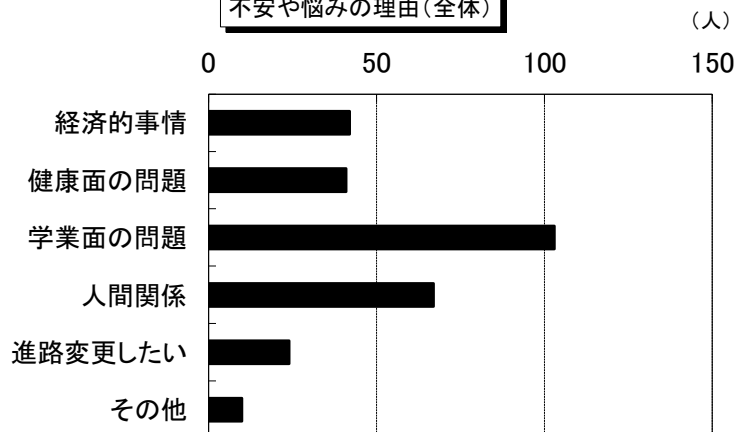
「現在、学生生活に関して悩みがありますか」とたずねたところ、「ある」が36.4%（166人）、「ない」が63.6%（290人）であった。「ある」の回答者に、「悩みを誰かに相談していますか」とたずねたところ、「友人」54.2%（90人）と「家族」34.3%（57人）が多く、ほかに「先輩」3.0%（5人）、「教職員」27.1%（45人）、「学内のカウンセラー、学内のソーシャルワーカー」4.2%（7人）、「それ以外の人」7.8%（13人）であった。その一方、「相談する人はいない」14.5%（24人）、「相談したいと思わない」19.3%（32人）との回答もみられた。また、「ある」の回答者に「内容」をたずねたところ、高い順に「学業面の問題」62.0%（103人）、「人間関係」40.4%（67人）、「経済的事情」25.3%（42人）、「健康面の問題」24.7%（41人）、「進路変更したい」14.5%（24人）、「その他」6.0%（10人）となった。



不安や悩みの相談相手(複数選択可)(全体)



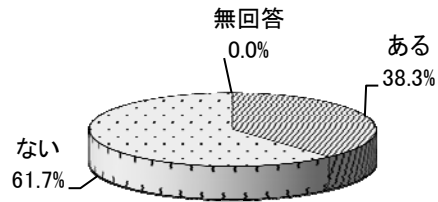
不安や悩みの理由(全体)



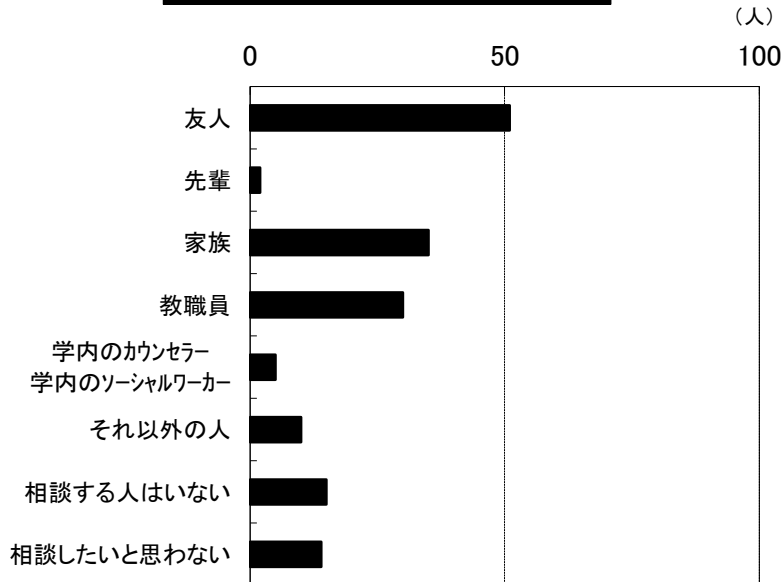
【女】

「現在、学生生活に関して悩みがありますか」とたずねたところ、「ある」が38.3%（97人）、「ない」が61.7%（156人）であった。「ある」の回答者に、「悩みを誰かに相談していますか」とたずねたところ、「友人」52.6%（51人）と「家族」36.1%（35人）が多く、ほかに「先輩」2.1%（2人）、「教職員」30.9%（30人）、「学内のカウンセラー、学内のソーシャルワーカー」5.2%（5人）、「それ以外の人」10.3%（10人）であった。その一方、「相談する人はいない」15.5%（15人）、「相談したいと思わない」14.4%（14人）との回答もみられた。また、「ある」の回答者に「内容」をたずねたところ、高い順に「学業面の問題」63.9%（62人）、「人間関係」42.3%（41人）、「経済的事情」26.8%（26人）、「健康面の問題」20.6%（20人）、「進路変更したい」12.4%（12人）、「その他」5.2%（5人）となった。

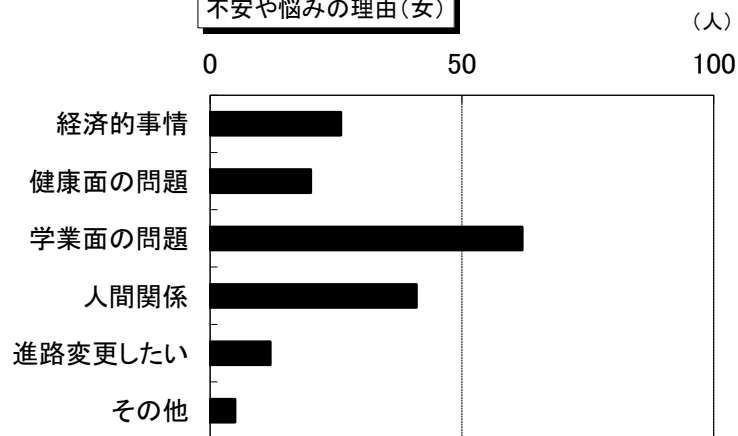
学生生活への悩み
(女)



不安や悩みの相談相手(複数選択可)(女)

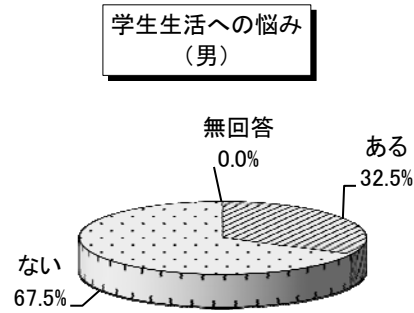


不安や悩みの理由(女)

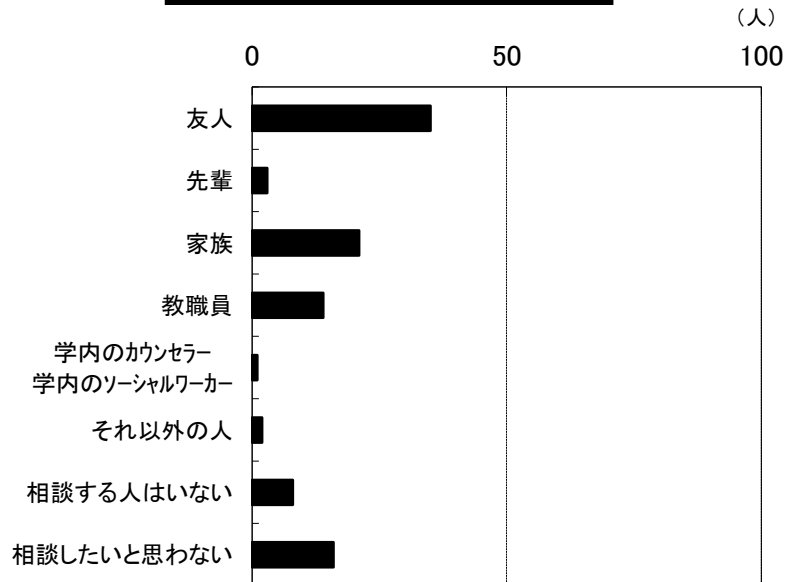


【男】

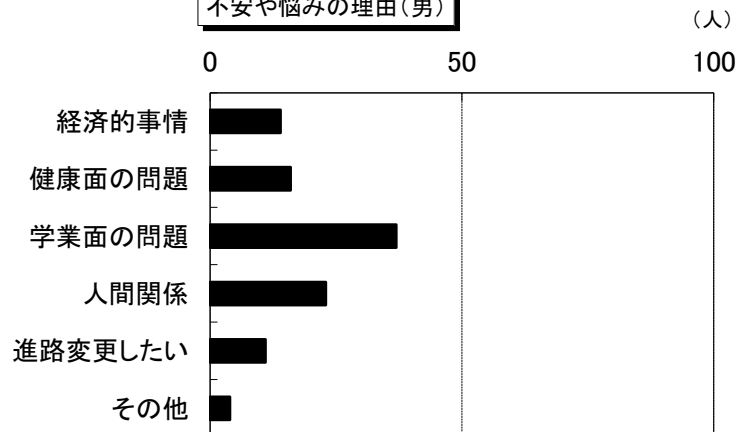
「現在、学生生活に関して悩みがありますか」とたずねたところ、「ある」が32.5%（62人）、「ない」が67.5%（129人）であった。「ある」の回答者に、「悩みを誰かに相談していますか」とたずねたところ、「友人」56.5%（35人）と「家族」33.9%（21人）が多く、ほかに「先輩」4.8%（3人）、「教職員」22.6%（14人）、「学内のカウンセラー、学内のソーシャルワーカー」1.6%（1人）、「それ以外の人」3.2%（2人）であった。その一方、「相談する人はいない」12.9%（8人）、「相談したいと思わない」25.8%（16人）との回答もみられた。また、「ある」の回答者に「内容」をたずねたところ、高い順に「学業面の問題」59.7%（37人）、「人間関係」37.1%（23人）、「健康面の問題」25.8%（16人）、「経済的事情」22.6%（14人）、「進路変更したい」17.7%（11人）、「その他」6.5%（4人）となった。



不安や悩みの相談相手(複数選択可)(男)



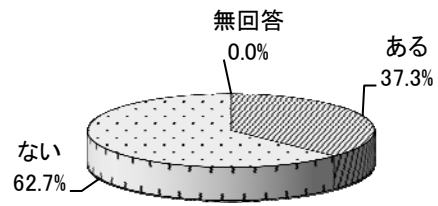
不安や悩みの理由(男)



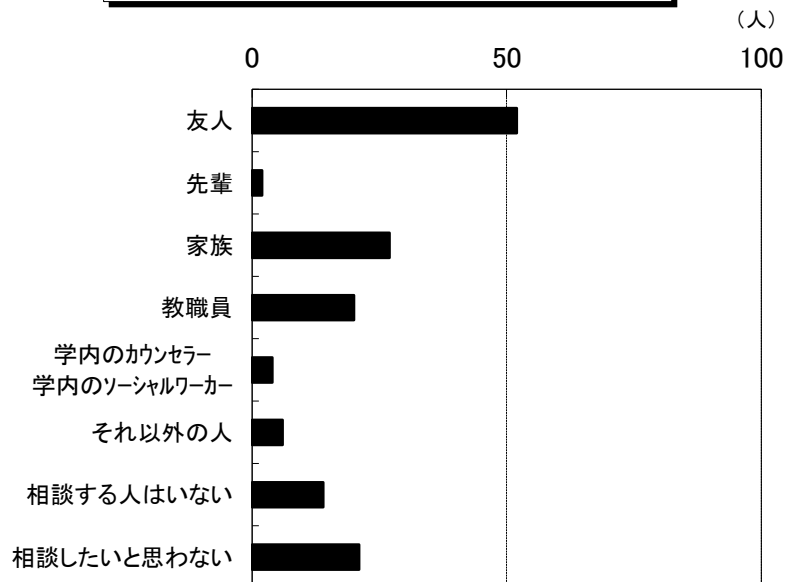
【福祉心理学科】

「現在、学生生活に関して悩みがありますか」とたずねたところ、「ある」が37.3%（98人）、「ない」が62.7%（165人）であった。「ある」の回答者に、「悩みを誰かに相談していますか」とたずねたところ、「友人」53.1%（52人）と「家族」27.6%（27人）が多く、ほかに「先輩」2.0%（2人）、「教職員」20.4%（20人）、「学内のカウンセラー、学内のソーシャルワーカー」4.1%（4人）、「それ以外の人」6.1%（6人）であった。その一方、「相談する人はいない」14.3%（14人）、「相談したいと思わない」21.4%（21人）との回答もみられた。また、「ある」の回答者に「内容」をたずねたところ、高い順に「学業面の問題」61.2%（60人）、「人間関係」35.7%（35人）、「経済的事情」26.5%（26人）、「健康面の問題」24.5%（24人）、「進路変更したい」12.2%（12人）、「その他」6.1%（6人）となった。

学生生活への悩み
(福祉心理学科)



不安や悩みの相談相手(複数選択可)(福祉心理学科)

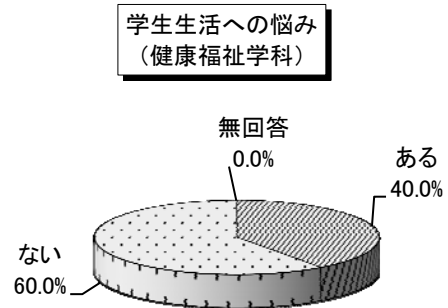


不安や悩みの理由(福祉心理学科)

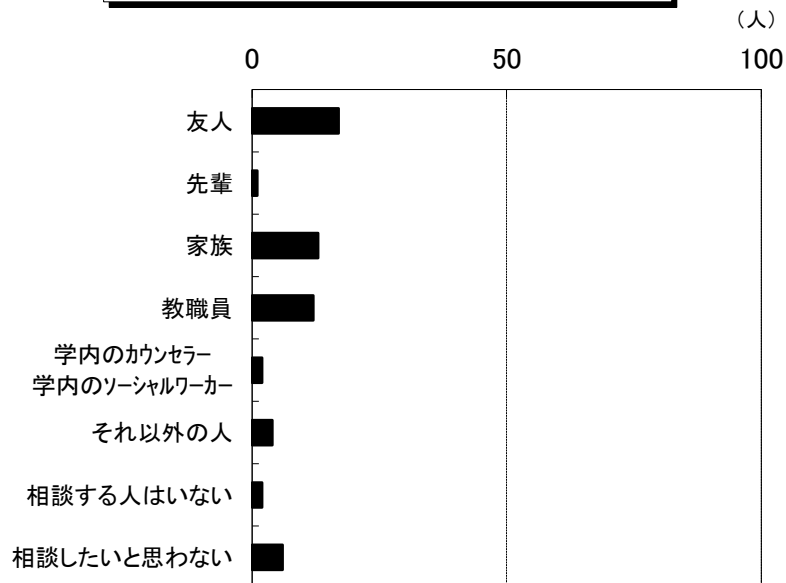


【健康福祉学科】

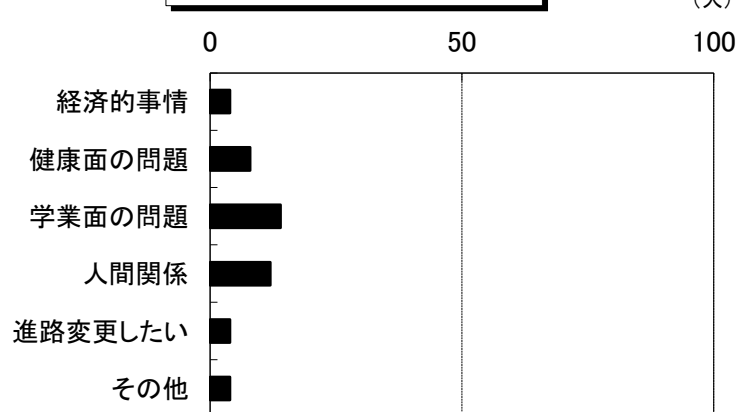
「現在、学生生活に関して悩みがありますか」とたずねたところ、「ある」が40.0%（28人）、「ない」が60.0%（42人）であった。「ある」の回答者に、「悩みを誰かに相談していますか」とたずねたところ、「友人」60.7%（17人）と「家族」46.4%（13人）が多く、ほかに「先輩」3.6%（1人）、「教職員」42.9%（12人）、「学内のカウンセラー、学内のソーシャルワーカー」7.1%（2人）、「それ以外の人」14.3%（4人）であった。その一方、「相談する人はいない」7.1%（2人）、「相談したいと思わない」21.4%（6人）との回答もみられた。また、「ある」の回答者に「内容」をたずねたところ、高い順に「学業面の問題」50.0%（14人）、「人間関係」42.9%（12人）、「健康面の問題」28.6%（8人）、「経済的事情」14.3%（4人）、「進路変更したい」14.3%（4人）、「その他」14.3%（4人）となった。



不安や悩みの相談相手(複数選択可)(健康福祉学科)

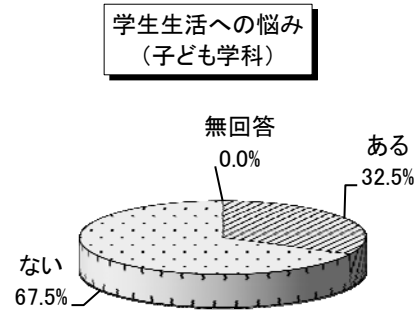


不安や悩みの理由(健康福祉学科)

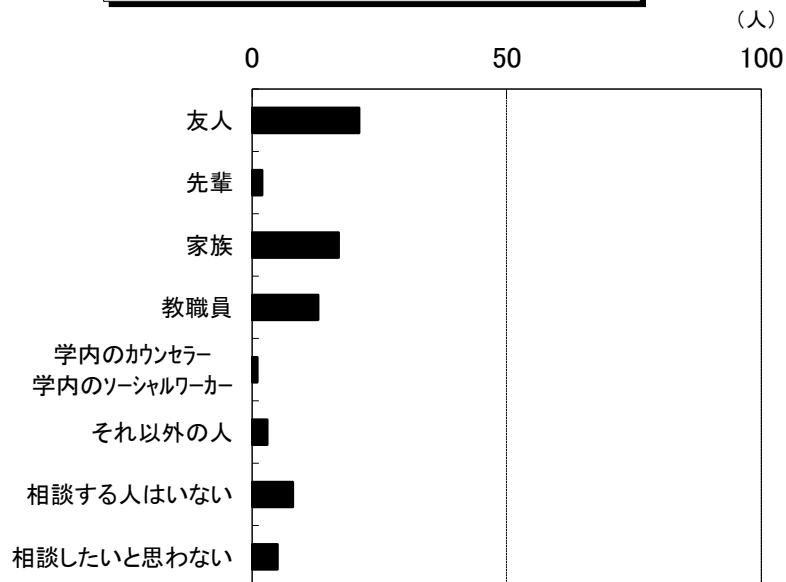


【子ども学科】

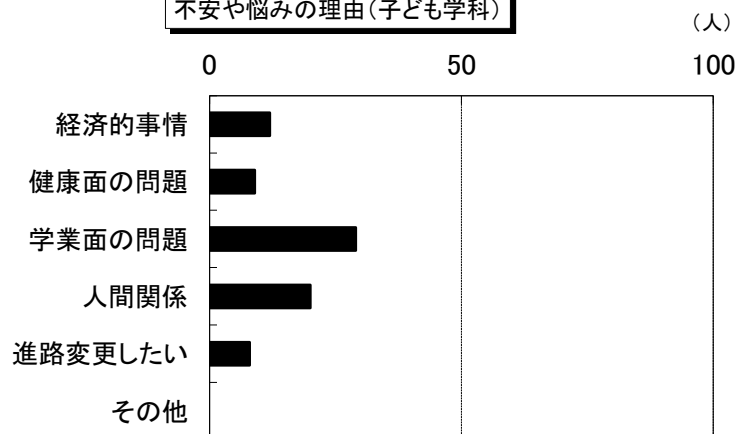
「現在、学生生活に関して悩みがありますか」とたずねたところ、「ある」が32.5%（40人）、「ない」が67.5%（83人）であった。「ある」の回答者に、「悩みを誰かに相談していますか」とたずねたところ、「友人」52.5%（21人）と「家族」42.5%（17人）が多く、ほかに「先輩」5.0%（2人）、「教職員」32.5%（13人）、「学内のカウンセラー、学内のソーシャルワーカー」2.5%（1人）、「それ以外の人」7.5%（3人）であった。その一方、「相談する人はいない」20.0%（8人）、「相談したいと思わない」12.5%（5人）との回答もみられた。また、「ある」の回答者に「内容」をたずねたところ、高い順に「学業面の問題」72.5%（29人）、「人間関係」50.0%（20人）、「経済的事情」30.0%（12人）、「健康面の問題」22.5%（9人）、「進路変更したい」20.0%（8人）、「その他」0.0%（0人）となった。



不安や悩みの相談相手 (複数選択可) (子ども学科)



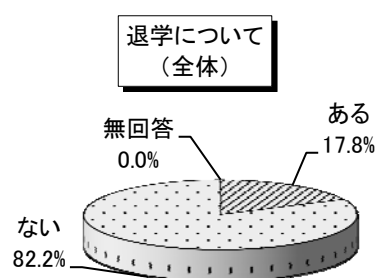
不安や悩みの理由 (子ども学科)



3-17 退学について

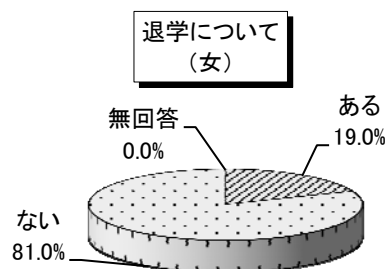
【全体】

「本学を退学することについて考えたことがありますか」とたずねたところ、「ある」17.8% (81人)、「ない」82.2% (375人)であった。退学を考えた理由は、高い順に、「経済的事情」が39.5% (32人)、「学業面の問題」が35.8% (29人)、「人間関係」が29.6% (24人)、「進路変更したい」が25.9% (21人)「健康面の問題」17.3% (14人)であった。「その他」の内容には、「通うのが辛くなった」「自分の将来がこの場所でのいか疑問に思ったから」「大学に行く意味がわからなくなった、必要性がないと感じた。大学が遠い」等の記載がみられた。



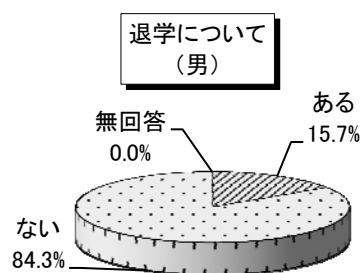
【女】

「本学を退学することについて考えたことがありますか」とたずねたところ、「ある」19.0% (48人)、「ない」81.0% (205人)であった。退学を考えた理由は、高い順に、「経済的事情」が35.4% (17人)、「学業面の問題」が33.3% (16人)、「人間関係」「進路変更したい」がともに27.1% (13人)、「健康面の問題」16.7% (8人)、「その他」が8.3% (4人)であった。



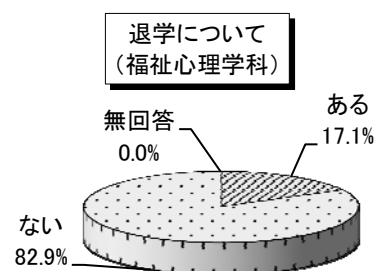
【男】

「本学を退学することについて考えたことがありますか」とたずねたところ、「ある」15.7% (30人)、「ない」84.3% (161人)であった。退学を考えた理由は、高い順に、「経済的事情」が43.3% (13人)、「学業面の問題」が40.0% (12人)、「人間関係」が33.3% (10人)、「進路変更したい」が23.3% (7人)「健康面の問題」20.0% (6人)、「その他」が13.3% (4人)であった。



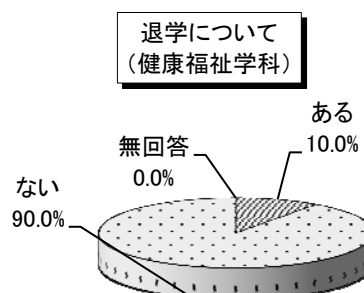
【福祉心理学科】

「本学を退学することについて考えたことがありますか」とたずねたところ、「ある」17.1%（45人）、「ない」82.9%（218人）であった。退学を考えた理由は、高い順に、「経済的事情」、「学業面の問題」がともに37.8%（17人）、「人間関係」が26.7%（12人）、「進路変更したい」が22.2%（10人）、「健康面の問題」17.8%（8人）、「その他」が8.9%（4人）であった。



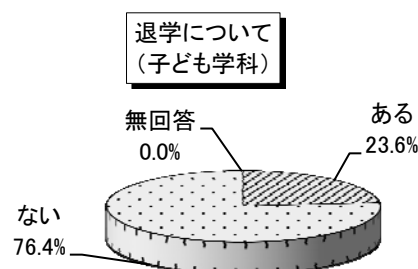
【健康福祉学科】

「本学を退学することについて考えたことがありますか」とたずねたところ、「ある」10.0%（7人）、「ない」90.0%（63人）であった。退学を考えた理由は、高い順に、「経済的事情」が42.9%（3人）、「健康面の問題」、「学業面の問題」、「人間関係」がともに28.6%（2人）、「進路変更したい」が0.0%（0人）、「その他」が28.6%（2人）であった。



【子ども学科】

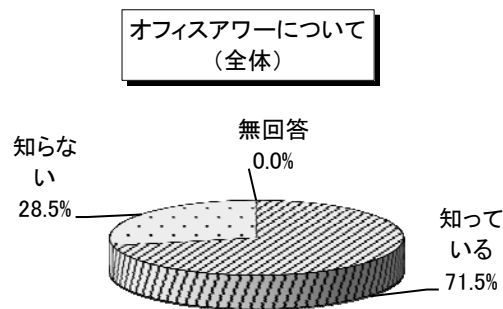
「本学を退学することについて考えたことがありますか」とたずねたところ、「ある」23.6%（29人）、「ない」76.4%（94人）であった。退学を考えた理由は、高い順に、「経済的事情」が41.4%（12人）、「進路変更したい」が37.9%（11人）、「学業面の問題」、「人間関係」がともに34.5%（10人）、「健康面の問題」13.8%（4人）、「その他」が10.3%（3人）であった。



3-18 オフィスアワーについて

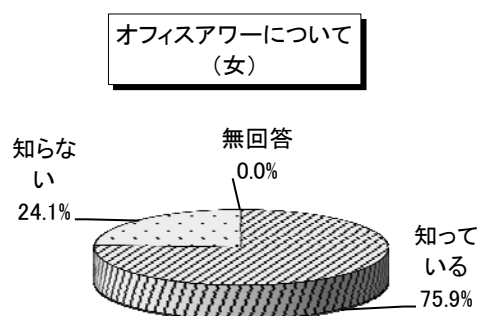
【全体】

「オフィスアワーを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」71.5% (326人)、「知らない」28.5% (130人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかについてたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は27.9% (91人)であった。



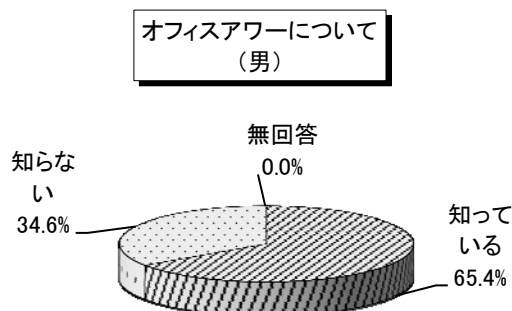
【女】

「オフィスアワーを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」75.9% (192人)、「知らない」24.1% (61人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかについてたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は26.6% (51人)であった。



【男】

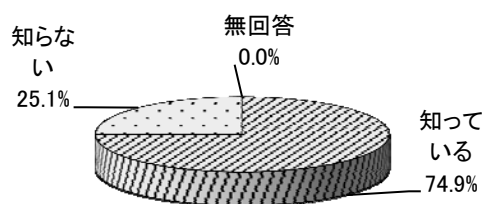
「オフィスアワーを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」65.4% (125人)、「知らない」34.6% (66人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかについてたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は29.6% (37人)であった。



【福祉心理学科】

「オフィスアワーを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」74.9% (197人)、「知らない」25.1% (66人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかについてたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は33.0% (65人)であった。

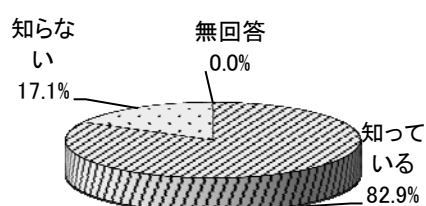
オフィスアワーについて
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「オフィスアワーを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」82.9% (58人)、「知らない」17.1% (12人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかについてたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は22.4% (13人)であった。

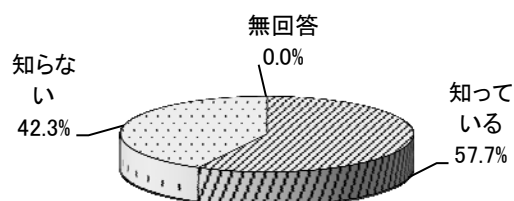
オフィスアワーについて
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「オフィスアワーを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」57.7% (71人)、「知らない」42.3% (52人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかについてたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は18.3% (13人)であった。

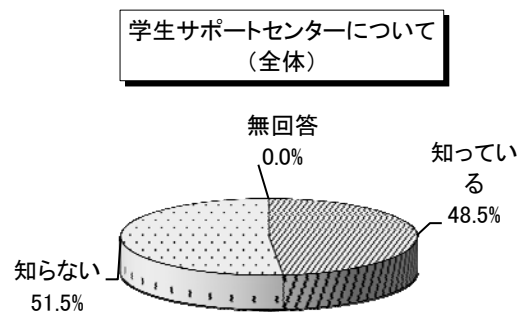
オフィスアワーについて
(子ども学科)



3-19 学生サポートセンターについて

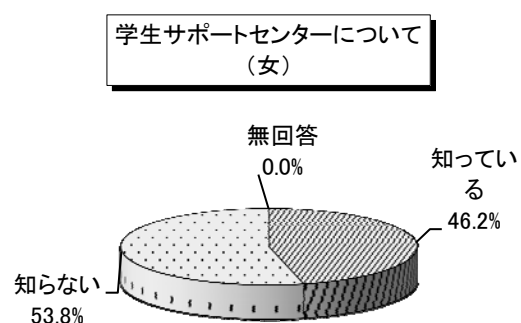
【全体】

「学生サポートセンターを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が48.5% (221人)、「知らない」が51.5% (235人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかをたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は8.6% (19人)であった。



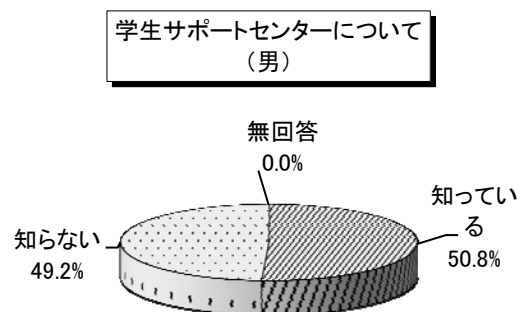
【女】

「学生サポートセンターを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が46.2% (117人)、「知らない」が53.8% (136人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかをたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は9.4% (11人)であった。



【男】

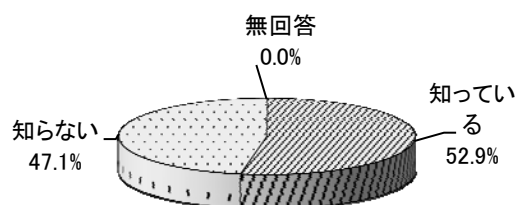
「学生サポートセンターを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が50.8% (97人)、「知らない」が49.2% (94人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかをたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は6.2% (6人)であった。



【福祉心理学科】

「学生サポートセンターを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が52.9% (139人)、「知らない」が47.1% (124人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかをたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は7.2% (10人)であった。

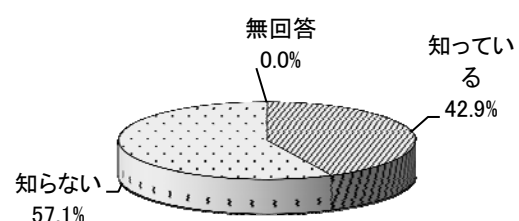
学生サポートセンターについて
(福祉心理学科)



【健康福祉学科】

「学生サポートセンターを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が42.9% (30人)、「知らない」が57.1% (40人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかをたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は10.0% (3人)であった。

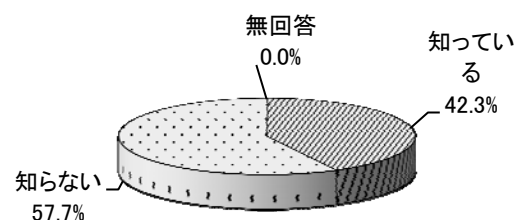
学生サポートセンターについて
(健康福祉学科)



【子ども学科】

「学生サポートセンターを知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が42.3% (52人)、「知らない」が57.7% (71人)であった。さらに、「知っている」と回答した学生に利用したことがあるかをたずねたところ、「利用したことがある」と回答した学生は11.5% (6人)であった。

学生サポートセンターについて
(子ども学科)



学生サポートセンターからのコメント

3-16 学生生活への不安や悩み

学生生活に関して悩みがありますかとの質問には、「ある」が36.4%となっており、その内容としては、「学業面の問題」が最も多く、次いで「人間関係の悩み」となっています。その不安や悩みについては「友人に相談している」が半数以上となっており、「相談する人はいない」「相談したいと思わない」と答えた方も33.8%もいます。「学業面の問題」であれば教員へ、「経済的事情」であれば学生支援課や学生相談室のソーシャルワーカーへ、「人間関係」であれば学生相談室のカウンセラーへ、「健康面の問題」であれば健康推進課へ、ひとりで抱え込んだままではなく、気軽な気持ちでご相談してみてください。

3-17 退学について

本学を退学することについて考えたことがありますかの質問には、17.8%が「ある」と回答しています。退学について考えた理由に「経済的事情」が39.5%と最も多く、次いで「学業面の問題」「人間関係」「進路変更したい」となっております。新型コロナウイルス感染症により Zoom を使用した遠隔授業で自宅で受講した経験があるため、「通うのが辛くなった」「大学が遠い」と感じる学生も見受けられます。社会生活がコロナ前に戻りつつある中で、アルバイトと大学生活との両立方法について先輩や教職員に相談されると、何かヒントが得られることもあるかもしれません。

3-18 オフィスアワーについて

オフィスアワーを知っていますかの質問には、71.5%が「知っている」と回答しています。知っていながらも「利用したことがある」と回答した学生は27.9%でした。オフィスアワーを知っていながらも利用したことがある割合がそれほど高くない背景として、学生個々の空きコマと相談したい教員のオフィスアワーが合わないこともあるかもしれません。まずは、オフィスアワー以外でも気軽に教員にご相談してみてください。

3-19 学生サポートセンターについて

学生サポートセンターを知っていますかという質問には、「知っている」48.5%、「知らない」が51.5%でした。これまで「学生支援総合センター」という名称でしたが、今年度から「学生サポートセンター」へと名称が変更されました。1年生の皆様には入学時のオリエンテーションで学生サポートセンターの役割などについてご説明致しましたが、2年生以上の皆様にはまだ新しい名称が浸透していないかもしれません。学生サポートセンターは、学生相談室での相談や特別措置申請と対応を行っています。学内の学生が使用するトイレに相談内容別の相談場所についての案内を掲示しております。講義や定期試験における特別措置申請に関して、AAAを通じて時期ごとにすべての学生の皆様にご連絡しております。

学生サポートセンターについて、もっと多くの皆様にご活用いただけるよう、周知の方法についてさらに検討してまいりたいと考えています。

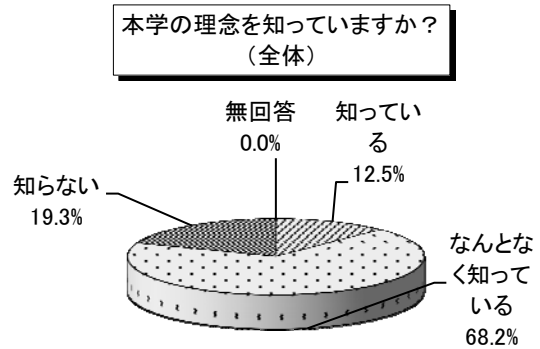
第4章 大学

4-1 本学の理念（建学の精神）の認知

【全体】

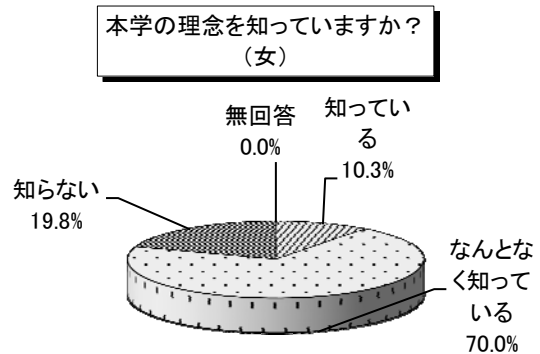
「本学の理念（建学の精神）を知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が12.5%（57人）、「なんとなく知っている」が68.2%（311人）、「知らない」が19.3%（88人）であった。

大学ではその方法として、学内の掲示、大学ホームページ等を通じて、周知を行っている。しかし、2割弱が「知らない」と回答しており、さらに学生の認知度を高める工夫が必要である。



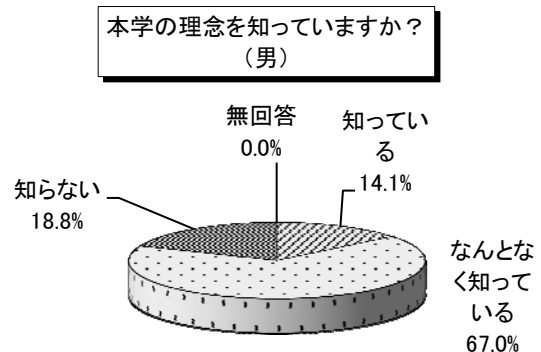
【女】

「本学の理念（建学の精神）を知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が10.3%（26人）、「なんとなく知っている」が70.0%（177人）、「知らない」が19.8%（50人）であった。



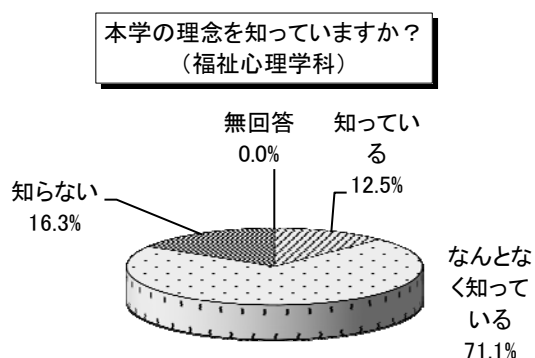
【男】

「本学の理念（建学の精神）を知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が14.1%（27人）、「なんとなく知っている」が67.0%（128人）、「知らない」が18.8%（36人）であった。



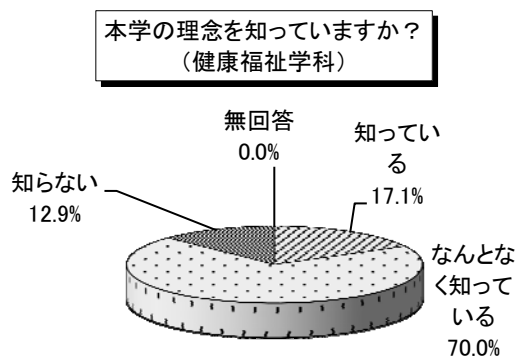
【福祉心理学科】

「本学の理念（建学の精神）を知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が12.5%（33人）、「なんとなく知っている」が71.1%（187人）、「知らない」が16.3%（43人）であった。



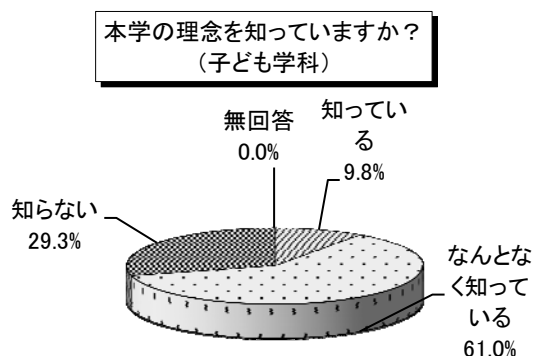
【健康福祉学科】

「本学の理念（建学の精神）を知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が17.1%（12人）、「なんとなく知っている」が70.0%（49人）、「知らない」が12.9%（9人）であった。



【子ども学科】

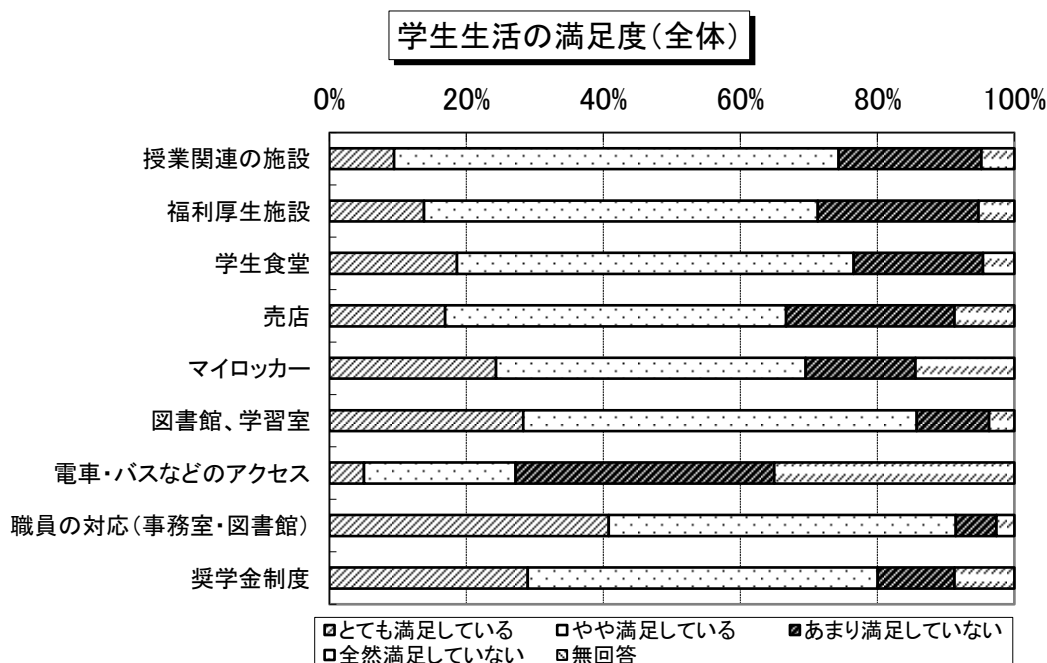
「本学の理念（建学の精神）を知っていますか」とたずねたところ、「知っている」が9.8%（12人）、「なんとなく知っている」が61.0%（75人）、「知らない」が29.3%（36人）であった。



4-2 大学生生活の満足度

【全体】

「次にあげた項目について、どの程度満足していますか」とたずねたところ、以下の結果が得られた。



「教室、体育館などの授業関連の施設」については、「とても満足している」9.4% (43人)、「やや満足している」64.9% (296人)、「あまり満足していない」20.8% (95人)、「全然満足していない」4.8% (22人) という結果であった。

「トイレ、学生ホール、部室などの福利厚生施設」については、「とても満足している」13.8% (63人)、「やや満足している」57.5% (262人)、「あまり満足していない」23.5% (107人)、「全然満足していない」5.3% (24人) という結果であった。

「学生食堂」については、「とても満足している」18.6% (85人)、「やや満足している」57.9% (264人)、「あまり満足していない」18.9% (86人)、「全然満足していない」4.6% (21人) という結果であった。

「売店」については、「とても満足している」16.9% (77人)、「やや満足している」49.8% (227人)、「あまり満足していない」24.6% (112人)、「全然満足していない」8.8% (40人) という結果であった。

「マイロッカー」については、「とても満足している」24.3% (111人)、「やや満足している」45.2% (206人)、「あまり満足していない」16.0% (73人)、「全然満足していない」14.5% (66人) という結果であった。

「図書館、学習室」については、「とても満足している」28.3% (129人)、「やや満足している」57.5% (262人)、「あまり満足していない」10.5% (48人)、「全然満足していない」3.7% (17人) という結果であった。

「本学への電車・バスなどのアクセス」については、「とても満足している」5.0% (23人)、「やや満足している」22.1% (101人)、「あまり満足していない」37.7% (172人)、「全然満足していない」35.1% (160人) という結果であった。

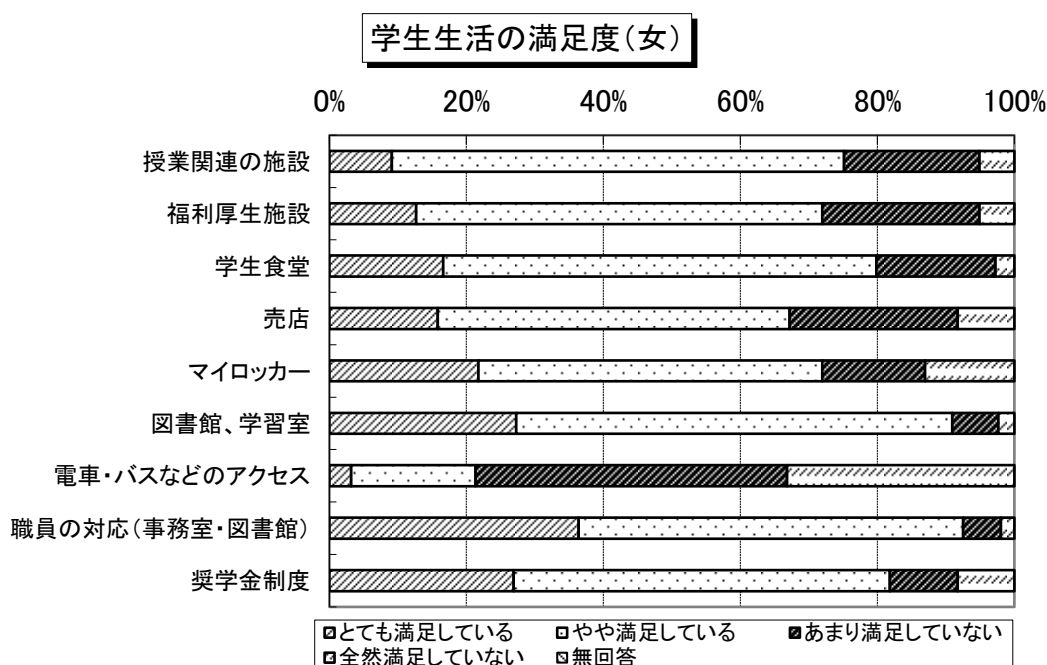
「事務室や図書館などにいる職員の対応」については、「とても満足している」40.8% (186人)、「やや満足している」50.7% (231人)、「あまり満足していない」5.9% (27人)、「全然満足していない」2.6% (12人) という結果であった。

「奨学金制度」については、「とても満足している」28.9% (132人)、「やや満足している」51.1% (233人)、「あまり満足していない」11.2% (51人)、「全然満足していない」8.8% (40人) という結果であった。

以上のように、「大学生活の満足度」の全項目について比較すると、「大学への電車・バスなどのアクセス」についての満足度は際立って低い。

【女】

「次にあげた項目について、どの程度満足していますか」とたずねたところ、以下の結果が得られた。



「教室、体育館などの授業関連の施設」については、「とても満足している」9.1% (23人)、「やや満足している」66.0% (167人)、「あまり満足していない」19.8% (50人)、「全然満足していない」5.1% (13人) という結果であった。

「トイレ、学生ホール、部室などの福利厚生施設」については、「とても満足している」12.6% (32人)、「やや満足している」59.3% (150人)、「あまり満足していない」22.9% (58人)、「全然満足していない」5.1% (13人) という結果であった。

「学生食堂」については、「とても満足している」16.6% (42人)、「やや満足している」63.2% (160人)、「あまり満足していない」17.4% (44人)、「全然満足していない」2.8% (7人) という結果であった。

「売店」については、「とても満足している」15.8% (40人)、「やや満足している」51.4% (130人)、「あまり満足していない」24.5% (62人)、「全然満足していない」8.3% (21人) という結果であった。

「マイロッカー」については、「とても満足している」21.7% (55人)、「やや満足してい

る」50.2% (127人)、「あまり満足していない」15.0% (38人)、「全然満足していない」13.0% (33人) という結果であった。

「図書館、学習室」については、「とても満足している」27.3% (69人)、「やや満足している」63.6% (161人)、「あまり満足していない」6.7% (17人)、「全然満足していない」2.4% (6人) という結果であった。

「本学への電車・バスなどのアクセス」については、「とても満足している」3.2% (8人)、「やや満足している」18.2% (46人)、「あまり満足していない」45.5% (115人)、「全然満足していない」33.2% (84人) という結果であった。

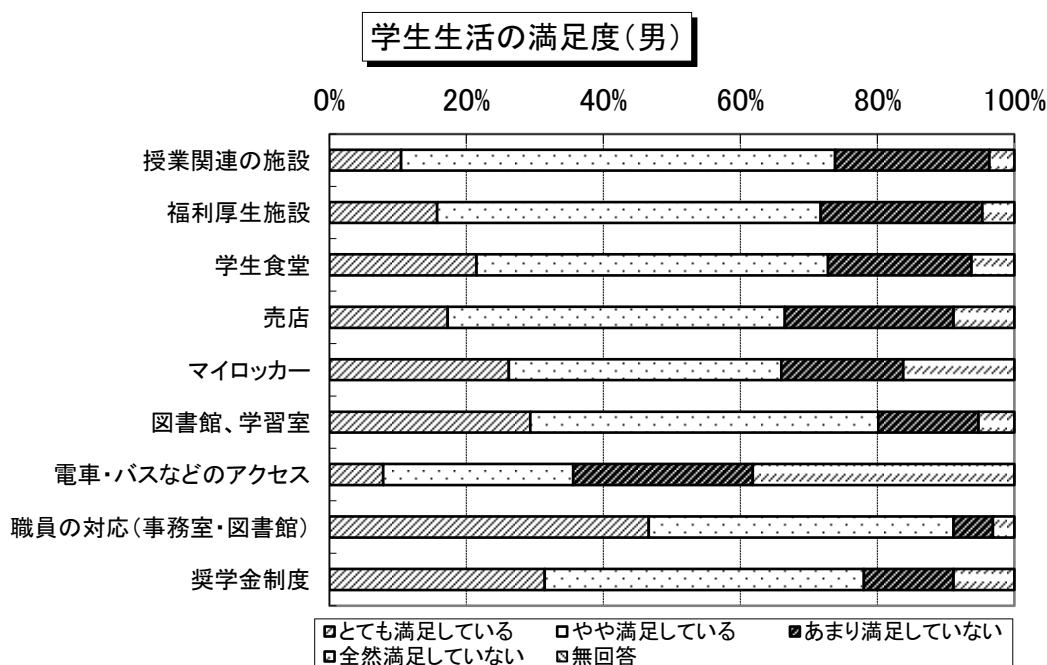
「事務室や図書館などにいる職員の対応」については、「とても満足している」36.4% (92人)、「やや満足している」56.1% (142人)、「あまり満足していない」5.5% (14人)、「全然満足していない」2.0% (5人) という結果であった。

「奨学金制度」については、「とても満足している」26.9% (68人)、「やや満足している」54.9% (139人)、「あまり満足していない」9.9% (25人)、「全然満足していない」8.3% (21人) という結果であった。

以上のように、「大学生活の満足度」の全項目について比較すると、「大学への電車・バスなどのアクセス」についての満足度は際立って低い。

【男】

「次にあげた項目について、どの程度満足していますか」とたずねたところ、以下の結果が得られた。



「教室、体育館などの授業関連の施設」については、「とても満足している」10.5% (20人)、「やや満足している」63.4% (121人)、「あまり満足していない」22.5% (43人)、「全然満足していない」3.7% (7人) という結果であった。

「トイレ、学生ホール、部室などの福利厚生施設」については、「とても満足している」15.7% (30人)、「やや満足している」56.0% (107人)、「あまり満足していない」23.6%

(45人)、「全然満足していない」4.7% (9人) という結果であった。

「学生食堂」については、「とても満足している」21.5% (41人)、「やや満足している」51.3% (98人)、「あまり満足していない」20.9% (40人)、「全然満足していない」6.3% (12人) という結果であった。

「売店」については、「とても満足している」17.3% (33人)、「やや満足している」49.2% (94人)、「あまり満足していない」24.6% (47人)、「全然満足していない」8.9% (17人) という結果であった。

「マイロッカー」については、「とても満足している」26.2% (50人)、「やや満足している」39.8% (76人)、「あまり満足していない」17.8% (34人)、「全然満足していない」16.2% (31人) という結果であった。

「図書館、学習室」については、「とても満足している」29.3% (56人)、「やや満足している」50.8% (97人)、「あまり満足していない」14.7% (28人)、「全然満足していない」5.2% (10人) という結果であった。

「本学への電車・バスなどのアクセス」については、「とても満足している」7.9% (15人)、「やや満足している」27.7% (53人)、「あまり満足していない」26.2% (50人)、「全然満足していない」38.2% (73人) という結果であった。

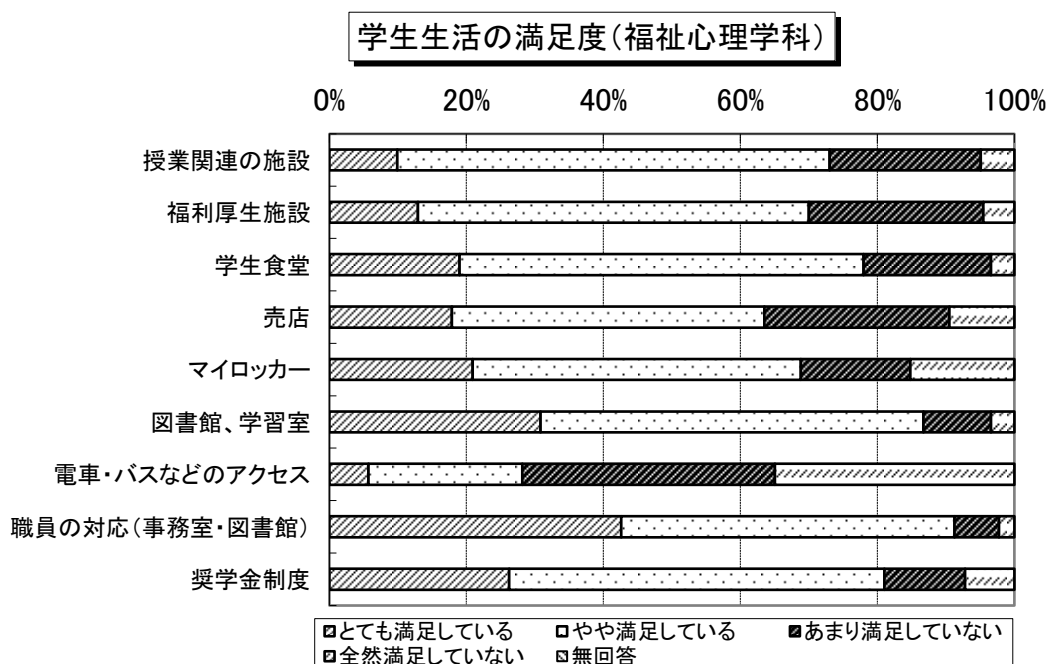
「事務室や図書館などにいる職員の対応」については、「とても満足している」46.6% (89人)、「やや満足している」44.5% (85人)、「あまり満足していない」5.8% (11人)、「全然満足していない」3.1% (6人) という結果であった。

「奨学金制度」については、「とても満足している」31.4% (60人)、「やや満足している」46.6% (89人)、「あまり満足していない」13.1% (25人)、「全然満足していない」8.9% (17人) という結果であった。

以上のように、「大学生活の満足度」の全項目について比較すると、「大学への電車・バスなどのアクセス」についての満足度は際立って低い。

【福祉心理学科】

「次にあげた項目について、どの程度満足していますか」とたずねたところ、以下の結果が得られた。



「教室、体育館などの授業関連の施設」については、「とても満足している」9.9% (26人)、「やや満足している」63.1% (166人)、「あまり満足していない」22.1% (58人)、「全然満足していない」4.9% (13人) という結果であった。

「トイレ、学生ホール、部室などの福利厚生施設」については、「とても満足している」12.9% (34人)、「やや満足している」57.0% (150人)、「あまり満足していない」25.5% (67人)、「全然満足していない」4.6% (12人) という結果であった。

「学生食堂」については、「とても満足している」19.0% (50人)、「やや満足している」58.9% (155人)、「あまり満足していない」18.6% (49人)、「全然満足していない」3.4% (9人) という結果であった。

「売店」については、「とても満足している」17.9% (47人)、「やや満足している」45.6% (120人)、「あまり満足していない」27.0% (71人)、「全然満足していない」9.5% (25人) という結果であった。

「マイロッカー」については、「とても満足している」20.9% (55人)、「やや満足している」47.9% (126人)、「あまり満足していない」16.0% (42人)、「全然満足していない」15.2% (40人) という結果であった。

「図書館、学習室」については、「とても満足している」30.8% (81人)、「やや満足している」55.9% (147人)、「あまり満足していない」9.9% (26人)、「全然満足していない」3.4% (9人) という結果であった。

「本学への電車・バスなどのアクセス」については、「とても満足している」5.7% (15人)、「やや満足している」22.4% (59人)、「あまり満足していない」36.9% (97人)、「全然満足していない」35.0% (92人) という結果であった。

「事務室や図書館などにいる職員の対応」については、「とても満足している」42.6% (112人)、「やや満足している」48.7% (128人)、「あまり満足していない」6.5% (17人)、「全

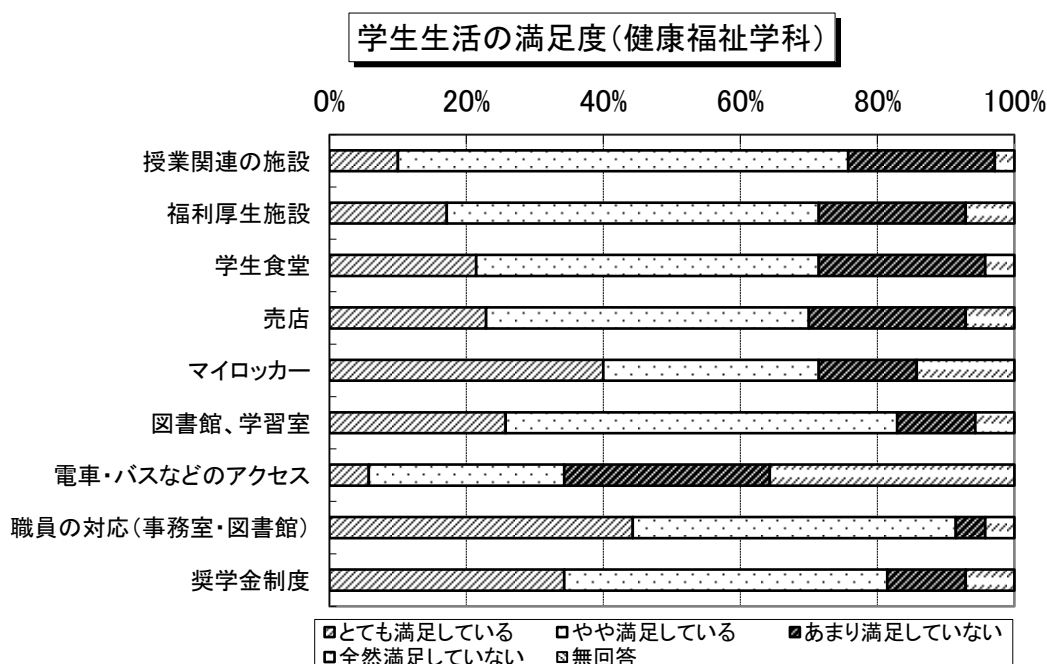
然満足していない」2.3%（6人）という結果であった。

「奨学金制度」については、「とても満足している」26.2%（69人）、「やや満足している」54.8%（144人）、「あまり満足していない」11.8%（31人）、「全然満足していない」7.2%（19人）という結果であった。

以上のように、「大学生活の満足度」の全項目について比較すると、「大学への電車・バスなどのアクセス」についての満足度は際立って低い。

【健康福祉学科】

「次にあげた項目について、どの程度満足していますか」とたずねたところ、以下の結果が得られた。



「教室、体育館などの授業関連の施設」については、「とても満足している」10.0%（7人）、「やや満足している」65.7%（46人）、「あまり満足していない」21.4%（15人）、「全然満足していない」2.9%（2人）という結果であった。

「トイレ、学生ホール、部室などの福利厚生施設」については、「とても満足している」17.1%（12人）、「やや満足している」54.3%（38人）、「あまり満足していない」21.4%（15人）、「全然満足していない」7.1%（5人）という結果であった。

「学生食堂」については、「とても満足している」21.4%（15人）、「やや満足している」50.0%（35人）、「あまり満足していない」24.3%（17人）、「全然満足していない」4.3%（3人）という結果であった。

「売店」については、「とても満足している」22.9%（16人）、「やや満足している」47.1%（33人）、「あまり満足していない」22.9%（16人）、「全然満足していない」7.1%（5人）という結果であった。

「マイロッカー」については、「とても満足している」40.0%（28人）、「やや満足している」31.4%（22人）、「あまり満足していない」14.3%（10人）、「全然満足していない」14.3%（10人）という結果であった。

「図書館、学習室」については、「とても満足している」25.7%（18人）、「やや満足している」57.1%（40人）、「あまり満足していない」11.4%（8人）、「全然満足していない」5.7%（4人）という結果であった。

「本学への電車・バスなどのアクセス」については、「とても満足している」5.7%（4人）、「やや満足している」28.6%（20人）、「あまり満足していない」30.0%（21人）、「全然満足していない」35.7%（25人）という結果であった。

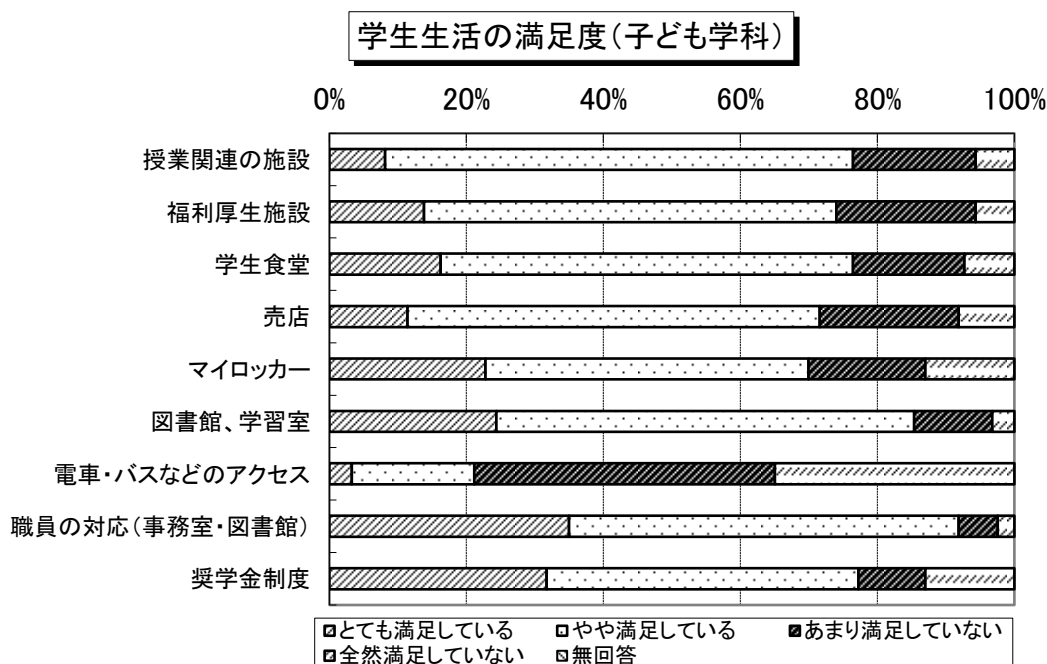
「事務室や図書館などにいる職員の対応」については、「とても満足している」44.3%（31人）、「やや満足している」47.1%（33人）、「あまり満足していない」4.3%（3人）、「全然満足していない」4.3%（3人）という結果であった。

「奨学金制度」については、「とても満足している」34.3%（24人）、「やや満足している」47.1%（33人）、「あまり満足していない」11.4%（8人）、「全然満足していない」7.1%（5人）という結果であった。

以上のように、「大学生生活の満足度」の全項目について比較すると、「大学への電車・バスなどのアクセス」についての満足度は際立って低い。

【子ども学科】

「次にあげた項目について、どの程度満足していますか」とたずねたところ、以下の結果が得られた。



「教室、体育館などの授業関連の施設」については、「とても満足している」8.1%（10人）、「やや満足している」68.3%（84人）、「あまり満足していない」17.9%（22人）、「全然満足していない」5.7%（7人）という結果であった。

「トイレ、学生ホール、部室などの福利厚生施設」については、「とても満足している」13.8%（17人）、「やや満足している」60.2%（74人）、「あまり満足していない」20.3%（25人）、「全然満足していない」5.7%（7人）という結果であった。

「学生食堂」については、「とても満足している」16.3%（20人）、「やや満足している」

60.2% (74 人)、「あまり満足していない」16.3% (20 人)、「全然満足していない」7.3% (9 人) という結果であった。

「売店」については、「とても満足している」11.4% (14 人)、「やや満足している」60.2% (74 人)、「あまり満足していない」20.3% (25 人)、「全然満足していない」8.1% (10 人) という結果であった。

「マイロッカー」については、「とても満足している」22.8% (28 人)、「やや満足している」47.2% (58 人)、「あまり満足していない」17.1% (21 人)、「全然満足していない」13.0% (16 人) という結果であった。

「図書館、学習室」については、「とても満足している」24.4% (30 人)、「やや満足している」61.0% (75 人)、「あまり満足していない」11.4% (14 人)、「全然満足していない」3.3% (4 人) という結果であった。

「本学への電車・バスなどのアクセス」については、「とても満足している」3.3% (4 人)、「やや満足している」17.9% (22 人)、「あまり満足していない」43.9% (54 人)、「全然満足していない」35.0% (43 人) という結果であった。

「事務室や図書館などにいる職員の対応」については、「とても満足している」35.0% (43 人)、「やや満足している」56.9% (70 人)、「あまり満足していない」5.7% (7 人)、「全然満足していない」2.4% (3 人) という結果であった。

「奨学金制度」については、「とても満足している」31.7% (39 人)、「やや満足している」45.5% (56 人)、「あまり満足していない」9.8% (12 人)、「全然満足していない」13.0% (16 人) という結果であった。

以上のように、「大学生活の満足度」の全項目について比較すると、「大学への電車・バスなどのアクセス」についての満足度は際立って低い。

4-3 施設や制度、対応等大学への要望や意見

施設や制度、対応への要望や意見については、69 名の記述がみられた。

内容の大半を占めていたのが、「バスの時刻」「バスの増便」「学生専用のバスの導入」といった大学内と最寄り駅間のバスに関する要望であった。

バス以外に関する内容としては、①「Wi-Fi の設備」「エアコンが効いていない」「トイレが汚いし、臭いです」「学生駐車場をアスファルトに変えて欲しいです」などといった現状に対する要望や意見、②「教室の椅子が冷たいので、できれば変えてほしい」「何度か授業中に蜂が教室内に入ってくるということがあったため、全ての教室にきちんと網戸の設置をしていただきたいです」「体育館に冷暖房をつけて欲しい」「就活のため、ネット環境が整った個室が欲しいです」などの施設面への要望、③電子マネー導入、④テスト期間の日程をもう少し早めに出してほしい等の要望・意見が見られた。

学生支援委員会からのコメント

学生支援委員会は、学友会（代議員会・体育会文化会・学祭実行委員会・卒業行事委員会等）に関する支援を行い、また学生の皆さんがより良い大学生活を送ることができるように、さまざまな活動の支援や環境面の改善を目指して取り組んでいます。

第3章 学生生活

3-1「アルバイトの状況」では、75%の学生が行っており、行っていない学生においてもアルバイトを希望している学生が半数を上回り、学生生活において日常生活の一部になっています。アルバイトの頻度は週3回、1日に従事する時間は4～5時間が多かったですが、週6回以上や1日8時間以上行っている学生も一定数おり、学業との両立ができています。注視していく必要があります。男女間、学科別間において大きな違いはありませんでした。

3-6「通学手段」では、自動車は昨年同様約4割、自転車は44.3%となっています。一方で電車、バスがどちらも昨年同様5割近くを占めています。自動車、自転車については3-15の学内外トラブルで「交通事故」が多いことから、交通安全の指導を継続していくことが必要です。電車、バスにおいても、3-14において公共交通機関のマナーを改善してほしいという声も多く、こちらも注意喚起を行っていく必要があります。

3-9「学友会活動への参加」では、参加経験のある学生が2割弱という結果でした。男女比では男性2割弱、女性1割弱、学科別では福祉心理学科2割弱、健康福祉学科、子ども学科1割弱と大きな差は見られませんでした。学友会の活動への参加は少ない状況ですが、自由記述ではイルミネーションや学園祭、イベントへの期待する記述もあり、学生が主体的に活動していくことを期待します。

3-10「学生生活の充実度」では、昨年同様約8割の学生が充実していると回答していました。男女比、学科別においても大きな差はありませんでした。一方で、2割弱が充実していないと回答していることから、その要因を把握していく必要性があると考えます。

3-12「掲示板の使用」では、「大学に来てほとんど見ていない」が6割、「掲示板のある場所を知らない」が1割とあまり活用されていない状況でした。学校での生活の動線内に掲示板がないことが要因とも考えられます。学生が目にしやすい掲示板の設置についても検討が必要と考えます。

第4章 大学

4-2の大学生活の満足度において「電車・バスなどのアクセス」に満足しているという回答が約3割でした。この結果は昨年度と同様です。自由記述においても「バスの本数を増やしてほしい」という記述が多くありました。電車・バスを利用して通学している学生が5割近くの本学において、継続的な課題になっています。

総務課からのコメント

(1) 公共交通機関のアクセスについて

焼津駅及び西焼津駅からのアクセスの向上については、大学だけで解決できる問題ではないため、今後も焼津市を含め、しずてつジャストラインと通学環境の改善に向け、粘り強く交渉を行って参ります。

バスの運行時間については、引き続き授業開始及び終了の時刻に合わせた路線バスの運行に重点を置き、調整に努めてまいります。

また、超低床ノンステップバスも運行しており、電動車いすの利用学生もバスを利用することが可能となっております。なお、バスの乗降時の安全確保のため警備員の見回りの強化を行っております。

(2) 学内施設の改善・充実について

今年度は、大規模な改修として介護福祉棟等外壁の改修及び教室棟及び講義・厚生棟等の照明のLED化を行いました。また、健康増進法改正に伴い、大学内は施設内禁煙となっておりますが、マナーを守らず喫煙する方もおり、非喫煙者に被害が及ぶことがありました。そのため、法令を遵守し、非喫煙者の健康を守るため、受動喫煙を防止できるよう屋外特定喫煙所の設置を行いました。

引き続き施設の改修、照明のLED化及びバリアフリー化の推進などを行うと共に、出来る限り学生の皆さんのご要望に沿える環境整備に努めていきたいと思っております。

学生駐車場につきましては、アスファルト舗装の要望もありますが、借地ということもありアスファルト舗装は難しいため、地面を固めた上で均し、駐車枠の整備を行い利用しやすいよう定期的に整備を行っております。

施設等の改善につきましては、対応可能なものについては速やかに対応し、大規模な工事や費用が必要な改善については優先順位を考え長期計画を策定し、一つずつ改善していきたいと思っております。

(3) 学食・売店の向上について

学生の皆さんからの意見につきまして、学食業者及び売店業者に繋げていき、出来る限り反映できるように努めます。